

2017 栄光への軌跡

2017 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



一般入試

東北大学、千葉大学、山形大学、福島大学、慶應義塾大学、
多摩美術大学、東北学院大学、東北工業大学、
東北医科薬科大学、宮城学院女子大学

東北大学 工学部 建築・社会環境工学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
将監中出身

休み時間に質問し合ったり悩みを ぶつけ合うなど友達と助け合いました

■ 5 分間だけでも毎日必ず 全教科の勉強をしました

私が本格的に勉強を始めたのは 2 年生の後期でしたが、受験する大学を決めたのは 1 年生の夏でした。そのきっかけは、オープンキャンパスです。私は自宅から通えて、行きたい学部・学科があった東北大学を視野に入れていましたが、オープンキャンパスに行ってみてキャンパスの雰囲気や環境が良く、この大学に入りたいと思いました。

1 年生のとき、国語と数学と英語を重点的に勉強していましたがそれぞれ応用的なことはほとんどしていませんでした。理科と社会は、授業と宿題以外では何もしていませんでした。

2 年生は中だるみの時期で、前期は勉強に打ち込むことができなかったのも後期から真剣に勉強を始めました。苦手な科目は勉強時間が短いとそのとき感じていたので、5 分だけでも毎日全教科に触れるようにしました。理科を本格的に始めたのはこの時期で、思った以上にできず 1 年生のときにもっとしっかりやっておけば良かったと後悔しました。それでも焦らずコツコツと勉強を進めていきました。

■ 2 次試験は実力を出すべく エンジン全開で臨みました

3 年生になると、それまで以上にわからないことが増えました。そこで助けてくれたのが友達でした。授業と授業の間の休み時間には互いに質問することがほとんどでした。また悩みをぶつけ合うこともありました。自分の強みは 2 次試験にあると思っていたので気楽に行けました。自己採点ではどの模擬試験よりも点数を取れたのですが、ボーダーには届きませんでした。センター試験が終わってからは、ようやく自分の本来の力が出せると思い、エンジン全開で勉強しました。実際のところ、自分では絶対無理だと思っていましたが、最後まで諦めずに努力した結果、合格することができました。

千葉大学 園芸学部 緑地環境学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
白石中出身

毎日めげずに勉強を続けた人だけが 第一志望の大学に合格できます

■模試等で不安になるのは
自分だけではありません

私が受験勉強を通して感じたこと、これから受験するみなさんにアドバイスを書きたいと思います。

まず、はじめに、受験勉強はとてもつらいものです。特に 3 年に進級してから模試で思った通りの成績がとれなくなり、とても落ち込みます。夏休み後も新しく習う分野を理解するので一杯一杯で、「浪人生に勝てるのだろうか」、「このままの勉強でよいのか」、「志望大学のランクを下げようか」などと不安になります。しかしそんなに不安に思うのは自分だけではないのです。周りの友達も A 判定をとっている浪人生もみんな不安です。不安に思うのは当たり前です。なので決して夏から秋の模試の成績で志望大学を下げないでください。センター試験が終わってから考えればいいのです。途中で志望大学を下げると、どんどんモチベーションが下がり、勉強量が減り、成績がさらに下がり、また志望大学を下げるといふ悪循環が起こってしまうかもしれません。自分はそれで失敗しました。またセンター試験対策は国公立志望の人はしっかりしたほうがいいです。予備校に通っている人はセンター対策の講座をとった方がよいと言われますが、あんまりとりすぎると、復習がおろそかになり、逆に演習不足になる場合が多いです。

■不安を解消するには
勉強するしかありません

先にも書きました受験はほんとうにつらいです。途中で投げ出したくなり、「浪人したら…」などという考えが脳裏をよぎります。しかし、毎日めげずに投げ出さず、勉強を続けた人だけが、たとえ現役で合格できなくても第一志望の大学、さらに一つ上の大学に入学することができると思います。不安を解消する一番の方法は、ひたすら勉強することです。みなさんの健闘を心より祈っています。

最後になりますが、今まで熱心に教えてくださいました先生方、本当にありがとうございました。

山形大学 理学部 理学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
柳生中出身

得意だと断言できる科目が 1 つあれば 高いモチベーションを維持できます

■入学後に専門分野を選択 できる所に惹かれました

私が山形大学を選択した理由は、自宅から通えて一番入りたかった理学部があるからです。山形大学の理学部は入学後に専門コースを選択できるので、様々な授業を受けた上で、自分が一番やりたいことを見つけることができるというのも理由の一つです。

私は高校の生活には入らず、3 年間勉強中心の学校生活を送っていました。3 年生の夏休み前までは授業の予習復習を中心にやっていましたが、夏休み以降はセンター、2 次試験対策に切り替え、10 月からは完全にセンター対策に移行しました。センター終了後は赤本中心で 2 次試験対策をしました。ちなみに赤本は 7 年分やりました。

センター試験 1 カ月前は、センター試験対策と一般入試対策をどれくらいの比率でやるべきか迷うかもしれませんが、私は 100% センター対策で大丈夫だと思っています。センター試験のレベルは教科書の問題程度ですが、各科目の試験時間が短く、スピードと正確さが必要です。ケアレスミスに気をつけることと、問題を見たらすぐに解法が浮かぶくらいまでやれば安心だと思います。まずは教科書の問題を完璧に解くことを目指してください。

■センターでは苦手の国語を 数学と地理で補いました

山形大学の理学部は、試験で自分の得意科目を選択（数学、化学、物理、生物、地球科学の 5 つの分野から一つ）して受験できるというメリットがあります。私はこれを活かして、得意科目の数学のみを使う受験分野で山形大学の理学部を受験しました。自分が得意だと断言できる科目が一つあるかないかだけでも、受験へのモチベーションは大きく変わってくると思います。センター試験や 2 次試験では、全教科で満遍なく点数を取るのがカバーするのも一つの手段だと思います。私は国語が大の苦手で、センターでも奮わなかったのですが、数学と地理で国語の失点を取り返すことができました。センターリサーチの判定は C でしたが、得意の数学受験で 2 次試験に挑むことができました。このように、得意科目での逆転も可能だと思います。

受験勉強は長丁場であり、勉強を続けることが苦痛で、模試を受けても思い通りの結果がなかなかでない時があるかもしれません。そのような時でも弱気にならず努力していけば、きっと合格は見えてくると思います。繰り返すこと、諦めないことがとても大事だと思います。

山形大学 工学部 化学・バイオ工学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
船岡中出身

中学時代の自分に対する後悔をバネに 努力して合格したことが自信になりました

■国公立大合格の意志を 3 年間貫きました

私の仙台育英の 3 年間は辛く苦しい 3 年間でしたが、かけがえのない充実した 3 年間でした。私は中学で全く勉強をしてこなかったため、入学当初の模試では 250 人中 200 位という、国公立大学を目指すにはほど遠い成績でした。そんな辛い時期を乗り越えることが出来たのは、“国公立合格への意志”でした。毎日一生懸命に働いて私をサポートしてくれる両親へ、私が出来る一番の恩返しは国公立大の合格でした。また、合格を得ることによって「中学で勉強しなかった自分の後悔があったからこそ、ここまで頑張ることが出来た」と自分を肯定的に見ることができるようになり、自分に自信がつけました。皆さんも頑張るための何かを胸に、いつでも頑張る気持ちを忘れないでいて下さい。またクラスメイトの存在もとても大きく、勉強で競い合うことだけではなく、辛いことを共有し支え合える素敵な仲間でした。

■受験勉強の中心は授業で 基礎を築くことです

私の在校中の勉強方法は、放課後に必ず 8 時半までやる、というルールを決め、その時間の中でまず授業の予習をし、余った時間に自分のやりたい勉強をする、というものでした。あくまでも受験勉強の中心は授業なので、授業プリントや小テストを活用し、しっかりと基礎を築くことがとても重要だと思います。余った時間の活用方法は一人一人違い、“絶対”というものはなく、勉強していく過程で見つけていくもので、私なりの勉強の方法はルーズリーフをぎゅっしり埋めるように問題集を解き、文字で埋まったルーズリーフや使い古して黒くなった問題集を見て達成感、満足感を得て継続して勉強ができるような環境をつくることでした。長期休暇は、課題の他に苦手分野の克服や単語の習得を集中的に行いました。英単語は覚える量も多く短期間での習得が困難である上、分からないと先に進めないため、特に力を入れ、早めの対策をすることをお勧めします。

福島大学 人文社会学群 行政政策学類に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高崎中出身

自分の殻を破る“何か”に挑戦すれば 将来に対する考え方が変わります

■担任の先生の助言が進路の 迷いを払拭してくれました

私が福島大学を受験することを決めたのはセンター試験が終わってからでした。本当は違う大学を目指していたのですが、センター試験の結果から合格判定率等を自分で調べるシステムなどを利用して家から近い国立大、法を学べる、公務員の就職が多いなどの条件のもと、担任や進路指導の先生と面談して決めました。

私は進路についていつも迷いがありました。高3の1年間をふり返ってみると5・6月は指定校推薦に出願するか、7・8月は国立大学の公募に出願するか、11・12月は滑り止めの私立大学をどこにするか、1月は2次試験の受験大学をどこにするか。後期試験を受験するか。選択を迫られる度に迷いました。私の経験から後輩の皆さんに伝えられることは二つです。一つは勉強や進路の事で行き詰まったら先生方に相談することです。私は担任の先生からのアドバイスを迷いを払拭してきました。結果的には第一志望ではなかったのですが、助言通り一般試験に絞って最後まで頑張ったよかったと思います。もう一つは選択肢を広げておくことです。日頃から授業や定期テスト、提出物にきちんと取り組み、平常点を落とさないようにすることが進路決定の上で役立ちます。

■国際交流プログラム参加等の 経験は原動力になります

もし行きたい大学・学部だからではなく早く決まりたいからという考えから推薦入試を考えている人がいる場合は、そこで一度立ち止まって考え直してみるべきです。一般入試は試験まで長く、緊張や不安のある日が続きますが合格発表の時に得られる喜びはその分大きいです。

私は大学で法や行政を学ぶ事、留学すること、原発被災県で直接的な復興活動をするなどを目標にしています。ホームステイの受け入れや国際交流プログラムの参加、地元のボランティア活動など高校3年間の経験が今の自分の原動力となっています。高校生のうちに“何か”に挑戦すべきです。自分の殻を破る行動がその後の考え方や目標に影響を与えてくれるはずです。最後になりましたが、後輩の皆さんも進路についてたくさん悩んで迷い、満足のいく選択ができるよう頑張ってください。

福島大学 人文社会学群 行政政策学類に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
郡山中出身

合格に必要なことは学習ペースを維持し 授業や講習などを活用することです

■模試で高判定が出て 国公立大学受験を志しました

「国公立大学への進学はこのままの成績だと無理です」と 1 年生の時の面談で言われました。2 年生の時も面談で言われました。しかし、3 年生になって一番最初の三者面談では最初から国公立大学を受験する前提で話が進んでいました。私の隣に座っていた母が非常に驚いていたことをよく覚えています。母からすれば国公立大学に合格することは不可能だと 2 年間思ってきたものだから驚くのも無理ありません。

このような事態が発生した要因として、模擬試験への科目追加があります。恐らく 2 年生がセンター試験と同日に行うセンタープレテストまでは国語、数学、英語の 3 科目の判定が通知されてきたでしょう。この 3 科目によって自分が大学へ入れる、入れないと決めつけてしまうのは今思うと早計です。センター試験は本来 5 教科で受けるものです。そしてこの 5 教科による判定が出るのは 2 年生の 2 月から 3 月にかけての模試が最初だし、私を含むかなりの人数が 5 教科での判定に切り替わったとたんに判定を上げてきたはずです。良い判定が出ると精神的にも楽で勉強への意欲がぐっと増すのは誰でも理解できるでしょう。

■学校の課外講習を生かし 成績が上がりました

ただし、私の経験上良い判定が出た、または出なかったからといって勉強時間を急激に増やすのはあまりお勧めできません。私の個人的な意見になりますが、人にはそれぞれの人々で差のある「物事を進めるペース」があります。そしてこれを急激に上回ると、その人に負荷として蓄積され、恐らくセンター試験頃にその負荷が表面化し倒れてしまうでしょう。だからなるべく早く自分のペースを見つけ、それを維持するのが大事だと思います。

ここで注意してほしいのは、自分のペースだから、と一切勉強せずに合格できるほど大学は甘くない、ということです。自主学習、自宅学習が手につかないなら学校を有効活用すべきです。特に放課後に行われている課外講習は国公立大学や難関私大レベルまで対応していて、授業より実践レベルのことを学べる素晴らしいものです。私はセンターで受験しないため受講しなかった倫理以外の全ての科目を受講していました。当時はその多さに文句ばかり言っていたが今考えるとあの講習を受けていたことで点数を伸ばした科目も多いです。授業に出席し真面目に受けるのは当たり前の話ですが、課外講習などを上手く生かして学校を有効活用することでより志望大学へ合格しやすくなるはずです。

周囲の言葉を気にする必要はありません。努力の度合いを人と比べる必要もありません。志望大学へ合格するのに必要なことは、自分のペースを維持し、学校を有効活用すること。この 2 つを上手く実行するのが何よりも重要だと私は思っています。

慶應義塾大学 経済学部経済学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
栃木 足利第二中出身

文系・理系共に英語と数学を得意に しておく大きな武器になります

■学業とサッカーの両立を 第一に志望大を決めました

今は、受験勉強の成果が出て、目指していた大学に合格できたことの安心感や嬉しさでいっぱいです。様々な面でサポートしてくださった先生方にはとても感謝しています。

私は県外出身で、仙台のサッカーチームに所属するために中学を卒業してからすぐ、チームの寮で 1 人暮らしを始めました。それからは平日夜 9 時までの練習、土日は丸一日試合という日々を送ってきました。まとまった学習時間が無かったので、学校の授業にまじめに取り組もうと意識していました。そうすることで、各教科の基礎的な知識は身に付いたのかなと思います。

大学受験を意識し始めたのは、高 3 の春あたりです。学校の友人がみな大学について調べているのに、自分だけ何もしないのはまずいと焦りました。私が志望大学を決める際、学業とサッカーを両立できるかを重視しました。大学の資料を取り寄せたり、先生やチームの監督と話を重ねたりして最終的に受験校を決めました。

■英語や地歴など音読が 私には効果がありました

私がやっていた勉強法の中で、一番結果に表れたと思うのは音読です。地歴の教科書は音読した方が絶対に覚えやすいし、英語の長文とかでも解き終わった後に音読すると頭が整理され、リスニング対策にもなるので、このやり方は結構オススメです。また模試は良問が多いので、復習すべきです。特別進学コースは模試の回数が多いですが、1 回 1 回復習することでかなり力が付くと思います。ですが判定はあまり気にする必要はありません。私自身、直前のプレ模試は D 判定だったので（笑）、「俺はここまでやったんだ」という自信が結果につながると思います。

私が後輩たちにアドバイスしたいことは 3 つあります。まず 1 つ目は、英語と数学を重点的に勉強することです。この 2 科目は文理どちらにとっても重要で、得意にしておけば大きな武器になります。私は数学が大の苦手で、結局最後まで克服できずに大学の選択肢を狭めてしまいました。2 つ目は、志望大学の赤本は早い時期、できれば夏休み中に解いておくことです。最初は全然解けなくても大丈夫なので、各校の出題形式や傾向を把握し、その後センターの勉強と両立させながら対策するのが望ましいです。また私の体験談になってしまいますが、私はセンターの後に過去問をやったので、時間的、精神的にかなり追い詰められました。これは本当にやらない方が良いです。3 つ目は、絶対に合格するという強い気持ちを持つことです。どんなに辛い状況でも、実際気持ちでなんとかなります。みなさんも学校の先生や周りの友達と支え合いながら合格を目指して頑張ってください!!

多摩美術大学 美術学部 生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
仙台第一中出身

美術系の大学に興味があるなら オープンキャンパスに参加しましょう

■両親としっかり話し合い

安心して進学準備できました

2 年生の始めに美術系の大学へ行くことを決心しました。特別進学コースという一般大学に進学するコースに在籍していましたが、どうも自分が一般大学に進学するというイメージがなかなかつかずに、絵の学校ならば行ってみたいという思いが芽生えてきました。

まず私の美大進学にあたって大きな分岐点となったのは、親にしっかりと美大に行きたいという旨をしっかりと話したことだと思います。親も自分も知識がまったくない状態だったので、とても慎重な話し合いになりましたが、親はしっかりと私の気持ちを汲み取ってくれたので私は安心して美大進学の準備をすることができました。

■美大志望なら早いうちから

美術予備校に通いましょう

そしてもう一つ私にとって大きかったのが 2 年生の頃から学校とは別に美術予備校という所に行ったことです。美術予備校とは、美術系大学の進学を目標とする場所で、デッサンであったり、絵の具を使って着彩などをしたりします。私は 2 年の頃は週 2 日、3 年になってからは週 5 日、放課後に美術予備校に行っていました。美術予備校に通うならとにかく早いうちに通った方が良いと私は思います。正直描いた枚数がものを言うところがあります。なので有名美術大学に少しでも興味のある方はなるべく早くから通った方が良いでしょう。また美大の入試というのは、採点をするのは大学の先生です。先生の好きな絵でなければ、うまくても平気で落とされることもあるので浪人ということもしっかりと覚悟した方が良いでしょう。

最後に絵が好きだ、でも美大ってよく分からないという人はオープンキャンパスに行くことをおすすめします。また大半は美術系じゃない人達が通っているので、そこのところを心配する必要はありません。学費など高いので、まず親としっかり話し合ってください。応援しています。

東北学院大学 教養学部 言語文化学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
東仙台中出身

模試は自分の課題が見つかるので そのままにせず解き直しましょう

■オープンキャンパスで 志望学科を特定しました

私は中学の頃から英語や外国語の知識を活かした仕事に就きたいと思っていました。その為大学に行きたいと思い、仙台育英の特別進学コースに入学しました。

第一志望の大学がはっきりしたのは高校 3 年生の夏。高校 2 年生の頃からオープンキャンパスには参加していたのですが、いくつかの志望大学の中で決めきれずにいました。自分の学びたいものを学べるのか、留学制度はどのくらい整っているのか、就職サポートや学費など総合した上で判断することは難しいことでした。1 年ほど遅い、高校 3 年生の夏 2 度目の東北学院大学のオープンキャンパスに参加しました。その時、言語文化学科のブースで在校生の方や留学生の方と入学後のカリキュラムについて話していく中で私が入りたいのはここなんだと実感しました。そして絶対にこの学科でないと後悔する、だから絶対に合格しようと心に決めました。

■赤本は何度も解いて 出題傾向を掴みましょう

勉強時間は 1 日 10 時間程度。10 時間の中でより効率的に勉強するため 1 週間ごとに計画を立てては修正するというのを繰り返していました。私は受験科目を英語・国語・政治経済の 3 つにしたのですが、国語がとても苦手でした。克服法としては問題の中でわからない意味は調べる、教科書の重要語句は絶対に覚えるということです。そして、現代文というのは必ず本文中に答えがあるので解くことができるようになると思います。英語の単語は単語から想像したものを絵にして覚えるのがおすすめです。文法は Next Stage を何回も解き、長文は普段勉強している中で問題を解く際時間を計るようにして下さい。私もそうでしたが 1 語わからないと立ち止まってしまうのは絶対にいけません。どんなにわからなくても最後まで問題に目を通すことが大切です。また英語は中学校で習うような基本問題が出題されることも多いので、基本は疎かにしてはいけません。政治経済はまず覚えていることと覚えていないことを明確にし、全国の大学の過去問を厳選した問題集を使うことをおすすめします。政治経済は時事問題もあるので普段から新聞で現在の世界や日本の経済がどのように変化するかを観察することで問題の傾向を推測することもできますと思います。

私は模試で良い成績を残したことはありません。第一志望の判定はいつも D 判定でした。しかし、今思うと D 判定だったから最後の最後まで気を抜かずに勉強を続けることができたと思っています。模試の結果によって自分の課題は見つかり、努力が足りないこともわかりました。模試はうっかりミスしてしまったものと本当にわからなかったものが明らかになるので、そのままにせずまた解き直すことが重要です。

最後に赤本は何度も解き、その大学の傾向を掴んで下さい。そして、ラストスパートは暗記したものを output することを心がけ、生活習慣にも気をつけるようにして下さい。1 人でも多く合格することを祈っています。

東北学院大学 教養学部 情報科学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
塩竈第二中出身

難易度を少し下げた問題集や参考書に しっかり取り組み苦手を克服しました

■志望大のレベルに到達すべく
学習法を色々工夫しました

大学受験を意識して勉強しはじめたのは、2 年生の年が明けた後ぐらいからでした。それからなんとなく勉強してはいたのですが、自分の志望大学のレベルにまで上げるのに何を、どれくらい、どのようにやれば良いのかよくわからずやっていたので、それをはっきりさせてやろうと 3 年の 6 月頃に勉強のやり方を変えました。そのやり方はある塾がやっている勉強法で、1 週間の内 4 日新しいことを勉強して、2 日その 4 日間やった内容を復習し、残りの 1 日でその内容から問題を出してテスト形式でやるというものです。このやり方はとても良かったのですが、慣れるのに少し時間がかかってしまいました。このようにして勉強していたのですが、日によってはどうしても勉強する気があまりおきず、その日の内にやる分が終わらない日もありました。そのような時は、どうにか他の日にその分を上乗せしてやっていました。そうして参考書を使って勉強していたのですが、それぞれの参考書を終わらせてもその参考書でやった問題に似ている問題はとけるのですが、それとは違うタイプの問題になると全然とけなくなってしまいます。このようなときは、参考書の覚え方が違っていたりするのが原因だったので、1 回目とは違う視点から覚え直したり、そのとけなかった問題をとき直したりしました。

また、私は特に英語が苦手だったのですが、自分のレベルに合った参考書からはじめたら以前よりも英語への苦手意識がなくなりました。なので、どの科目でも学校で配られる参考書などが少しでも難しく感じたら、それよりももっと下のレベルのものを使って勉強してみてください。そうすれば、下のレベルのものを完璧にして終わらせたとき、前までは難しく思えた参考書などが思ったほどでもないように感じるはずです。そして、勉強に対するやる気も続くと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
台原中出身

「大学合格マラソン」を終えたことを 自信に次のマラソンに挑んでいきます

■受験までに小さい目標を
達成しようと思いました

3 年生になってからようやく大学進学を意識し始め、その頃興味のあった建築科がある宮城大学を目指したのですが、この頃から人の密集しているところでパニック状態になるある種の病気のようなものにかかってしまい、勉強する意欲がみるみるうちに無くなっていきました。これではどこにも合格できなくなると考え、無理にでもやる気を出そうとしました。大人の中にはよく「ゲームみたいに勉強も好きになってしまえば楽だよ」とアドバイスしてくる人がいましたが、私にはどうしても納得できませんでした。ゲームはより多くの人を楽しませるために工夫して作られています。一方学問というのは先人による探究心や知識欲から成るもので、最初から好きで取り込まなければ長続きしない、という考えがあって私はアドバイスを受け入れられずしばらくの間、とても苦勞しました。

そんなある時、マラソンの選手インタビューがテレビで放送されており、その内容が偶然耳に入ってきました。「最初からゴールは見えないんです。そこの木までとりあえず走ってみよう。あの電柱まで頑張ろう、そうしていると気付いたときにはゴールしているんですよ」思わずこれだ！と口にしてしまったのを覚えています。そうして、最大目標の大学合格までの道に小さい目標、ちょうど前述した木や電柱を立て 1 つひとつ達成する作戦にあると少し気分も軽く、前ほどつらくもなく、冷静に進路の事を考える心の余裕も出てきました。流石に今までの学力低下を取り戻しきることはなかったのですが、今は、出せる力を出して、行きたいと思った大学に無事合格できました。志望大学は東北工業大学に変わりましたが、自分の意志で行きたいと決めた大学なので悔いはありません。私はこうして大学合格マラソンをゴールしました。そして次のマラソンが始まるでしょう。まだ病気は治っていません。でも心配はしていません。きっとゴールしてみせます。私は一度苦難をのりこえ成功したのですから。

■本番の緊張は気持ち次第で
軽くなります

私の後輩にあたるみなさんへ。これから人によって違うでしょうけれども、つらいこと苦しいこと、経験するでしょう。受験勉強、とても大変です。受験本番、とても緊張します。しかし、気持ち次第、やり方次第で、案外軽くなります。私がそうでしたから。

—次はあなたたちの番ですよ—

大学合格に向けて、自分が一番やりやすいように工夫して頑張ってください。応援してますからね。

東北医科薬科大学 薬学部薬学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
岩手 釜石中出身

定期テストは受験を見据え復習し 基礎学力を身に付けましょう

■きちんと授業の予復習に 取り組み成績が上がりました

私がこの結果に至るまでに様々な困難がありました。私が 1 年の時は勉強はまったくしていませんでした。中学の勉強がまあまあできていたということもあって高校の勉強をおろそかにしてしまいました。もちろん結果も奮わず、クラスでは下の方の順位でした。2 年に上がってもそれは変わらず家庭学習時間 0 分でした。しかしそれではいけないと思い、部活動があつて帰宅が 9 時近くなってしまう私は授業の予習復習からはじめました。それからクラスの順位も段々と上がっていきましました。3 年に上がり、部活動最後の大会を終えたら私は一気に受験モードに入りました。毎日 8 時半まで学校の学習スペースに残り、勉強に時間を費やしました。そのかいもあり第一志望の大学に受かることができました。

■テストでクラス 1 位になり 自信が付きましました

詳しい反省点を上げていくと。まず一年の時点では毎日勉強する習慣を作っておくべきでした。それに加えて定期テストの内容をその時だけのものにせず、受験を見据えて、テスト後に復習するなどして基礎学力を身につけておくべきだったと思います。3 年の最後の中間・期末テストで私は化学でクラス 1 位を目指して実際それを実現しました。このことで自信を持てた私はその分野がとても得意になれたと思うし、得点源とすることができました。つまり私が言いたいのは毎回の定期テストを完璧にすれば、必ず受験につながるということです。このクラス 1 位がなければ、おそらく第一志望には受かっていなかったと思っています。少し話は飛びましたが次に 2 年生の時の反省として、志望校が決まっていなかったということです。大学にはもちろん入りたい学部によって理系文系が分かれ必要となる教科も決まってきます。私は最終的に英数化の 3 教科を使うことになったのですが、これが早い段階で分かっていたら、教科を絞りより効率のよい勉強ができたと思いました。最後に 3 年の時はメリハリが持てなかったと思います。勉強に向かう時間は多かったのですが、やはり人間なので集中力には限界があり何時間も集中することは常人にはできないと思っています。なのでダラダラ勉強するのではなく目標や時間を決めてそれまでは集中し、その後は適度な休息も入れるべきだと思いました。

私が現役で第一志望の東北医科薬科大学に合格できたのは競い合える仲間や応援してくれた家族や親戚のおかげだと思っています。本当に感謝しています。苦しくなった時何度も色々な人からの言葉に助けられました。

けっして一人では合格できなかった大学入試を乗り越えた皆さんの大切なものに気づき次のステージでも精進していきたいです。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
一般入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高砂中出身

「受験の時この道を選んでよかった」と 後で思える進路選択をしましょう

■外国語系への進路を 諦めきれませんでした

もともと中学生の頃から国際関係や他の国の言語や文化に興味があり、ずっとその方向で考えていました。高校に入りラクロス部員として活動し始めてアメリカ人のコーチとの出会いをきっかけにもっと英語を話せるようになりたい、他の言語も学びたいという気持ちが強くなりました。

しかし部活動の引退が近づくにつれて、大学進学についてより一層考える時間が増えて、「グローバル化が進んでいる現代で英語なんて誰でも話せるようになるんじゃないか」「大学で英語を学んでその先自分は何がしたいのか」などの悩みがでてきました。そんな中親や周りの人たちに「管理栄養士」という全く違う方向の職業をすすめられ、現実的にもこの方がいいのかなと自分がやりたかった外国語系をあきらめ進路変更を３年生の夏頃にしました。そこから受験教科も変わり苦手な生物基礎、化学基礎をやらなくてはいけなくなりとても大変でした。

内心ずっと外国語系の方を選ばなかったことが心残りです。全然身に入っていませんでした。その状態のまま秋頃に、宮城学院女子大学の食品栄養学科を公募制推薦で受けましたが不合格でした。自分が本当に行きたかった場所ではないといっても数日は落ち込みました。そんな時、いつも一緒にいる友達に相談しながら「やっぱり外国語系をあきらめたくないな」という気持ちが大きくなってきて、勇気を出して親と先生に自分の思いを話し受験教科が理科のまま受験できる宮城学院女子大学の英文学科を受験しました。

結果は見事合格。自分のやりたかった事を学べる事になったときはものすごくうれしかったです。大好きなラクロスも続けられる、外国語や他文化を学べるという私にとって最高の進路に進むことになりました。

■迷ったら周りの人に素直に 気持ちを話してみましょう

私が後輩のみなさんに言いたいことは、親や先生などの周りの人の意見も大事ですが、結局は自分がやりたいことをあきらめず追いつけるのが大切ということです。後々、自分が後悔するより、人生を振り返ったときに、「あの大学の受験のときこの道に進んで良かった」と思える進路選択をして下さい。どうしても迷って立ち止まったときは迷わず先生なり親でも友達でも自分に気持ちを素直に話して下さい。仙台育英の先生たちはきっと力になってくれるし、親や友達も助けてくれます。

ちゃんと自分の意見を尊重して、後悔しない進路選択をして下さい。
応援しています。

2017 栄光への軌跡

2017 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



公募制推薦

山形大学、福島大学、宮城大学、防衛大学校、学習院大学、
東北学院大学、東北福祉大学、東北医科薬科大学…

山形大学 人文社会科学部 人文社会科学科グローバル・スタディーズコースに
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
矢本第二中出身

自分の意志で推薦入試に挑戦し初心を 貫いたことが合格につながりました

■両親と先生方への感謝を

忘れずに 3 年間頑張りました

中学校時代の最高偏差値が 52 だった私は、「受験はしたくない、友達が行くから俺も行こうかな」くらいの軽い感覚で仙台育英に入学しました。

そんな私が今、合格体験記を書けているのはなぜか、と私なりに考えたいと思います。

1 つ目は、しっかり心を貫き通せたことです。夢を叶えるために大学への進学を決め、自分の意志で推薦入試に挑戦し、私自身のペースを 3 年間崩さなかったことが、良い結果につながったのだと思います。もちろん、国公立大の推薦入試ということで、学校側からは止められもしましたが、過去の実績などから見て、その判断は正しかったと私も思います。ただ、チャンスがあるのを捨てるわけにはいかないと考え、受けさせて頂きました。このような頑固さも時には必要です。

2 つ目は、感謝の気持ちがあったことです。家計的にも厳しい我が家で私立高校に行くなんて言語道断だと思います。そんな私の決断に、3 年間支えてくれた両親に恩返しをしなければの一心で通っていました。また、感謝をするのは親だけではなく、先生方にもです。普段の授業はもちろんの事、これまでの経験から様々な意見を言って頂きました。それが私の視野を広げて下さったのは、言うまでもありません。

この 3 年間の高校生活は、勉強なんかせず野球ばかりやっていた小僧を、180 度変えてくれました。色濃い 3 年をここ仙台育英で過ごせたことに感謝し、母校と言えることを誇りに思います。

■夢に向かって努力する人が

一番格好良いと思います

後輩の皆様へ一言。

夢を叶えるための最善策をとって下さい。たとえそれが就職でも、専門学校でも構いません。

自分のやることに自信と責任を持ってください。それなら誰も文句は言いません。

大学のレベルで人間の価値は決まりません。夢を叶えるために努力をする人が一番格好良いです。

最後に、面接で緊張しないためのコツを少し。ひたすら練習し、不安をなくすこと。そして、その大学で何をしたいのか、何ができるのかを考えておくこと。予想だにしない質問もかなり多いです。私はその面接が 30 分ありました。ただ、一期生としてやりたいことなどが明確にあったので、何不自由なく答えられました。皆さんも明確な目標と夢に向かって頑張る努力をしましょう。私もその努力をする人の一人です。辛いことがあれば、あいつも頑張ってるかもな、と思い出して頂ければ幸いです。

皆さんのご健闘をお祈りいたします。

福島大学 経済経営学類に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
塩竈第一中出身

仙台育英は高いレベルで学習できるので やる気次第でどんどん実力が付きます

■奉仕活動やボランティアは
思ったよりも楽しいです

大学進学を目指したきっかけは、勿論将来のためでもあります。もっと広い視野を持って学んでみたいと思ったからです。そのために、3年間進学に向けて様々なことに挑戦してきました。日々の授業は勿論、部活動や資格取得に特に力を入れ、学校の奉仕活動も行いました。これらの経験は自身の成長に大きくプラスになったと思います。特に、奉仕活動やボランティアはとても達成感がありますし、友達と参加すると結構楽しいので是非やってみるといいと思います。大学では、自ら進んで学習することが求められるので、今のうちにその習慣を身に付けておくといいです。私は、経済経営の分野の学部なので特に自ら課題を見つけて取り組むことが重要になります。そのため、常に情報収集を欠かさず自分の考えを持てるようにしたいです。そして将来は日本、特に東北の発展に貢献したいと思います。最初、仙台育英への入学は第一志望の学校ではなく自分にとって最高のスタートとは言えませんでした。今では入学してとても良かったと感じています。私が思う仙台育英の長所は、生徒1人ひとりが高いレベルで学習することができる環境であると思います。だから、自分のやる気しだいでもどんどん力をつけられます。もし、入学するのであれば、自分次第ですがもっと充実した3年間になると思います。一日一日を大切に悔いのない高校生活にしてください。

宮城大学 事業構想学群に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高森中出身

学校の自習スペースや講習を活用して 学習習慣をつけ知識の補充をしました

■震災でラジオの情報発信の 可能性を感じました

私の夢は地域に密着した情報をラジオを通して発信することです。なぜラジオなのかというと 6 年前の東日本大震災でライフラインが遮断された中でラジオだけが生活に必要な情報を提供してくれました。その時ラジオが持つ情報発信の可能性を感じたからです。その夢に近づけるためにはどのような大学がふさわしいのか 2 年生の夏から大学選びを始めてオープンキャンパスにもなるべく参加するようにしました。その結果宮城大学は独自の基盤学習があり、地元活性化についてフィールドワークが行えるという点で第一志望に決定しました。

■苦手科目はプリントなどに 何度も取り組み克服しました

宮城大学に合格するためには教科間のバランスが大切だと思ったので苦手科目である数学を特に力を入れて学習しました。例えば授業で配布されたプリントやワークなどを何度も解いて問題に触れる機会をできるだけ多くして工夫をしました。放課後には高校の自習スペースがたくさんあるので気分によって学習する場所を変えて長時間机に向かうようにしました。また、夏休みなどの長期休暇には高校で行われている講習に積極的に参加して知識の補充をしました。

センター試験 1 ヶ月前になり倫理と政経の得点があまり伸びず、かけこみで参考書を買って単語整理を行ったことは心のあせりができたのでもう少し前からやっていたらなと後悔しています。

センター試験が終わり、宮城大学が募集している特別選抜制度の志願できる得点率をクリアしていたので挑戦することにしました。この制度は資料読解とそれに関する質問、口頭試問が試験内容となっており、面接の練習は先生に指導をいただき、自分を最大限にアピールできるような受け答えの方法を知りました。そのおかげで本番では自信を持って受け答えができたので合格へつながったのではないかと思います。

宮城大学 事業構想学群に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高砂中出身

仙台育英の先生方は信頼できるので たくさん頼りましょう

■志望理由が溢れる位の 大学を見つけましょう

私は、入学した当初、大学へ進学する気は全くありませんでした。しかし、高校生活を過ごすうちに校内で沢山行われる大学の説明会に参加しているうちに大学に進学したいという思いが芽生えました。私は合格した宮城大学も学校での説明会がきっかけで興味を持ち、志望するようになりました。なので学校で行われる説明会もちゃんとお話を聞くことが大切だと思います。

そんな私がこれから受験生になる後輩にしてほしいことが 2 つあります。1 つ目は、自分にとって運命だと思う大学を見つけることです。家から通える、1 人暮らしがしたい、国公立だからとかではなく、自然と行きたい理由が溢れてとまらないような大学に出会うことが大切です。さらにどんな受験方法で合格を勝ち取るかも決めましょう。そうすると自然と勉強へのモチベーションは上がってくるはずです。そうすればこっちのものです。あとは勉強を始めましょう。

■互いに切磋琢磨できるので 友人との勉強はおすすめです

2 つ目は自分が最大限集中できる勉強場所を見つけることです。最初のうちは色々な場所で勉強してみるのが良いと思います。そして私は友達と一緒に勉強することをおすすめします。友達同士、切磋琢磨しながら目標に向かうことは良いことです。生活信条の通りに互いを磨きあっていきましょう。そして私は学校の自習スペースを有効活用することもおすすめします。仙台育英の宮城野校舎は本当に綺麗なので使わないと損ですよ。特におすすめは宮城野校舎 2 階の GP ホールです。冷暖房設備がないので、夏は暑く、冬は寒いです。でも横を様々な先生方が通っていくので、色々な先生と仲良く出来ます。執務室も近いので質問もしやすいです。先生方が応援してくれるのもすごく心強かったです。あと冬場はブランケットを配ることになったので寒さ対策はできると思います。あと暑さと寒さに耐えることで忍耐力も身に付きます。素晴らしいですあの場所は。

最後に信頼できる先生方をたくさん頼りましょう。話してみると面白い先生ばかりです。是非とも見つけてみてください。でも中にはファンが多い先生もいるので気を付けて下さい。一人でも多くの後輩の皆様が合格することを祈っています。頑張ってください。

宮城大学 看護学群 看護学類に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
大沢中出身

どんな状況でも優先順位を考えて 一つずつ着実にこなしていきましょう

■受験のサポートが手厚い 仙台育英に入学しました

私はもともと幼い頃から看護師になりたいと思っていたのですが、中学生の時に宮城大学への進学という具体的な目標ができ、その目標を達成するために大学進学へのサポートが充実している仙台育英に入学しました。高校に入学してからは、学校のテストや模試、長期休業中に講習があったりと、想像していたよりも忙しく、時間が経つのがあっという間でした。

そんな状況の中で、1 年生の時に多くの時間を割いて取り組んだことは、苦手教科の克服です。私は中学生の頃から英語が苦手で、そういった苦手意識を持っているせいで英語を勉強することもなんとなく避けてしまっていました。当然のことながら、模試の成績はだんだんと下がってきてしまい、このままではだめだと思いそれまで避けてしまっていた英語を基本から勉強することを決めました。

■やると決めた勉強を きちんと毎日こなしました

苦手な教科の勉強はなかなか進まず、自分でできるようになったと感じても模試では全くできなかったりと、勉強しても結果がでないので何度か挫折しそうになりました。ですが、結果がでなくてもやり方を急に変えたりせず、自分でやると決めたことをきちんと毎日こなすことで、2 年生にあがる頃には 1 年生の頃と比べて、英語の予習にかかる時間が半分ほどになり、辞書で意味をひとつずつ調べながらしか読めなかった長文も、分からない単語が出てきてもなんとか最後まで読めるようになっていました。2 年生の後半になると、模試で受ける教科も増え、本格的に受験モードに変わってきます。そうなってくると、今の自分の勉強の仕方ではたりないのではないかと焦り始め、色々な参考書や問題集に手を出してしまいがちで、実際私もそうでした。ですが、たくさんのことを一度にやろうとすると今自分がすべきことを見失ってしまいます。どんな状況においても自分にとって優先順位を考え、一つずつ着実にこなしていくことが大切です。

最後になりましたが、高校で過ごす 3 年間はあっという間です。今、具体的な目標がある人も、これから見つけるという人も、自分の進みたい道に進めるように、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。辛い時期もありますが、最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。

防衛大学校 人文社会科学専攻に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
古川北中出身

先生や自衛官の方々、部の仲間、家族等 多くの支えのおかげで合格できました

■自衛官募集の案内所に通い 受験対策に取り組みました

私はレスリングを通して自衛官の方と話す機会があり、その自衛官の方に薦められて、防衛大学校を受験しました。防衛大学校は将来、幹部自衛官になる人材を育成する学校です。4 年間の勉強、訓練、集団生活を通して、幹部自衛官にふさわしい知識、精神力、体力、リーダーシップを身につけます。

私は推薦で人文社会科学を受験しましたが、試験の内容は英語のマークシート式の試験と面接、集団討議、身体検査がありました。対策は全て仙台東口にある自衛官募集の案内所で教えてくれました。そこには防衛大学校を卒業した自衛官の方がいて、勉強、面接、集団討議、身体検査の内容と対策を教えてくださいました。私は試験の 1 ヶ月前ぐらいから、そこに週 3 日ぐらいのペースで行きました。私以外にも他の高校から防衛大学校を受験するたくさんの受験生が集まって、みんなで勉強をしました。

■集団討論では周囲の意見を 尊重することを心掛けました

試験は 2 日間ありました。1 日目は学力試験と身体検査をしました。身体検査は普段、学校でやるものよりも、関節運動や肺活量などもっといろいろ検査されました。肺活量の検査は初めてやったので緊張しました。2 日目は面接と集団討議をしました。面接のときはとても緊張しましたが、練習のときよりも元気に大きな声で挨拶と返事をしました。集団討議は 6 人チームで議長とタイムキーパーを 1 人ずつ決めて話し合いをしました。私は議長もタイムキーパーもやりませんでした。気をつけたことは、周りの人の意見を尊重することです。自分の意見ははっきりと筋を通し、そして、周りの人の意見をできるだけフォローするように心がけました。試験が終わってから合格発表までに 1 ヶ月ありました。その間は一般前期の試験に向けて、また自衛官の方に勉強を教えてもらっていました。合格発表の日は朝 8 時半にホームページに合格者が掲載されました。自分でホームページを確認する前に母からの電話で合格がわかりました。合格がわかったときは嬉しかったです。学校の先生、自衛官の方、レスリングのみんな、家族にたくさん協力してもらって合格できたのでとても感謝しています。大学 4 年間はとても厳しい生活になりますが、自分の意志を強く持って頑張りたいと思います。

学習院大学 文学部 英語英米文化学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
みどり台中出身

自分の考えを直接伝えたいと思い 公募制推薦での受験を選びました

■より深く英語を学ぶため 大学進学を目指しました

私は、幼い頃から英語を勉強していて、より英語を勉強したいと思い大学へ進もうと思いました。一般入試という方法もあった中で私が公募制推薦を選んだ理由は、自分の考えを伝え、自分自身の力で合格したいと考えたからです。

推薦入試で大切なことは、毎日の学校の授業をしっかりと聞くことです。推薦入試は成績が良くなければ出願ができない可能性もあるので、内申や成績を良くしておくことが大切です。遅刻・欠席をなるべくしない、提出物は期限を守るなどそれらの基本的なことをきちんとやっていれば、いずれは大きな山となります。私は、定期試験の勉強は2週間前くらいから始めようと3年間心がけてきました。自分の苦手な教科の勉強時間を多く取り、試験範囲を何周もし、赤点を取らないようにしてきました。2年生になり大学受験が近づいてきてからは、友人と放課後、遅くまで残り学校で勉強をしていました。

■授業や定期試験と並行し 英検対策を3年間続けました

学校での勉強のほか、一つでもいいので何か英検・漢検のような資格を大学受験で有利になるくらいまで取っておくといいかもしれません。私は英検に絞っていたので、高校3年間は、学校での模試・授業、定期試験と一緒に英検の勉強もしていました。

高校での生活はつらいことや大変なこともたくさんあるかもしれませんが、それらを乗り越えて卒業し大学に入学すればそれらも思い出になり、将来きっと何かに役立つと思います。受験の時期は、親や学校の先生など周囲の人たちからのプレッシャーや一言に傷つき凹んでしまうこともあるかもしれませんが、それらに負けずに、逆にそれをバネにして頑張ってください。

大東文化大学 文学部 書道学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
住吉中出身

先生のご指導で実技試験で挽回し 憧れの大学に入学できました

■書道についてもっと深く
学んでいきたい

私は小学 1 年生の頃から習字を習っています。少しでも「字がきれい」と言われたいと思い塾に通い続けていました。中学 3 年生の時どこの高校へ進むか悩んでいたところ、母や習字の先生から仙台育英の書道部について教わりました。はじめは公立に行こうと思っていましたが、書道部に入りたいという思いから仙台育英にしました。そして渡辺先生に出会ったのです。

書道部顧問の渡辺先生はいつも明るく、元気でおもしろいのですが、書道に関しては人一倍厳しく、怖い先生だと思っていました。しかし、怖いのですが、とても生徒思いで頼りになる良い先生です。私は正直に言うと、書道がこれほど辛いとは思いませんでした。作品を作るための合宿を何度もしました。合宿では朝方まで書き込む人もいます。1 年生の頃はまだ何も知らず、甘い考えを持っていました。書道展の大会には、個人賞はもちろんのこと、団体賞もあることも知りました。2 年生の頃、私は自分のために作品を作るのではなく、先輩、先生の期待に応えられるよう作品を作ろうと思いました。その結果国際高校生選抜書展では優秀賞を取ることが出来ました。

その頃から、もっと書道について勉強したいと思いはじめ、大学進学を考えるようになりました。私の第一志望は大東文化大学でした。日本トップクラスの先生が他の大学よりも多く集まっており、オープンキャンパスでは世界中の書道好きが集まると知り、ここで勉強したいと願うようになりました。しかし、私には力がなく、また入賞はするものの、上位賞には入っておらず、推薦の基準を満たしていませんでした。私は渡辺先生に相談し、実技試験に備えて必死で練習をして、公募制推薦を受け、なんとか合格することができました。

渡辺先生をはじめ、親や部活動の後輩など多くの人たちに支えられ、応援してもらいました。感謝してもしきれません。これから大学で活躍し、恩返しできるよう頑張っていこうと思います。

創価大学 文学部 人間学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
吉成中出身

長期休暇中はやる気を継続できるような 自分に合った目標や計画を立てましょう

■先生方のおかげで面接では きちんと応答できました

私は将来、学校に通いたくても通えない貧困国の子どもたちに学習支援をする仕事に就きたいと考え、英語で経済学を学べる創価大学を目指しました。

創価大学の公募制推薦には、英語のテストがあると知ってから、高3の夏休みは毎日多賀城図書館に通い、1日約8時間以上の勉強に挑戦しました。やる気を継続できる、自分に合った目標や計画をしっかりと立てることが大切です。私はレベル別に売られている薄い英語の問題集を、何度も繰り返し解き、きちんと内容を覚えたら、次のレベルの問題集に取り組みました。夏休み明けは、放課後に多賀城図書館や宮城野校舎のオークルームにも通い、4年間分の過去問を使って、問題集を時間内に解く練習をしました。創価大学の英語のテストは毎年、基本的な問題が多く出題されますが、年によっては難易度が少し高い時もありました。

公募制推薦を受験するにあたって、一番力を入れたのは、面接練習です。私は、面接に苦手意識があり、緊張すると思うように上手く話せなくなってしまうことが悩みでした。しかし、早いうちから多くの先生方に面接練習をしていただいたおかげで、本番では、自分の言葉できちんと受け答えができました。

■外国語コースでの経験が 自己アピールに役立ちました

私は、3年間皆勤で学校に通い、学習面では、毎学期のテストで常に上位を目指して勉強に励みました。部活は、3年間インターアクト部に所属し、3年生の時には部長に推薦していただきました。沢山のボランティアに参加したことで、人のために行動できることに感動や喜びを感じるとともに、新しい自分の一面も発見することができました。この経験を生かして、大学では海外ボランティアにも挑戦したいと考えています。また外国語コースの授業で取得した茶道の資格や、日本伝統文化や第二外国語を学んだ経験は、自己アピールをする際に、大いに役立ちました。結果として、第一希望としていた経済学部は残念ながら落ちてしまったのですが、第二希望であった、文学部に無事合格することができました。

これまでずっと全力でサポートしてくださった先生方や、いつも支えてくれた家族、すべての方々に恩返しができるよう、創価大学で勉強や留学など、どんなことにも常に挑戦し続け、自分自身を成長させていきたいです。

文教大学 情報学部 メディア表現学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
塩竈第二中出身

複数の先生方から面接指導を受け 自信を持って受験できました

■表現力を伸ばしたいと考え
この学部を志望しました

幼い頃から歌やダンス、映画や演劇に強く惹かれ、いつしか自分も表現する力を身につけたいと考えるようになりました。様々な角度から幅広く自分に合致した表現方法を見つけるため、文教大学情報学部メディア表現学科への受験を決めました。

私は公募制推薦という方法で受験しました。公募制推薦とは、指定校推薦とは異なり、学校長からの推薦で受験する入試方法です。公募制推薦入試では日頃の生活態度や評定平均値、部活動などの活動成績が見られます。そのため私は、3 年間、チアリーディング部に所属し、ボランティア活動や地域のイベント、大会などに参加してきました。また、欠席日数も大きく関わってくるため、体調管理にも注意し、服装の乱れなどといった生活態度にも気をつけてきました。

私は受験の 1 ヶ月前から、小論文の練習、2 週間前から面接練習を始めました。小論文は大学の過去問を解き、先生方に添削をしてもらい練習を重ねました。面接練習では多くの先生方に面接練習をお願いし、臨機応変に対応できる力をつけました。そのおかげで本番でも自信を持って受験することができました。そして合格することができました。

これから受験する皆さんも、日頃から努力を忘れずに、合格を目指して頑張ってください。

日本赤十字秋田看護大学 看護学部 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
矢本第一中出身

部活動で得た諦めない気持ちで 目標に向かって全力で努力しました

■震災を経て災害時の看護に 関心を抱きました

私の将来の夢は看護師になることです。看護師になるにあたり専門学校より深い知識を身につけることができると考え私は大学進学を選択しました。

そして、私が公募制推薦を選んだ理由はどうしても日本赤十字秋田看護大学に入学したいという強い思いがあったからです。私は東日本大震災を経験したことをきっかけに災害時における看護というものに関心を抱きました。日本赤十字秋田看護大学は災害時における専門的な訓練がカリキュラムに組み込まれており、自分の学びたい専門的な分野を学ぶことができる点から、この大学で学ぶチャンスを 1 回でも増やしたいという思いもありました。

公募制推薦を受験するにあたって評定平均値が大切なので定期テストの勉強を特に力を入れました。必ず 2 週間前からテスト勉強を始めて時間のかかる教科や苦手な教科を重点的に時間をかけて取り組みました。その結果、年々定期テストの点数を伸ばすことが出来ました。

■ HR 前や登下校の時間を 利用して勉強しました

私は 3 年間運動部に所属していました。放課後は練習があるため他の特別進学コースの人たちよりは勉強時間をとることは出来ませんでした。私は遠方から通っていたため電車で 1 時間、帰宅してからの 1 時間を集中して勉強に取り組むようにしていました。朝は必ず始発で行きホームルームまで 2 時間を予習の時間にあてて時間の使い方を工夫して勉強に取り組みました。他の人よりも時間がないことを言いわけにせず、部活動で得た負けん気と諦めない気持ちを勉強にも生かし、目標に向かって全力で努力することが私は大切だと思います。部活動を引退してからは頭を勉強モードに切り替えて勉強に取り組みました。家ではテレビなどの誘惑が多いので放課後は学校の図書館、休日は近所の図書館を利用していました。自分が一番集中しやすい環境で勉強に取り組むことも大切だと思います。

私が大学受験で一番大切だと思うことはその大学に行き成し遂げたいことを明確にして絶対その大学に入ると強い気持ちだと思います。自分の夢を叶えるためにこれからも努力し続けていきたいと思っています。

東北学院大学 文学部 歴史学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
広瀬中出身

先生方を信じるのが 部活動でも受験でも大切です

■推薦入試で重要なのは 勉強面と生活面です

私が東北学院大学文学部歴史学科を目指したきっかけは、私は小さい頃から歴史を学ぶことが好きで将来は歴史科の教員になりたいと考えています。また私は中学から 6 年間陸上競技をやっていてこれまで数多くの全国大会に出場することができました。2 年次の後半から（陸上競技を続けながら好きな歴史科の勉強をしたい）という思いが生まれスポーツでの公募制推薦での入学を決意しました。

スポーツでの推薦とはいえ一番大切なのは勉強面と生活面というのを入学したときから先輩や先生などから言われていたので私は常日頃から少しの時間でも学習に使っていました。そのおかげで私は 3 年間で赤点を一度も取らず高評定を出すことができました。また、授業では集中的に取り組んだおかげで先生方から高い評価をもらうこともできました。そのおかげで受験までの準備はスムーズに行えました。

■先生の支えでケガから早く 立ち直ることができました

部活動の面では私は 1 年のときから総体に出場させていただきその中でインターハイや国体など大きな大会に出場しました。部活動で大切だと思うのは先生を信じることだと思います。私は 3 年のときにケガがあり大事な試合を落としてしまうことがありました。その時に一番支えてくれたのは先生でした。そのおかげで早く立ち直ることができその先の大会にも臨むことができました。

受験の際、私は先生に頼み放課後に面接練習をさせていただきました。その中で声の大きさや早さ言葉の内容を指摘していただき本番の面接でも焦ることなく受け答えができました。また国語の教科担当の先生から小論文の対策プリントをいただきそれをやったおかげで本番の小論文もきちんとすべて埋めることができました。

私が今回の受験で成功した要因は 1 年からの生活だったと考えます。後輩達へのアドバイスとしては毎日の授業をきちんと受けようと言いたいです。

東北学院大学 経済学部 経済学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
五橋中出身

勉強と部活のバランスを考え 両立して受験を乗り越えました

■面接は先輩方がされた
質問を参考にしました

私は東北学院大学経済学部経済学科にスポーツでの公募制推薦で合格しました。大学進学は高校入学当初からの目標だったので、とても嬉しく思っています。

受験は小論文と面接でしたが、過去の小論文を担当の先生に添削してもらったり、自分なりに書くことに、かなりの時間を費やしました。とにかく書いてみるという事が大切だと思います。また、面接は何回も担任の先生に実施してもらいました。担任の先生だけではなく、他の先生にお願いして練習してもらうことも大切だと思います。先輩方が今まで面接で聞かれた事を参考にするととても良いと思います。

私が大学受験を乗り越える事ができた要因は、部活動と勉強の両立だと考えています。また、担任の先生や友人たちも小論文や面接練習に協力してくれて、とても感謝しています。

東北学院大学 教養学部 地域構想学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
将監中出身

推薦入試だからといって油断せず しっかり準備しましょう

■部活動ではできるだけ 好成績を残しましょう

私が東北学院大学教養学部地域構想学科に推薦入試で合格するにあたって必要だと感じたことは、部活動の成績と私生活の態度、受験対策です。まずは部活動の成績についてですが、部活動にもよりますが、インターハイに出場していると良いと思います。私の場合、400m リレーで 3 位に入れたことが大分大きかったと思っています。県大会では優勝することが必要だと思います。次に私生活についてですが、校則を守ることは当たり前ですが、授業中寝ないなど日常的な部分が非常に大事だと思います。理由としては、推薦入試ですと、人間性が見られると思います。試験監督はその道のプロですので、試験当日だけ良い態度を取っても、日頃の態度が悪いと、自分の弱みを見抜かれると思います。日頃から私生活をしっかりしましょう。

■合格後はやるべきことを 考えて毎日を過ごしましょう

最後に受験対策ですが、スポーツでの公募制推薦の場合、面接試験と小論文があります。私は受験日 2 週間前から面接練習を行っていました。担任の先生は基本的に忙しいので、部活動の顧問の先生にお願いするのが良いと思います。小論文については、本屋で小論文対策テキストを買って練習したり、受験校の過去問を書いてみて、小論文の先生にポイントを教えて貰うのが良いと思います。推薦だからと油断していると落ちることもあるので、しっかり準備しましょう。きっと合格できると思いますよ！ 推薦入試で合格した人は学業のレベルが低い、と、はっきり書いてある学校もあります。合格したからといって遊ぶのではなく、自分でしっかりとやるべきことを考え一日一日を過ごしましょう。もちろん課題も出ます。課題の内容はかなり大変なものが多いので、早め早めに取り掛かりましょう。合格した日から大学の入学式までの過ごし方で、大学生活が良くも悪くも変わります。これまで以上に学業を頑張りましょう。最高の大学生活を送るためには今が大事です！

東北福祉大学 教育学部教育学科初等教育専攻に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
山形 山形第十中出身

悩んだ時に周りから一言もらうだけでも 受験に臨む姿勢が変わります

■ AO 入試不合格でも諦めず 第一志望を目指しました

私は小学生の頃から幼稚園教諭になりたいという思いがありました。その思いを実現させるために東北福祉大学の教育学部を選びました。しかし、模試での判定は“E”や“D”ばかりで一般入試で入学できる可能性がとても低く諦めかけていました。それでも第一志望の東北福祉大学に入りたいという思いが強かったので AO や一般公募といった推薦を考えました。推薦で合格するには部活動や資格、ボランティア活動といった自分をアピールするものが必要でした。私は自分自身のアピールに繋がるものが何一つなかったので AO 入試のギリギリではありましたが、福祉施設と児童施設の両方のボランティアに参加し、様々な経験をしました。しかし、そればかりに力を入れていて面接や筆記対策を怠っていて当日は良い結果を残せず、不合格でした。それでも私は諦めず次に公募制推薦に気持ちを切り替え、日頃小論文対策に臨みました。面接練習は入試前日に担任の先生とし、それでも不安だったのでクラスの友達 2 人にも手伝ってもらいました。そのおかげもあり、2 回目の入試では特に悪い点がなく終わる事ができ、受験者 88 名の内の定員 28 名の中に入り無事合格することができました。今振り返れば、2 回目の公募制推薦の入試の前に家族とぶつかったり、諦めかけたりした事が多くありました。でも、そんな時頼りになるのは同じ受験生の友達やクラスの人でした。私 1 人では受験を乗り越えられなかったと思います。

■悩んだ時は友人や先生から 元気をもらいましょう！

これから受験を迎える後輩のみなさん、受験の仕方は色々あります。自分に合った受験方法で挑んで下さい。そして、たとえ結果が思い通りにいかなくても諦めなければきっと自分自身の成長につながります。最後に、悩んだりツライ時は周りの友人や先生からアドバイスや元気をもらって下さい。1 人で悩み込むより、周りから一言もらうだけでも受験に臨む姿勢が変わります。ぜひ第一志望の大学に合格できるよう頑張ってください。応援しています !!!

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
宮城野中出身

1 つひとつ着実に苦手を克服していき 成績を伸ばすことができました

■ライバルに負けないという
思いが集中力に繋がりました

私は小さい頃から薬剤師という仕事を身近で見してきました。患者さん 1 人ひとりに会った薬を処方している姿に憧れを持ち、私も家業としてその志を受け継ぎたいと思い薬剤師を目指すことを決めました。

薬剤師になりたいという夢を実現させるために、私は高校に入学してからの 3 年間毎日勉強してきました。しかし、私の場合、1・2 年生のときには毎日勉強しているのにもかかわらず、成績が下がってしまう一方でした。その原因を考えたとき、長時間勉強していれば身につくだろうと思っていたからなのだと気付きました。そのため受験勉強ではその考えを見直し、内容重視の勉強方法に改めました。

東北医科薬科大学を公募制推薦で受験することが決まったとき、私は絶対合格しようと心に誓いました。ライバルを見つけ、決して負けたくないという気持ちをばねに勉強に励むことで、自然と受験勉強に集中することができました。

大学受験は、夏休みの過ごし方が重要となります。夏休み期間中私は、受験科目である英語と化学を中心に勉強しました。受験勉強は基礎をしっかりと固めることから始まります。1 冊の問題集を繰り返し解き、ぼろぼろになるまで使いました。また、問題を解くスピードを速くするために、少し短い時間を設定し、その時間の中で演習するように心がけました。放課後は苦手な分野を中心に、化学の先生に 1 対 1 で教えていただき分からない所を補強しました。集中して勉強ができ、1 つひとつ苦手をつぶしていくことで成績が伸びたのだと実感しています。

■オープンキャンパスでは
貴重な情報も得られます

最後にアドバイスとして、志望している大学のオープンキャンパスは必ず参加して下さい。大学の先生と実際に話して初めて得ることができる情報も必ずあります。その情報が可否に関わってくることもあるかもしれません。そして、ぜひその大学の雰囲気を感じてきてください。受験勉強で辛くなったとき、諦めたくなったとき、きっと勉強のモチベーションにつながってくれるはずです。

仙台育英で過ごす 3 年間はとてもあっという間です。失敗や後悔もこれからたくさん出てくると思いますが、それも卒業するときには 1 つひとつ懐かしい思い出になります。学年が上がるにつれ、1 年が過ぎるにはとても早く感じます。だからこそ、1 日 1 日を大切に過ごし、進路達成に向けてがんばってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
多賀城第二中出身

受験本番は緊張してしまい 思った通りの面接ができませんでした

■薬学部受験に必要な物理を 履修しておらず大変でした

私が薬剤師を目指したきっかけは、東北医科薬科大学のオープンキャンパスにいったことです。元々、医療系の仕事を希望していたのですが、どれになったらいいかずっと悩んでいました。オープンキャンパスもどこに行こうか考えていた時に、友達が誘ってくれたので、行くことにしました。オープンキャンパスに行った時は、この大学の特徴はどんな所か、他の大学に比べたらどこがいいかなど考えながら回りました。また、薬剤師はどういった仕事なのかも質問しました。そのようにしていくうちに、薬剤師が自分に合うと思い、薬剤師を目指すことにしました。

薬剤師を目指すことにしたら、次は大学を決めることにしました。私は、地元の大学が一番いいと考えました。宮城には、薬学部があるのは東北大学、東北医科薬科大学しかないので、母子家庭である私は、東北大学の方が良かったのですが、東北大学は物理が必須だったので、生物をとっていた私は、受けるにはとても厳しかったです。母も、できれば国立にしてほしいと言っていたので、他県の国立大学を調べたのですが、どこも物理が必要でどうしたらいいのかすごい悩みました。この時、1 年生のうちにやりたいことを決めておけば良かったと思いました。母とも相談を何回もして、奨学金を借りて東北医科薬科大学を目指すことにしました。

■頑張って勉強したら

化学がどんどんできるように！

東北医科薬科大学を受験することになって、まずは指定校推薦を目指そうと思いました。しかし、1 枠しかなく、自分の努力も足りなかったので、指定校推薦は落ちてしまいました。そこで次は、公募制推薦を目指すことにしました。東北医科薬科大学は英語と化学のマーク試験があったので、勉強のほとんどを化学と英語にしました。英語はそこまで難しくはなかったのですが、化学は細かい所まで聞かれ、配点も今までの倍となっていたので化学を特に頑張りました。わからないことは仙台育英の先生に聞くようにしていました。そうしていくうちに化学はどんどんできるようになりました。そして、面接もあったのでその練習もしました。面接では、自分のやりたいこと、どうして東北医科薬科大学に入りたいかを伝えるにはどのようにしたらいいのかを考えながら練習しました。

そして本番を迎えました。試験当日はとても緊張して、問題が中々頭に入ってきませんでした。面接でも自分のいたい事も言えず思った通りにできませんでした。なので、受験する時はとにかく落ち着くことが大事だと思いました。そして、無事、合格することができました。後輩の人たちもがんばってほしいです。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
矢本第一中出身

勉強を最後まで気を抜くことなく 続けたことが一番の合格要因です

■最も得意な化学を生かせる

大学を選びました

私は前から薬剤師になりたいと思っていたのでそのときから薬学部に進学したいと考えていました。

どの大学を受験するか迷っていたとき、自分の最も得意な化学を生かせる大学を受験しようと考えました。そこで東北医科薬科大学の推薦入試を受験しました。

推薦入試を受験すると決めてから化学をほぼ完璧な状態で臨めるように勉強時間のほとんどを化学に費やしました。そのおかげで模試での偏差値と得点が大きく伸びました。

私の化学の勉強法は、化学基礎のセミナーでもう一度復習し、それでも分からなかったところを先生に聞きに行くという方法です。それとは別に先生から演習プリントを複数枚もらい、繰り返し解きました。また、センター試験の過去問も解きました。

化学はある程度の知識を詰め込んでから演習に取り組んだ方が効率的だと思います。知識を身に付けた上で演習や模試で間違えたところを吸収していくことでだんだんと得点が上がってくると思います。

■適度な運動で受験に備え

体力づくりをしましょう

また、推薦入試では評定が大事になってきます。1 年生のときから常に高い評定を保っていた方が何かと特だと思っています。私は得意科目以外は赤点回避を目標として定期考査を受けていたのであまり評定はよくありませんでした。できるだけ高い評定をとっておくことをオススメします。

私の受験に成功したいちばんの要因は、最後まで手を抜かず勉強し続けたことだと思っています。努力すれば結果はついてくると初めて実感できました。

これから受験する皆さんも志望大学に合格するためにあきらめず努力し続けてください。努力していれば必ず合格できるはずです。受験を乗り越えるための体力をつけるために適度な運動も忘れないように。

がんばってください！

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

分からない問題や苦手な分野は 積極的に先生に教えてもらいましょう

■妹の病気をきっかけに 薬学に興味を持ちました

高 2 の夏頃、突然私の妹が具合が悪くなり入院することがありました。1 ヶ月間入院しても原因がわからず、なかなか良くなりませんでした。そしてセカンドオピニオンとして他の病院に入院することになりました。そこで色々な薬を試し、薬の副作用もありましたが徐々に良くなっていきました。このことがきっかけとなり、私は家族のため人のためになる薬の専門家になりたいと思い大学進学の道を選びました。

私の場合、公募制推薦で化学と英語の筆記試験と面接がありました。化学の配点が 200 点、英語は 100 点だったので化学に特に力を入れて勉強しました。化学は入試前日までセミナーを何周もしました。ただ単元を 1 つずつ順番にやっていくのではなく、1 週間後に必ずその日解いた単元の部分を復習できるように心掛けました。しっかり自分が理解できているか、よく間違えてしまうのは何か、自分の得意な部分と不得意な部分を明確に区別させ、自分の得意分野を増やせるよう努力しました。1 日の間違えた部分のメモを寝る直前に確認して更に記憶が定着するよう工夫したりしました。

化学はとりあえず前に述べたようにセミナーを何周もしつつ大学の過去問、センター過去問を解いていきました。過去問を解く際は時間配分が重要です。練習しながら自分に合った時間配分を探していってみたいと思います。英語は、ネクステを化学のセミナーと同様に何度も復習して英文法の基礎がつくように学習しました。英単語、英熟語はかかさず毎日やるように習慣づけました。

■面接は複数の先生方に 指導していただくとよいです

面接対策では、なぜその大学を選んだのかという根本的な事に対する自分の考えを持ち、自分の言葉で言えるかどうかだと思います。そこから将来像として具体的にどうなりたいのか、今までの身の回りの日常的な事柄、経験を振り返ることで説得力のある自分らしい考えを言う事ができると思います。あえて専門用語はあまり使わない方がいいと思います。面接官は、本当に理解して言っているのか確かめるため答えづらい質問をしてきたりする場合もあるかもしれません。面接は数人の先生方にみてもらうにつれ上達することができるはずです。

入試までの期間を振り返ると、私が合格することができたのは、ほぼ毎日、昼休みや放課後先生に教えてもらえたからだと思います。分からない問題や苦手な分野について先生に教えてもらおうと自分一人で勉強するよりも理解でき記憶により残りました。先生方に教えてもらえる環境があるので積極的に聞きにいった勉強を進めて頑張っていって下さい。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
青葉中出身

3 年間は短いので後悔しないように 一日一日を大切に過ごしましょう

■限られた時間での勉強法を
工夫し毎日続けました

私が宮城学院女子大学を志望した理由は、県内志望だったからです。東北学院大学は、構内で説明会があり、それを聞き自分には合わないと思ったので宮城学院女子大学を志望しました。私が宮城学院女子大学を志望し始めたのは高 3 の 8 月頃だったため指定校には間に合わず、一般公募で受験することに決めました。

一般公募の受験は小論文と面接でした。小論文の内容は、英文を読み、その要約を日本語でまとめ、問いに対しての自分の考えをまとめるものでした。面接は、簡単な質問を英語で答えたり、志望動機を日本語で質問されました。私がした受験対策は、英語の教科書を読み、内容を要約し、それを先生に添削して頂いたり、また、志望理由書の内容を英語で答えられるようにしました。

私はチアリーディング部に所属していたため、大会や遠征等で忙しい時は、放課後はもちろん、土日やテスト前も練習しました。周りよりも勉強する時間が少ないので、限られた時間のなかでどのように勉強するか工夫して勉強しました。また、ちょっとした時間に英単語帳を開いたり、毎日少しずつ勉強することが大事だと思いました。

3 年間の高校生活はとてもあっという間です。部活動と勉強の両立は大変だったけど、かけがえのないたくさんの思い出を作ることができました。もっと勉強しておけばよかったとか、遊んでおけばよかったとか、あとから後悔することがたくさんあります。なので、一日一日を大切に高校生活を過ごしてほしいと思います。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
将監中出身

早くから多くのオープンキャンパスに 参加すると進路選択の幅が広がります

■部活動やボランティアの 経験を入試に生かしました

私は将来、英語を使った仕事に就きたいと考えており、さらなる語学力の向上を目指して大学進学を決めました。高校 1 年生から、英検や TOEIC の挑戦、部活動、ボランティア活動も積極的に行っていたため、推薦入試を利用したの入学を決意しました。

推薦入試を考えてる人は特に、2 年生から大学のオープンキャンパスに積極的に参加することをおすすめします。3 年生の夏休みは、志望校を決めるのではなく、志望校の模擬授業を受けたり、教授と話をする時期です。早い段階から数多くの大学を見ることで、選択の幅が広がります。高校生活 3 年間の限られた時間を有効に使うことが大切です。

■シャトルパスの乗車時間や 待ち時間を活用しました

英語科を目指す人は、英検 2 級以上の取得や TOEIC への挑戦をしてみましょう。英検や TOEIC は対策が必要です。私は、過去問題や予想問題を何度も解いたり、先生に面接練習をお願いしたりして検定取得に臨みました。もちろん、検定だけではなく学校の授業や定期テストも大切です。そのために、授業の予習復習は欠かせません。私は、シャトルパスを利用して登下校をしていたので、朝はパスの中で単語帳を見たり読書したりしました。放課後はシャトルパス発車までの時間を使い、宿題や検定対策をしたり、英語で動画を見たりしました。遠くに住んでいて、なかなか勉強の時間が取れない人は、移動時間や休み時間などの空いた時間を有効に使って勉強すると短時間でよく覚えられます。

また、部活やボランティア活動も積極的に行いましょう。これは、大学受験のためだけではなく、自分自身が成長できるからです。部活動はクラスやコース、学年、校舎を超えてたくさんの仲間ができます。ボランティア活動では、交流を通して、たくさんの繋がりができ、広い視野を得ることができます。

高校生活でたくさんのことを学び、経験して、夢に向かって頑張ってください。

宮城学院女子大学 生活科学部 食品栄養学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

進路選択では今までの自分を振り返って 将来に繋がるキーワードを探しました

■「食」を通して多くの人を
元気にし支えていきたい

しっかりと進路のことを考え始めたのは高校 2 年の冬でした。当時志望していた大学を目指し、頑張るのかと聞かれても自信を持って「はい」と言えず、勉強に身が入っていなかったことがきっかけです。

本当に自分が学びたくて、将来なりたいものは何か。私は今までの自分の経験と身のまわりの出来事を振り返って自分の将来に繋がるヒントはないかを探しました。とうとう見つけたキーワードは「食」。毎日栄養いっぱい色彩が綺麗で美味しい食事を作ってくれる母、世界で活躍している日本人スポーツ選手の食事をテレビで見たことが大きな理由です。それから私は「食」を通して人々を元気にしたり、病気の人を直接的な医療でなく「食」の面から補佐してあげたいと思うようになり、管理栄養士を目指すことにしました。

■周りの人達の大きな支えが
合格できた一番の要因です

管理栄養士になりたい、社会からの信頼が厚く東北を代表する女子大である宮城学院女子大学の先生方の下で 4 年間学びたいなど行った自分の強い意志を直接大学の先生方に聞いてもらいたいと思い、推薦入試を受けることにしました。また、それらの意志をぶつけられたことが受験に成功した一つの要因だと思います。そして何よりも先生、親、友達などの周りの大きな支えがあったことが受験成功のいちばんの要因です。

私は高校 3 年間、互いに高め合える仲間に出会い、本当に周りの人に恵まれ、充実した高校生活を送りました。伝えきれないくらい大きな感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高砂中出身

3 年間で培ったものは進路に関係なく 自分の一生の強みになります

■ 関心のあるカリキュラムが 最も多い大学を選びました

推薦入試の中でも公募制推薦を利用した理由は、時期です。私は 3 年生の 10 月頃まで別の進路を志望していました。そのため既に指定校推薦と AO 入試の利用は不可能でした。急な進路変更にも対応できるように、3 年間の評定や検定は大事なものだと思います。私は大学に行く理由とは、夢を実現するためだと考えています。たとえば、目指す職業に就くための免許取得、学びたい学問がある、スポーツ、留学など理由は様々だと思います。自分の夢を実現できる大学に行くことが、大学選びの最も重要なポイントでしょう。私も別の志望していた進路から現在の進路に変更した理由は、やはり自分の一番好きなことを学びたいという気持ちが強かったからです。私の進学するような外国語系の学部は数多くありますが、最も自分のやりたい内容が詰まっているカリキュラムのある大学を選択しました。

■ 3 年間で熱中できることを 見つけると自信になります

大学の知名度や偏差値も大事ですが、私は大学のカリキュラムと自分の意思を重要視して検討しました。進路にあたる具体的な点は以上ですが、高校生活 3 年間を送るにあたって最も大事なことは、自分なりの充実した生活を送ることだと思います。それは、勉強や部活動、趣味など何でも構いません。自分の熱中できることを見つけて、自信をつけることが目的なのです。そうした 3 年間で過ごした人は、受験の際も面接に困りません。さらに将来いつになっても高校生活に胸を張れるでしょう。私の場合は 3 年間で部活動にかけてきたため、最もアピールポイントになった部分だと思っています。面接の際に求められる「3 年間努力してきたこと」や「長所と短所」なども部活動を通して学んだことや新しく見つけた自分について応答しました。3 年間の努力から得るものはとても大きく、自分の一生の強みにもなります。進路に関係なく培ったものは、進路にもまた将来にも必ず自分の味方になってくれます。みなさんも自分にしかつくれない有意義な 3 年間を送ってください。

宮城県農業大学校 アグリビジネス学部
公募制推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
宮城野中出身

将来目標を見つけたときに困らないよう 常にスキルアップを心がけましょう

■大学で学びながら自分に
あった仕事を見つけないです

初めに私がこの大学に入ろうとした理由は少なく、母や先生がすすめてくれたためでした。しかしながら調べてみると、私の将来に必要なのは、このような大学なのだと思います。私はとくに夢を持っていなかったのですがアグリビジネス学部は、物を作るところから加工して売る所までの経験ができるということは自分に合った仕事を見つける手助けになるし、そして、さまざまな職種の人と触れ合い、職についての意識向上につながると感じました。

さらに、資格が多く取得できるため職の可能性が広がります。私は、将来の夢がない人に必要なのは、夢が見つかったときに、その場で働くのに困らないようにスキルアップをしていくことだと思います。大学のテストが中学生の頃の範囲が中心だったので、時間があるときはなるべく数学の中学受験の過去問を解いていました。特に球の面積や証明などの図形に関する部分が苦手だったので重点的に苦手分野を克服していきました。そして残るは小論文と面接、この大学の小論文は基本的に、大学に入って身に付けたスキルをどうやって使い、宮城県に貢献していくかを、その時出された問題文に沿って書いていくような感じだったので、宮城の地形の特長や野菜などの個性について勉強しました。面接は、特に回答に困るような質問はなく、先生方と練習した模擬面接で聞かれたことばかりでした。

2017 栄光への軌跡

2017 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



指定校推薦

早稲田大学、立教大学、中央大学、法政大学、東京理科大学、
学習院大学、同志社大学、立命館大学…

早稲田大学 法学部に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
東京 調布第七中出身

自分に合う勉強法は効果が大きいの たっぷり時間を掛けて模索しましょう

■毎日ほんの少しでも 勉強しましょう

私はもともと、指定校推薦でどこかの大学にいけるような人間ではありませんでした。確か高校 1 年生の時の面談ではクラス落ちのラインすらいる、と言われたほどです。そんな時、クラスで当時 1 番成績の良かった友達に模試の結果を見られてしまいました。それがきっかけで勉強し始めようかと画策しましたが、自分一人では何も出来なかったため、例の友人含む周囲の人間を頼るようになりました。今思えばこれが高校生活の転機で、これ以降友人と勉強したり遊んだり充実した日々を送ることが出来ました。結果的に自分に合っていた参考書を数十冊買って勉強したのですが、30 位くらいだった模試は 1 位、2 位をとれるようにまくなりました。「自分に合った勉強法」というのは思いのほか効果が大きいの、まずこれの模索にたっぷり時間を掛けてもいいと思います。次にモチベーションの維持の仕方ですが、毎日ほんの少しでも勉強することが肝要かと思います。私は初めて模試で 1 位を取った日に自分への褒美と、丸一日ゲームに没頭しました。途端、一気にやる気が失われ 2 ヶ月間何もしなかった、というケースがあるので、遊ぶにしても少しは勉強することを意識しましょう。

■定期テスト等の積み重ねが 推薦枠獲得に繋がりました

最後に指定校推薦の受験資格を得るために、についてですが、特に気張らず当たり前のことをやることが何よりも大切です。数名例外はいますが、ほとんどの先生はしっかり授業を聞いていれば定期テストの点も取れるようにしてくれています。私は指定校推薦に大きく関わる模試の 1 週間前に入院して、本番当日も高熱で決して良いとはいえない得点でしたが、日々の努力を見てくれたのか無事資格を得ることが出来ました。それも定期テストなどの小さな積み重ねありきのことだと思っているので、努力が報われた気がして嬉しかったです。皆さんも日々努力を重ねて、志望大学合格に向けて頑張ってください、

早稲田大学 商学部に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
長町中出身

登下校や休憩時間も 1 分 1 秒を有効に 使うことにより実力が伸びました

■授業は土台を養うので
しっかり受けましょう

私は、国公立大学を目指しつつ、指定校推薦を視野に入れて生活してきました。そのような生活の中で、やってきて良かったことを述べたいと思います。まず、授業や定期テストに真剣に取り組んだことです。学校の授業は土台となる知識を養うものだったので、しっかり受けていました。また、私は理系を選択し、高校 2 年生の生活を送ったので、文転を決意してからの理系科目はとても大きな壁となりました。それでも、絶対に評定を下げないと心に決め、粘り強く勉強と向き合っていました。

■継続して積み上げたものは
必ず自分の力になります

次に指定校推薦に向けて心がけていたことです。先程述べたように、理系だったので数学と理科が得意だった一方、国語や英語といった文系科目は苦手でした。文系学部の指定校推薦で内定を取るためには、国語と英語のテストで結果を出さなくてはいけなかったので、2 年生の冬から校内模擬試験までの半年は、毎日 4、5 時間国語と英語だけを勉強していました。勉強するにあたって学校の勉強できる場所をうまく利用していました。学校で勉強し、解説を見ても分からない問題は積極的に友人や先生に聞きにいきました。ここまでは放課後の話ですが、私が特に強調したいのは登下校、休憩時間の使い方です。電車に乗る数十分、昼食をとってからの空き時間は勉強の習慣をつける上で大事な時間でした。電車で単語を確認するのを毎日続けることで、効率よく英語に触れることができました。また、毎日昼休みに図書室にいき、落ち着いた環境で授業の復習をしていました。1 分 1 秒を大切に生活することで、学力が伸びたと思います。そして校内模擬試験が終わってからは、自己推薦文を書かなくてはなりません。分量がとても多く、何度も何度も書き直しました。自分のことを見直し、志望する大学を深く考える機会になりました。

ここまで私が内定合格するまでのことを書いてきました。みなさんに伝えたいことは沢山ありますが、一番伝えたいことは、コツコツ継続して積み上げたものは必ず自分の力になるということです。とにかく諦めないで物事を継続していれば、おのずと結果はついてきます。有限である時間を有効に活用してください。以上です。頑張ってください。

立教大学 グローバル・リベラルアーツ・プログラムに
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

強い意志を持って前に進めば 最後には目標を達成できます

■先生や先輩、友人は必ず 支えになってくれます

私は、平成 28 年の 4 月に 3 年生に編入学した中国人留学生です。最初の 2 カ月は、大学進学について何も分からなく、多くの先生方と相談しながら、自分でもインターネットや資料を通して大学を調べました。この過程の中で、いろいろな困難を経験しましたが、最後に志望大学に合格することができて本当に良かったと思います。

私の経験は、まず、自分の努力が最も重要だということです。例えば、校内模試の成績や評定平均値は指定校推薦を希望する生徒は当然乗り越えなければならないものです。また、英検や TOEFL 等の各種検定試験にチャレンジすることも大切です。英語の勉強方法は、まず、今まで習ってきたことの総復習、とりわけ文法事項や語彙等の復習に役に立ちました。そこで、やったことがいくつか模擬試験等に出てきて、高得点を取得することができたときは、達成感を得ることができました。日々真面目に努力を続けることは、なかば目標に到達したことと同じだと思います。

また、先輩や友達、先生に相談することも大切です。自分の考えがあれば、必ず先生にすぐ相談します。将来の計画も必ず早めに考えて、確認します。そうすれば、必ず先生や周りはサポートしてくれて、自分ひとり以上の結果を得ることができます。しかし、大学は自分のことです。先生や周りの人に頼り過ぎることだけは気をつけましょう。

■良い心理状態を保つことが 合格への近道です

私は、最初の第一志望の大学に失敗しました。そのときは、本当に落ち込みましたが、すぐにその心配や落ち込みは無用だと気づきました。受験生に落ち込んでいる時間はありません。すぐにもう一度志望大学について考えました。受験は、できる限り自分の心理状態を良い状態に保つことが何より合格への近道だと思います。やってしまった後悔はだんだん小さくなりますが、やらなかった後悔はだんだん大きくなります。

志望理由書を書くときにまず、考えることは「将来やりたいこと」です。将来の目標から志望分野に関係ありそうなものをいくつかピックアップします。次は、やりたいと思った理由を考えます。さらに考えなければならないのは、目標と学びたいこと、自分と大学を関連させながら、この大学でなければならない理由です。これらの理由や計画がはっきりしていればしてるほど良いと思います。

最後は、「志さえあれば必ず成功する」ということです。強い意志で物事を進めるなら、途中でどんなに沢山の困難にぶつかっても、最後には目標を達成できると思います。後輩のみなさん、ぜひ強い志を持って頑張ってください。

中央大学 商学部 商業・貿易学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
宮教大附属中出身

『プラン 2000』や放課後の講習会など 恵まれた学習機会を利用しましょう

■『プラン 2000』で勉強と 真っ向から向き合いました

私には仙台育英に入学する際に決心したことが大きくわけて 2 つあります。1 つは勉強に対して真っ向から向きあうこと。もう 1 つは「仙台育英に入学するからには仙台育英の環境をちゃんと活用しなさい」という母の言葉を受け止め、それに応えることです。1 年次の 1 学期にはこの 2 つを実現するために先ず放課後の講習会に参加しました。放課後の講習会には授業の復習のつもりで参加しましたが、実際に受講すると、授業の復習だけでなく問題演習や大学入試のポイントや授業では教えていただけなかった細かいポイントまで学べました。これは受講すべきだと思い、2 学期からは受講数を増やしました。また、夏に行われた宿泊研修の『プラン 2000』では普段、自主学習をする際に出てくる誘惑が一切ない勉強に特化された空間で勉強に真っ向から向き合うことができました。就寝時間もギリギリまで友達と自習室に残り、勉強したことは今では思い出の 1 つです。振り返ってみると、この『プラン 2000』で勉強と真剣に向き合えたことで、入学する際に決心したことをより強く心に決めることができたのだと思います。学校では自習スペースを活用しました。図書室やオークルーム、GP ホールなどの自習スペースがありますが、私のお気に入りには職員室前です。そこは廊下ということもあり先生方が出入りするのでもちよとした緊張感をもって勉強できたり、程よい物音もあつたりと私にとってはよい環境でした。

■準選抜クラスに落ちて 学習スタイルを変えました

決心したことの実現に向け自分なりに頑張ったつもりでしたが努力が足りず、2 年生になる時に準選抜クラスから落ちてしまいました。大きなショックも受けましたが「このままではいけない」と思い、準選抜クラスに戻るために 1 年次以上に努力しました。放課後の講習をより多く受講し、自習スペースにいる時間を増やし学校が閉まる時間まで残る日も増えました。夏休み期間には甲子園応援よりも『プラン 2000』への参加を優先させました。テスト対策では 1 年次以上に授業でのポイントをノートに書くなどノートづくりに力を入れ、テスト直前にまとめるといった方法を定着させ、1 年次よりもよい成績をとることができました。このような努力や先生方のサポートもあり、3 年次には準選抜クラスに戻ることができました。私が指定校の推薦をいただけたのは入学する際の決心と 2 年次の負けん気からの頑張りがあつたからだだと思います。推薦をいただけたことと関係があるかわかりませんが、受講者が自分一人だけでも欠かさず行った放課後の講習会や駿台現代文講座を 3 年間受講したり、欠席をしないことを心がけたりしました。

最後に、一般にしても推薦にしても学校を活用することは自分の力になると思います。自分に合った方法で学校を活用してみて下さい。みなさんにとって意義のある高校生活になるよう祈っています。

法政大学 キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
秀光出身

周囲の協力を得るには自分自身が日々 向上心を持ち努力することが大切です

■部活動では将来につながる
多くを学ぶことができました

私は、国際的な面で人にどう貢献できるかを幅広く学びたいと考え、法政大学のキャリアデザイン学部を受験しました。進路を決定し入試の準備を進めていくにあたり、沢山の人の支援を頂きました。家族や友人、先生方の助言や支えがあったからこそ、ここ以外ありえないと思えるような大学・学部に出会い、合格することができたのだと思います。受験をするうえで周りからの温かい支えがいかに重要であるかを、心から痛感しました。そして、今考えると、周りの人の協力を得るためには3年間自分自身が日々向上心を持ち努力することがとても重要であったことに気が付けられました。指定校推薦は、相手からの信頼や多くの人の支えがあってこそ成り立つ入試方法です。それを得るためには、それなりの誠意を持って努力することが必要なのだと感じました。

私は、3年間生徒会執行部とオーケストラ部に所属しました。その中で役員や司会進行、企画や運営等様々なことに挑戦し、責任の重さや達成感など、将来につながる多くのことを学ぶことができました。また、私は審査や資格取得に努めました。評定や英検などの資格は、推薦受験ではとても重要になってくるので、1年生からコツコツと取り組むことをおすすめします。校内模試は、私は参考書や問題集を利用し、一般受験のつもりで勉強しました。校内模試で確実に点を取る為に、センターの過去問で高得点を維持することを意識しました。

これから受験をする皆さんも、色々な事に挑戦し、自身を持って頑張ってください。

法政大学 理工学部 創生科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
桃生中出身

今後役に立つのか分からないことでも 体験そのものが自分を変えてくれます

■受験に備え環境を整え

無駄なものをなくしました

私が 1 年生から現在までの間に継続してきたことは資格の取得です。はじめは軽い気持ちで受けたことがきっかけですが、推薦入試合格のための鍵になったり、面接試験で高校生活について話す内容としても活用することができました。これらの経験を得て感じたことは、軽い気持ちでもいいので損になると思わなければ何事にも挑戦するべきだと思いました。

大学進学に向けて一番力を入れたのはもちろん勉強ですが、指定校推薦の枠を取るための試験が 6 月末に控えていたとき、まずは生活習慣を改善することにしました。塾にも通っていたため、日に日に勉強できる環境に整っていきしました。周りの環境を整え、無駄なものはなくしていけば、より勉強に力を入れることが出来ると思います。

■復習を何度もすることで

私の学力を最も高めました

私が大学進学を決めた理由は主に 2 つあって、1 つは自分の得意な科目や興味のある科目を大学で学び向上させることです。2 つ目は大学でのイベントや、新しい友達にも出会い視野が広がると考えたからです。私は将来の夢が決まってません。なので積極的に何かやりたいことを見つけることが大事と考え進学することを決意しました。

そして友達の影響も大きいです。一緒に勉強したり、わからない所を教えあったり、また、疲れたときや遊びたいと思ったときにも友達が励ましてくれたり、歯止めを効かせてくれたりとても感謝しています。お互いをライバルとして見ることで勉強にさらに磨きがかかりました。

私はあまり勉強をしてこなかったもので、短い期間でどれだけ効率を良くするかと考えたときに勉強法やノートの書き方など試行錯誤しましたが、復習を何度もすることが私の学力を最も高めたと今では実感しています。初めはスピードを重視していましたが、覚えが悪くて速さだけに力を入れて解答が雑になったりしました。まずは頭に定着させることが必要だと思いました。1 回や 2 回覚えてもすぐに忘れるのが普通なので、全体を定期的に復習することが良い方法だと思いました。

最後に私が 3 年間でみなさんにやってほしいことは得意なものや、自慢できるもののほか、これから役に立つと思わないものも、一度身につけてほしいと思っています。そこで体験したことが自分を大きく変えると思います。

法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
大河原中出身

選んだ大学と一度しっかり向き合い 勉強に臨む姿勢が変わりました

■デザイン工学を学ぶ道を 諦められませんでした

指定校推薦で法政大学デザイン工学部システムデザイン学科に合格しました。指定校推薦での受験にあたって私が伝えたいことは 2 つあります。

1 つ目は、大学選びについてです。私には将来なりたい職業があり、その職業に就くためにはデザイン工学を学ぶ必要がありました。私は始め、国公立大学の受験を考えていましたが、その大学には私の学びたいことを学べる学科はありませんでした。私はなりたい職業をあきらめて、その大学への合格を目標にしていました。しかし、入学後のことを考えると、勉強がどんどん苦になっていきました。そこで自分と向き合って考えた時、指定校推薦を使用して学びたいことを学べる法政大学を受験したいと思うようになりました。合格後は、大学で実際に勉強する科目を重点的に勉強するスタイルに変わり、毎日充実した学習生活がおくれるようになりました。そのおかげで、センタープレの得点も上がりました。私が伝えたいことは、自分が選んだ大学と一度しっかり向き合うことです。自分の将来を考えた上での大学選びは勉強に対する意識を変えたいと思います。

■両親のためにも有意義な 大学生活を送るつもりです

2 つ目は、両親への感謝を忘れないことです。今、自分が毎日良い環境で勉強できているのは親が私を支えてくれているからです。私は高校 1 年生の時からずっと予備校に通わせてもらっていました。その上、私が最終的に出した結論が私大の理系という金銭面で一番大きな負担になるものでした。私はどうしても行きたいという思いを両親に粘り強く伝えました。そしてやっとの思いで、認めてもらえたときには嬉しさもありましたが、一番は両親への感謝でいっぱいでした。自分のためにも両親のためにも有意義な大学生活をおくり、夢のために積極的に学んでいこうと決意しました。

今回のことで、自分と向き合うことができ、改めて親に感謝する様になりました。

東京理科大学 理工学部 応用生物科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
宮教大附属中出身

推薦入試のメリットは入学後に備え 高校の復習をする余裕があることです

■先生方に志望理由書を
何回も見て頂きました

私が推薦入試をめざした理由は、進学する大学が周りの人たちよりも早い年内に決まることで、大学に入学するまでに時間があり、その時間を大学に入学したあとのために活用できると思ったからです。大学では高校よりも詳しいことを勉強するため、入学する前に高校の内容を復習したりする時間があるので推薦入試をめざすことにしました。

指定校推薦で最終的な選考を通過することができるように、学校に提出する志望理由書を何回も書き直しました。教科の担当の先生に自分の調べた内容が正しいのかを見てもらったり、担任の先生に日本語が間違っていないかを見てもらったりしました。

■英検は先生に面接対策を
お願いし 1 回で合格しました

普段の学習面では、ホワイトボードに書いてあることだけでなく、先生が授業中に言っていたことでポイントになったことをメモしたり、教科書にある細かいところまで読むようにしていました。定期考査では、3 週間くらい前から計画をたてて勉強し、同じプリントやワークを 2～3 周解いていました。家ではあまり集中することができないので休みの日は、通っている塾の自習室で集中して勉強をし、家では単語を覚えたりするようにしていました。2 年生のときに、英検を受験して、1 回でその級に合格できるように勉強をして、2 次試験の面接は対策本の CD を利用したり、英語の先生に面接の練習をお願いしたりして合格することができました。

3 年間の高校生活で意識したことは行事などに積極的に参加するということです。文化祭や研修旅行やスポーツチャレンジなどたくさんの思い出ができ、充実した 3 年間を過ごすことができました。

東京理科大学 基礎工学部 生物工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
仙台白百合学園中出身

早いうちから目標を決めておくことで 集中して勉学に取り組むことができます

■サイエンス・コ・ラボの

参加は志望理由書に有効です

私が指定校推薦によって合格できた理由は、1 年生の時から指定校推薦で受験することを視野に入れ、日々の学習に取り組んできたからだと思います。私は入学してすぐに自分が進みたい学科を決めるために色々な大学の様々な学部・学科について調べ、東京理科大学の生物工学科について知りました。そして指定校推薦で受験できることを知り、早いうちから指定校推薦に向けて勉強をしてきました。早く目標を決めれば、その分集中して勉学にも取り組むことができますと思います。

また私は理系の学部の志望だったため、サイエンス・コ・ラボに参加しました。サイエンス・コ・ラボでは高校の授業では行わない、大学のレベルの実験を体験することが出来たため、大学への志望理由書などでもアピールすることができました。大学によっては志望理由だけではなく、具体的に高校でどのような経験をしたか、どのような行事に参加したかなど聞かれることもあるため、積極的に行事などに参加することで、大学へアピールできる題材も増やすことができると思います。面接試験では学部に関する分野について詳しく聞かれることもあるため、1, 2 年生のうちから本などを読んでおくべきだと思います。私は生物に関する学科だったので、細胞や遺伝子についての本を読みました。

■推薦合格により入学前の

準備に早く取り掛かれます

指定校推薦で受験するためには評定などの条件があります。私は、定期試験で思うような点数がとれないときもありましたが、1 年生のうちから計画的に頑張っていたため条件をクリアすることができました。推薦入試では評定が大事になってくるので、定期試験は気を抜かず計画的に頑張るべきだと思います。

指定校推薦で受験し合格すれば、入学までの時間がたくさんあるため、大学に向けての勉強を早くから始めることができます。大学合格に向けて一生懸命頑張ってください。

東京理科大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
南中山中出身

「継続は力なり」という言葉を信じて 必死に勉強し合格できました！

■授業の予習・復習を通して 基礎学力を培ってきました

仙台育英に入学した時から東京理科大学経営学部経営学科へ進学したいと思ってました。私は、東京理科大学へ進学するために必要な学力を高めるために毎日学校の予習・復習をし、基礎学力を学んできました。学校の授業で学習したことをその日に復習し、次の日の予習をして、分からなかったところを授業で学習するということを心がけてきました。私は数学が苦手で、学校の定期テストや模擬試験でも悪い結果が出てしまったことが何度かあり、諦めてしまいそうになりました。その時、「継続は力なり」という言葉を思い出し、必死に勉強しました。そのようにして勉強を続けてみたところ、定期テストや模擬試験で悪い結果が出ることは、極端に減少しました。「継続は力なり」という言葉を信じ、努力し続けることで、良い結果へと導くことができるということを実感することができました。このことは、どのようなことをするにあたって同じことが言えます。今後も、どのようなことをするにあたって「継続は力なり」という言葉を信じ、決して諦めずに努力し続けていきたいです。

東京都市大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
名取第一中出身

入学後に学力の差で困らないように 推薦合格後もしっかり勉強しましょう

■部活動が忙しくても

全力で勉強に取り組みました

私は指定校推薦で東京都市大学工学部建築学科に合格することができました。もともと建築学を学びたいと思っていて、勉学に力を入れている大学を探していました。

まず、私が指定校推薦を利用しようと考えた理由として、高校の 3 年間サッカー部に所属し、いくつかの大会で成績を残すことができたという部分が大きくあります。私は高校生活のほとんどの時間をサッカーに費やしてきました。そのサッカーに賭けた時間と残した成績を大学進学に最大限活かすことができる形が指定校推薦でした。ですが部活動だけ頑張っていればいいということではないと思います。私は部活動での公認欠席は何度もありましたが学校に遅刻したことや休んだことは一度もありませんでした。また、どれだけ部活動が忙しくても定期テストには全力で取り組みました。そのため、指定校推薦を獲得するためには普段の高校生活をしっかりおくる必要があると思います。

さらに、指定校推薦を狙う人であれば生徒会や学校行事の実行委員に参加するのも評価につながると思います。進学を考えるなら積極的に参加してみてください。

■オープンキャンパスに行き

第一志望を絞り込みました

そして、もし推薦で合格しても、勉強をおろそかにするべきではないと思います。ほとんどの大学からは入学前課題がたくさん届くと思いますし、私が進学する大学の話では、推薦入試合格者と一般入試合格者では入学後すぐのクラス分けテストで大きく学力の差がでると聞きました。安易に自分の学力にあわない大学に入学すると大変だと思うので気をつけてください。

最後に、大学の選び方ですが、学びたい学部・学科をもつ大学を指定校の推薦枠から探しだし、自分の学力より少し上の大学 3 つほどに絞りました。それら 3 つ全てのオープンキャンパスに参加し、大学の雰囲気、校舎、部活動や研究室などの充実性等を生で見、比べることで第一志望を決めました。これは人それぞれでいろんな方法があると思います。迷ったら参考にしてみてください。

あとは進学のことを早めに考えつつ、高校生活を頑張ってください。

東京都市大学 都市生活学部都市生活学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
沖縄 石垣中出身

指定校推薦で進学したいのであれば まだ早いと思わずに勉強しましょう

■木造建築関連の資格を 大学で取得したいです

大学進学を目指した理由は、自分の学びたいことを専門的に学習し、その学習をしてきたことをふまえて安定した職業に就きたいと考えたからです。指定校推薦で大学進学をしたいと考えたのは、1 年生の頃です。そのために毎日テストなどは、なるべく早く学習し、世界史などの暗記科目を中心に取り組み、成績は 3 以下を取らないように努力してきました。

部活動ではサッカー部に所属しており、毎日厳しい練習をし、トップチームにあがるために、朝練や放課後の練習後に自主練習を行う努力をしました。私は試合に出て成績を残すことはできませんでしたが、成績を残すことが大学進学につながる大きな要因となると私は考えました。普段の授業などでは、私語などを控え、提出物などの期限を守り提出するように心がけました。

私の進学する大学は東京都市大学の都市生活学部です。なぜこの大学を志望かという文系からでも建築関係の仕事に携わることができたからです。私は木造建築の仕事に興味があり将来建築関係の仕事に就きたいと考えていました。都市生活学部では、木造建築の資格も取れるので自分に適した大学だと感じこの大学に進学先をしばらくしました。

■授業にきちんと取り組んだ ことが合格に繋がりました

私自身、受験に成功した一番の要因は普段の授業に対する取り組みだと考えます。普段から授業に取り組めば、テストの成績も良くなるし、先生方からも信頼を得ることができると考えます。また、自分自身の身だしなみだとかを気をつけた方がいいとも考えます。第一印象がよければ相手に良いイメージをもたすことができます。

私にとって大学とは自分の学びたいことを専門的に学び就職へと繋げる場所、社会人になるにつれて学ばなければならないものを学ぶ場所だと考えています。

後輩たちは、仙台育英での高校 3 年間、勉強面やスポーツなどにも全力で取り組み、大学合格できるように、今からでもいいので、勉強するにはまだ早いと思わずに、少しずつ学習した方がいいと私は考えます。

東洋大学 社会学部 社会心理学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
多賀城中出身

部活動に入っていたことで より内容の濃い面接になりました

■高校 1、2 年生から、
校内模試を意識してみてください

私が大学進学に向けて一番大切だと思ったことは、高校 3 年生になってからする最初の校内模試です。高校 1 年生の頃から先輩や先生方にもその模試は指定校推薦でいくなら絶対に重要だと言われてきました。しかしその頃の私はまだ模試まで 2 年もあり実感があまり湧かず、模試に向けての対策を自分から進んでしていませんでした。さらに模試の重要度をあまり理解していなかった私は、その日が近づいてきても心のどこかでは何とかなるだろうと思ってしまっていました。そして模試の結果がきた時、私の考えは甘すぎたなと思いました。予想よりも相当悪く、もっと勉強しておけばよかったと思いました。その後自分の行きたい大学の推薦の募集が始まり私は応募しました。やはり結果はだめでした。第二希望の入りたい大学には入ることができましたが、やはり第一希望の大学に入るためには春に行われる模試で 100 位以内に入れるように高校 1 年生の頃から対策をしっかりと準備をしておくことが最も必要だと自分で経験してやっと分かりました。なのでまだ高校 1 年生や 2 年生の人はまだ時間があるので今から勉強しておいた方が本当にいいと思います。

■部活動でなければならない
貴重な経験ができました

その他に私は 3 年間チアリーディング部に所属していました。部活動ではチアリーディング部に入らないと経験することができない様々なことをすることができました。部活動に入ったことで東北大会 3 位という結果を残して全国大会に出場することができたり、部活内で学ぶこともたくさんありました。そのおかげで大学の面接でも話す内容が自然と濃くなり良い印象を与えることができたと思っています。なので高校では勉強もそうですが部活動も同時にやって両立するのが一番良いとこの 3 年間で深く思いました。あとは面接で聞かれるようなことを日頃からしておくということと、大学に行く目的を明確にしておくこともとても重要だと思います。

日本大学 工学部建築学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
福島 表郷中出身

自分が今までやってきたことを信じて 堂々と受験に臨みましょう

■野球部での 3 年間を胸に
壁を乗り越えていきたいです

なぜ私が日本大学工学部建築学科を選んだかというと私は以前から将来は、建築に関わる職業に就きたいと考えていました。具体的には、一級建築士になりたいと考えています。一級建築士を目指そうと思ったのは、私の父も建築関係の仕事をしており、父が家に帰ってきて、図面を書いている姿に興味を持ち私も設計をしてみたいと思ったのがきっかけです。

工学部は理系が大事なので、私は文系だったのですが、特に数学に力を入れてきました。分からない問題があった時は、友達に聞いたり、授業が終わった後先生に聞きに行ったりなどして、内容を理解するまで勉強しました。

また。私は硬式野球部に所属し、甲子園出場という目標の中 3 年間頑張りました。しかし私達の代で、甲子園に出場することはできませんでした。目標は達成することができませんでしたが、仲間と目標に向かって頑張った 3 年間は無駄ではありませんでした。この経験を生かして大学でも、何度も壁にぶつかるとは思いますが、そんなときにこの経験を生かして乗り越えていきたいと思います。

これから日本大学工学部を受ける皆さんは緊張しないで、自分がやってきたことを信じて堂々と受験を受けて下さい。

専修大学 法学部 政治学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
八木山中出身

仙台育英での様々な経験が 今の私を作ってくれました

■皆の模範となれるよう

挨拶など進んで行いました

実を言うと、私は第一希望の大学に合格することができませんでした。しかし、それは自分の努力が足らなかっただけのことで未練などはまったくありません。むしろ、自分を見つめ直す良い機会になり、本当にやりたいことを見つけたことができました。受験期間には色々なアクシデントがありましたが、それを乗り越えることができたので自分の強みになりました。今までやってきたことは無駄ではなかった。そんな気がしました。

私は中学を卒業してこの仙台育英に来たとき、推薦の多さに圧倒され「推薦で大学に行きたい」と思いました。そのためには何が必要かなどを考えてまず生活面を変えてみました。毎朝決まった時間に就寝、起床して学校にちっこくしないよう心がけました。あたりまえのことなのですが昨年卒業した先輩が「あたり前のことをあたり前にやればあたり前に推薦がもらえる」と言っていたのであらためて気をつけるようにしました。また、あいさつや皆がやりたくないことを進んでやるようにしました。すると先生方との距離が縮まり、次第に頼られるようになりました。推薦とは学校の代表者が行くものなので、他の生徒の模範となれるよう頑張りました。

■育英祭をやりきった経験が

大いに自信になりました

2 年生のときは新しいことに挑戦したいと思い、部活動に入部することにしました。まず入部したのは生徒会執行部です。何か学校のために自分にできることはないかと考え入部しました。育英祭やオープンキャンパス、入試の手伝いなど数々の活動をしてきましたが、その中でもとくに思い出に残っているのは育英祭です。念入りに計画してきたのですが当日にアクシデントが多発して予定通りに行きませんでした。現場リーダーがいない中で最年長者だった私を中心にしてピンチを乗り切った経験は私に自信と勇気を与えてくれました。次に入部したインターアクト部でもボランティア活動を通し人の大切さやありがたさを学びました。

この学校、このコースでの経験が今の自分を作った素材であり導いてくれた光だと思います。大学でも今までの経験を生かしその先へ進んで行き、自分の夢をかなえたいです。

専修大学 商学部会計学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

計画を立てるだけでなく実行することが 大切だと受験を通して痛感しました

■やる気を維持するために 自分なりに工夫しました

私は、自分がどんな目標を達成したいか、その目標を達成するためには何をしなければならないのか、計画を立てることは大切なことだと思います。また、同時に、その計画を実践し継続することも考えなければならないと思います。目標を設定するだけでなく、計画を実践し継続することも考えなければならないと思います。目標を設定するだけでなく、計画を立てるだけでなく、実行することが最終的には大切なことだということを、受験を通して痛感しました。私は、何かを堅持するのが苦手な性格なので、諦めそうになった時は、必ず何かで自分を励ますように心がけました。例えば、志望大学のオープンキャンパスに参加し、モチベーションを高めたり、将来の職業について再度考えたり、課題が終わった後に食べたい食べ物を食べるなど、やる気を維持するために工夫しました。

また、英語を勉強することも大切だと思い、単語をしっかりと覚えたり、文法をちゃんと理解するために先生が言ったことを授業で聞き逃さないように努めました。そして練習問題をする以外にも英語で日記を書いたり、部屋中に様々なところに単語カードを貼ったりしました。また、できる限り英語を使う国の人と会話をするようにしました。

■大学に入ってから将来の 目標達成のために努力します

私は、本に書いた知識以外にもたくさん勉強する必要があると思います。例えば日本へ来た留学生にとって、日本人と一緒に生活する時は、気をつけなければならないことがたくさんあります。できる限り自分が一番良い状態で、普段の授業はもちろん、大学受験に取り組むことが大切だと思います。日頃から、小さいことにも細心の注意を払わなければなりません。大きな問題にも冷静に対処し、他のことに注意力を分散されないで頑張ることも重要です。そのためにも、生活の態度や習慣など日頃の積み重ねが必要です。私は指定校推薦で合格することができましたが、それで終わりだとは思いません。これから大学に入ってから、将来の目標の達成のために努力します。人によって様々な行為がありますが、頑張りたい気持ちを忘れず維持し続ける方が良いと思います。

学習院大学 文学部 日本語日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
将監東中出身

自己推薦書は私の大学生活についての 決意表明になったと感じています

■学習時間の工夫で授業の 理解度が向上しました

私は高校の授業を通し古典に興味を持ち、大学では古典作品と次代は池や文化との関わりについて学びたいと考えたこと、将来教員になるために必要な教員免許を取得したいと考えたことから国文系の学部学科を志望しました。

指定校推薦で受験するにあたって、定期試験や評定に重点をおいて勉強をしていました。しかし、私はバスケットボール部に所属していたため、帰宅後は疲れや眠気で勉強に集中できていませんでした。そのため朝早く起きて授業の予習や復習を行い、電車などの通学時間には英単語や古典単語を覚えるなど、朝型の勉強、スキマ時間の活用を意識した勉強に変えました。そうしたことで、先生の言ったことをノートに書き込むだけの受け身だった授業への姿勢も変わり、授業を理解することができ楽しいと感じるようになりました。また部活動引退後は、勉強した時間をグラフにして、どのくらい勉強したのかが見てわかるようにしました。そのため教科ごとにかたよりなく勉強を進めることができ、さらに勉強へのモチベーションも上がり、より効率的に取り組むことができました。勉強の方法は人によって違うと思います。自分に合った方法を見つけることが大切だと感じました。

■高校で一生懸命頑張れば 大学生活も有意義になります

また、指定校推薦で受験するにあたって自己推薦書を書いたことで、大学で何を学びたいのか、将来どんな教員になりたいのかがより明確になりました。大学の志望理由や自己アピール、大学卒業後の夢などを 2 千字にまとめ自分の意思を相手に伝えることは簡単なことではありませんでした。しかし教員になるのにどんな知識が重要なのか、その大学で特化していることは何なのかを改めて調べるうちに、大学で学びたいことが明確になり、大学生活の 4 年間でどのように過ごしていくのかの決意表明になったと感じています。

そういう意味でも指定校推薦で合格することができ良かったと心から思います。まだ将来の目標や何をしたいか曖昧な人も多いと思いますが、高校 3 年間を通し好きなことや興味を持ったことに一生懸命になれば、大学でも有意義な生活が送れるのではないかと思います。そのためにも後悔しない高校 3 年間で過ごしてほしいと思います。

獨協大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
増田中出身

無遅刻・無欠席や高い評定の維持が 推薦受験のきっかけになりました

■一度失敗し本当に自分に 合う大学を真剣に探しました

私は、高校 3 年の春まで地元の国公立大学を志望しており、それまでは私立大学の推薦入試は考えていませんでした。しかし、4 月の面談で担任の先生に指定校推薦のことを話していただき、そのときから推薦入試を考え始めました。最初は一般受験のように学力競争の入試をせずに偏差値の高い大学に合格できるのであれば、と軽く考えていました。指定校推薦の受験資格を得るために、6 月の校内模試まで必死に勉強しました。しかし、私は学習してきた内容をしっかりと復習することができないまま試験を受けてしまったため、納得のいく結果が出せませんでした。そのため、最初に考えていた大学の推薦は得られませんでした。その時は落ち込みましたが、気持ちを切り替えて他の大学を探しました。以前のように、単にレベルが高いというだけで探すのではなく、自分に合っていて、学びたいことが学べる大学を探しました。担任の先生が私の希望に合う大学の資料を下さり、初めて獨協大学の存在を知りました。秋に自分で大学見学をしてみて、この大学で学び、大学生生活がしたいと思い推薦を出したところ、指定校推薦をいただくことができました。

■1 年次から遅刻や欠席を しないよう努力しました

大学を推薦受験、合格するためには校内選考を通る必要があります、それは学業成績はもちろん普段の生活態度も考慮されます。私が推薦を考え始めたのは 3 年生の春の時点でしたが、推薦を出せる基準を満たしていたので選択の 1 つにできたのではないかと思います。私は 1 年生の頃から生活態度には特に気をつけていて、遅刻や欠席はしないようにしました。そのおかげで 3 年間無遅刻・無欠席を貫くことができました。さらに、5 段階評価の付く定期考査も毎回全力で受けて高成績を維持しようと努力しました。私が高校でしてきたことは主にこの 2 つですが、他にも英検や漢検を取得したり、与えられたクラスでの係活動をきちんとやることも有意義であったと思っています。これから推薦入試を考えている方は、これらのことを参考にしてみてください。加えて推薦入試では、ほとんどの大学で小論文があるので、3 年生になったら意識して取り組むことをおすすめします。

意志のあるところに道はひらけます。みなさんが志望大学に合格することを願っています。頑張ってください。

獨協大学 国際教養学部 言語文化学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
向洋中出身

国際バカロレアのプログラムは特に 国語・英語の受験対策に役立ちます

■使用率の高いスペイン語を 深く学びたいと思いました

獨協大学国際教養学部言語文化学科への進学を目指した主な理由は、言語文化学科では英語に加えてスペイン語を併学することが可能であるからです。1 学年次に受講していた第二外国語で、スペイン語には英語と似た単語が多くあることを学びました。そこで、語学の学習を通し歴史的背景を考えることで、さまざまな国の理解へとつながると思い、二ヶ国語を併学することに興味を持ちました。また、私は 2 学年次から国際バカロレア（以下 IB）のプログラムを履修しており、スペイン語を学習したのは 1 年間のみであったため、獨協大学でより深く学びたいと思ったのも理由の一つです。さらに、私は将来ツーリズムに携わりたいと考えているため、母国語としている人口が多いスペイン語を学習することは将来につながると考えました。

■ IB プログラムと受験の 両立は大変でしたがやりきりました

私が獨協大学を受験するにあたって、指定校推薦を選択した理由は、IB プログラムのスケジュールを考慮したためです。IB の 2 年目は 8,000 字の修士論文を仕上げなくてはならないだけでなく、他教科の各論文やエッセイ、CAS という課外活動のプロジェクトを企画・実践を行うなど、こなすべきものが多い年でした。また 11 月に 20 日間に渡って行われる外部試験に向けた勉強も同時に行わなくてはならないため、正直時間に余裕がありませんでした。そのため、校内推薦から受験当日まで時間に余裕のある指定校推薦を選びました。また、私が志望した学部が文系であることから、校内推薦で評価される科目が国語と英語でした。私は IB で多くの文学作品に触れてきたため、国語の読解や要約に自信がありました。さらに、英語ではデュアルランゲージプログラムで培った英語力を生かすことができると考えたため、指定校推薦は自分に合った受験方法だと思い、決めました。

成城大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
五城中出身

仙台育英の良い環境で多くを学び たくさんのことに挑戦しましょう！

■予習中心の学習を続け 部活動と両立できました

仙台育英に入学した当初から推薦入試を使い大学進学をしようと考えていました。推薦入試で合格を目指すためには規則正しい生活と継続して学習することを常に意識して過ごしてきました。私は特別進学コースに在籍しながら水泳部に所属していました。特別進学コースではあまり部活動をする生徒が多くない中、勉強と部活動の両立を心がけてきました。部活動のない日は放課後の課外講習に出席したり、自習スペースで自習をしていました。そのため普段からの勉強習慣を身に付けることができました。

勉強面ではおもに予習を中心に励んできました。部活動をやっていたこともあり、なかなか復習まで時間をつくることができなかったので、予習に力を入れて学習していきました。そのため授業中の内容をすぐ理解することができ、授業中を有意義なものとなりました。

■部長や室長の経験を通して 意思表示が上手くなりました

勉強面以外でも様々なことに挑戦し自身を成長させることができました。部活動では部長、クラスでは室長を務め、集団の先頭に立って行事を行ったことにより、自分の意見を伝えるのが上手くなり、リーダーシップをとれるようになりました。これらのことは大学での面接で役に立ちました。しっかりと面接官の目を見て、自分の意思を伝えることができました。

私は指定校推薦で合格することができましたが、私だけの力では合格することはできなかったと思います。担任の先生に何度も志望理由書を見ていただき、学年主任の先生にも面接練習をしてもらいました。多くの先生に支えられて、合格することができました。友達や後輩も私のことを応援し、支えてくれました。

私の高校生活はとても充実したものとなり仙台育英に入学してよかったと感じています。後輩たちには、仙台育英という良い環境で多くのことを学び、多くの経験をしてもらいたいと思っています。

日本女子大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
南光台東中出身

外国語コースでは多くの 貴重な体験をしました

■志望学部・学科関連の 資格取得に励みましょう

私が日本女子大学文学部英文学科を指定校推薦で合格するために努力したことは、志望大学の指定を受けるために校内模試で 30 位以内に入ることでした。校内模試で結果を残すために、各大学やセンター試験の過去問題を解き模試に備えました。指定校推薦は英検 2 級の取得が大きく影響してくるため、早めに取得することをお勧めします。さらに資格は多く持っている方が有利だと考えるため、自分の志望する学部学科に関係する資格取得に励んでみてください。

試験には小論文と面接がありました。過去に先輩方が小論文でどのようなことを書いたか、また、面接とはどのようなことを聞かれたかという情報を受験対策室から得ました。それを参考に小論文を書き先生に添削していただきました。面接練習は試験の 2, 3 週間前から友人と練習し、最終的に何人かの先生にも指導していただきました。小論文も面接も練習を重ねたことがポイントとなり、試験当日は練習の成果を発揮できました。

■ ILHA 研修では短期間で リスニング力が向上しました

そして 3 年間の仙台育英での学習を通して、他校ではあまり経験できないことを体験できました。特に外国語コースは、日本伝統文化を学ぶ授業や第二外国語の授業、さらに仙台育英にお越しいただいた外国人の方々との交流等があったからこそ生活を実り豊かなものにできました。その中でも ILHA 研修は、自分の語学力と向かい合い、3 週間という短い時間で英語のリスニング力の成長を実感することができました。大学では高校で培った経験を生かし、将来の夢に向かい勉学に励みます。加えて日本女子大学が掲げている社会で自立した女性になれるようにたくさんの経験を積み、充実した生活を送りたいです。

大学受験は簡単なものではありませんが、この 2 年間で得たものは必ず受験に役立ちます。皆さんが目標を成し遂げられるよう願っています。

日本女子大学 人間社会学部 心理学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
東向陽台中出身

志望大の評定基準プラス 0.5 を目標に 授業やテストに取り組みました

■早くから先生方に志望大を アピールしておきましょう

私は、高校受験の失敗から立ち直って、現役合格を目指そうと思ったのがきっかけで仙台育英特別進学コースに入
ることに決めました。仙台育英での 3 年間は私にとってとても充実したものとなりました。

私は高校 2 年生の夏から指定校推薦を目指し始めました。定期テストは全教科 9 割以上とれるように、意識して勉
強しました。特に、苦手な数学は定期テスト 1 ヶ月以上前からとりかかるようにしていました。定期テストに加えて
大事なのは評定です。自分が目指している大学の評定基準プラス 0.5 になるよう点数を取ることはもちろんのこと、
授業にも真面目に取り組み、提出物の期限を守ることを心がけました。勉強法としては、得意科目だけでなく、5 教
科を万遍なくやるのが大事だと思います。

指定を受けるためにもう一つ大事だと思うことは、早いうちから担任の先生や学年主任の先生に行きたい大学をア
ピールしておくということです。それには、早く志望大学を決めて、ブレないことが大事だと思います。また、志望
大学が求めている資格取得もできれば 2 年生のうちにでもやっておいたほうが良いと思いました。

■先生に添削して頂きながら 小論文のコツをつかみました

校内推薦が通ったあとの推薦入試の小論文対策としては、大学生活に何を期待するか (1) 希望する専攻分野 (2)
その専攻分野を選んだきっかけ (3) 今のところどんなテーマについて研究したいと考えているか といった内容
が出題されることが多いので、自分の興味のある分野の社会問題に関する本を何冊か読むことから始めました。それ
から、自分でテーマを決めて 800 字以内で書いて、担当の先生に添削してもらうということを何回か行い、小論文の
コツを身につけていきました。

最後になりましたが、日々の努力の積み重ねが志望大学合格に繋がると信じて悔いのないよう頑張りたいと思
います。

武蔵大学 経済学部金融学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
横浜 軽井沢中出身

大学でも部活動続けるなら早い段階で レギュラー入りを目指しましょう

■勉強も部活動も妥協しない
ことが合格に繋がります

私は指定校推薦での受験でしたが、大学の部活動の方とも話をしていたので、どちらかというスポーツ推薦に近い形での受験でした。そのため、在学中は部活動と勉強双方に力を入れました。

仙台育英は部活動と勉強の両立がしやすい授業の内容になっているので、私でも 3 年間続けることができました。しかし、部活動が厳しく、勉強などの学校生活が疎かになってしまうことも一時はありました。自分の希望する大学に行けるか行けないかは、そこで妥協するかしないかで決まると思います。特に運動部に所属する人は、日常生活はプレーに影響を与えるので、疎かにしてはいけないと思います。どちらかでも妥協をすれば、きっと双方に悪い影響がでるはずです。

■いつかレギュラーになれる
という考えは捨てましょう

また、スポーツ推薦での進学を考える人にとって部活動が一番重要というのは当たり前だと思います。しかし「いずれはレギュラーになれる」という考えは絶対に捨てた方がいいと思います。1 年生の時などは先輩などがたくさんいて、メンバーに入るのは難しいと感じる人がほとんどだと思います。そこで、「来年なら、3 年生になったら」といった考えを持ってしまうと、必ず大学進学に影響が出ます。私はそういった考えを持っていたので大学選択の幅が狭まってしまいました。大学でも部活動を続けたいと思う人は、早い段階でレギュラーを目指して毎日努力精進することをオススメします。

私は部活動や日常生活で良いこと悪いことたくさんありましたが、最終的には自分の行きたいと思う大学に進学することができました。人生は一度しかないなので、悔いの残らないような高校 3 年間を送ってほしいと思います。

明治学院大学 法学部 消費情報環境法学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
富沢中出身

推薦枠が必ず取れるとは限らないので 一般受験対策も早くから取り組みましょう

■ 1 年次からテスト勉強や 授業態度は意識していました

私は 1 年生の頃から指定校推薦を利用することを考えていました。

最初に意識した事は評定平均値です。指定校推薦を利用するためには第一に大学側が提示している評定平均値を満たしている必要があるので、1、2 年の定期テストの勉強には力を入れていました。次に意識したことは授業を受ける態度などです。定期テストの点数と授業態度や提出物の状況などで最終的な評定が決まってくるので、それらも意識するようにしていました。

そして指定校推薦を決めるのに最も重要になってくるのが第 1 回目の校内模試です。評定平均値がどんなに高くても、この校内模試で失敗してしまうと、志望している大学の指定校推薦がもらえなくなってしまうことがあるのでこの模試の対策はしっかりやった方がいいと思います。この模試はセンター試験と同じくらいのレベルです。それを夏休み前に受けなければならないので 2 年生のうちから受験に対する意識を持っておいた方がいいと思います。文系でも理系でも英語は必須科目なので、力を入れて勉強した方がいいと思います。

最後に第一志望が駄目だった時のための次の候補も決めていた方がいいと思います。それに必ずしも指定校推薦が取れるとは限らないので一般入試で受ける大学の対策も早いうちにしておいた方がいいと思います。勉強以外にも、面接や小論文などの対策もして、様々なケースにも対応できる方が有利だと思います。

明治学院大学 法学部法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
神奈川 横浜国大付属鎌倉中出身

今は目標が無くても少しずつ勉強して 力をつけていけば良い結果に繋がります

■進路選択直前までどれだけ 選択肢を増やすかが大切です

私は指定校推薦で明治学院大学法学部法律学科に合格しました。私がこの大学を目指したのは高校 2 年生の夏頃です。私はラグビー部に所属していたので元々はスポーツ推薦で大学に進学しようと考えていました。しかし親とも相談し行くことが可能な大学を増やすために勉強も部活動と両立してこなすようにしました。その後、志望大学を決める際にスポーツ推薦ではなく、指定校推薦で行くことのできる明治学院大学を選び目標にし勉強と部活動を努力しました。誰もがこの大学に行きたい、と一つの的をしぼって努力していくことができると思います。しかし、あまり考えていない時期でも、悩んでいる時でも、自分の進路の可能性、選択肢は増やすことができます。ギリギリになって行けるところに行く、というのも間違っていないと思いますが、そのギリギリまでどれだけ自分の実力を上げ選択肢を増やすかが、大学選びでは、重要になってくると思います。

毎日少しずつ勉強すること、できなくても 1 週間か数日か、テスト前 1 週間、1 ヶ月間がんばると実力や成績が上がっていくと思うので、目標のない今でも少しずつ勉強して力をつけていくと良い結果につながると思います。

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
幸町中出身

志望大学を早めに決めて目標を立て 毎日コツコツと努力していきましょう

■勉強を日々怠ることなく
部活動との両立に励みました

私は、高校に入学したときから大学は指定校推薦で進学しようと考えていました。そのためには、校内での指定校推薦の枠に入らなければなりません。私は、高校 3 年間さまざまなことに挑戦してきました。まず、部活動に入り 3 年間レギュラーに入り全国を目指して努力しました。その他にも、勉強を日々怠ることなく文武両道で頑張ってきました。定期試験では、成績を落とすことなく常に上位を目標としていました。あとは当たり前だと思いますが校則をきちんと守って無遅刻、無欠席で 3 年間で過ごすことが必要だと思います。

大学での入試は小論文と面接でした。小論文では、何度か練習をして、3、4 段落にして構成していくことと、とにかくマスをうめることを重視して行きました。面接では、担任の先生や部活動の顧問の先生に練習をお願いすると良いと思います。本番では練習したことが全く聞かれることがなくとも、緊張感や雰囲気、面接の流れなどが分かるため、一度だけでなく、二度三度やって見た方が良かったかなと終わったあとに気付きました。

指定校推薦で、指定を受けるようになるために頑張ることは、3 年間部活動を続けること、勉学に積極的に取り組むこと、遅刻・欠席をしないことだと思います。志望校は早めに決めた方が目標が立てやすく良いと思います。コツコツと日々の努力が必要です。

玉川大学 リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
山形 山形第一中出身

仙台育英で学んだことを大学で生かし ひたむきに頑張っていきます

■将来社会で必要な知識を
大学で身に付けたいです

大学進学をした理由は、将来大卒のほうが何かと有利になる可能性があるということと、社会に出るためにはもう少し知識や経験が必要だと思ったからです。

部活動では 3 年時にスターティングメンバーに入り 1 年間 A チームの 6 番の座を守ってきました。1 年生、2 年生頃の努力が報われたと思うのでめげずにやってきて良かったと思います。3 年間部活動に励んだ結果、大学というものが付いてきたと思います。玉川大学へはスポーツ強化指定として進むので、仙台育英ラグビー部で学んだ、ラグビー以外のことや基礎的なことを大学でも生かしていきたいと思います。

高校生活の大半はラグビーでした。土日毎週試合や練習でした。1 年生の頃は寮だったので、寮に帰っても役割があり、寝る時間も少ない生活でしたが、そういった経験をして今があると思うので、良かったと思います。

最初は公募制推薦だったのですが、急遽指定校推薦に切り換えることになりました。リベラルアーツ学部は英語が主とっていいほど英語が大事なので頑張りたいと思います。

休日や長期休暇の過ごし方は、遠征や大会が終わると、年に数回一区切りをつけ地元に戻り身体を休めます。地元の友達と遊んだり中学校に行って挨拶したり、部活動にも顔を出したりしていました。また帰省した時くらいしか会うことができない人に会ったりして近況報告などしていました。

高校 3 年間いろいろなことがありましたが、仙台育英に来て良かったと思います。仙台育英で学んだことを大学でも生かし、ひたむきに頑張っていきたいと思います。

東京経済大学 経済学部経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
東京 目黒第三中出身

不安な時は先生に相談するなど 一人で考えすぎないようにしましょう

■友人達の進学が決まる中

不安と焦りでいっぱいでした

進学を目指した理由は、自分がやりたいことを深く学べ、自分の学力のレベルを上げたいと考えたからです。

私は、まず AO 入試で大学を受験しました。私が志望していた学科は、スポーツ学科で体育の先生や、トレーナーを目指せる学科です。選考基準は、今までの自分のスポーツの実績を評価され、それを合格すると、2 次選考の面接に進めるというものでした。私は 1 次選考で不合格になりました。私の実績では合格できませんでした。私の合否が分かったのは 8 月の末頃で、私の周りの友人は、大学が決まる人が増えていきました。私はスポーツで行く事を目標にしていたので、残念な思いでいっぱいでしたが、落ちたショックより、これからどうすればいいのだろうかという不安と焦りが勝りました。

■学校行事などの活動が

評価され合格できました

私が大学選びを初めから選びなおし、迷っている時に、担任の先生が、指定校推薦という受験方法について詳しく教えてくださいました。この受験方法なら、私が高校生活で頑張った事を生かして受験することができるので、私に合った受験方法だと考えました。そして、自己推薦文でこの大学に入りたいという強い気持ちを書いて、今までに行ってきた高校生活の活動を評価され、無事指定校推薦をいただくことができました。

私が後輩の皆さんに伝えたい事は、自分の周りの友人が、大学を次々に決めていき、焦りや不安になることがあると思います。そんな時は自分の進路だけ考えて、自分の進路達成のために何ができるかを考え、時には先生に相談して、一人で考えすぎない事が大切だと思います。指定校推薦をとるためには、普段の学校生活から見直して、学校行事に積極的に行っていけば、有利になると思います。

帝京大学 経済学部経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

大学の知名度ではなく将来の目標や 自分に合った志望大を選びましょう

■資格取得や検定試験に 積極的に挑戦しました

私は中国人留学生です。将来自分の会社を作りたいと考え、経済学の勉強をするために日本へ来ました。日本の教育方針は中国よりいいと思いますから、日本の大学へ進学し、経済の知識を身につけ、将来は起業するつもりです。

私は仙台育英での留学期間は 1 年半です。時間が短くて、日本人と同じような国語等の教科はほとんど勉強することができなかったのも、日本人と同じセンター試験や AO 入試での受験は難しいと考え、自分の努力と能力を最大限に発揮できる推薦入試を選びました。

推薦入試のためには、将来の夢や最も必要なものをもう一度考える必要がありました。特に、推薦入試に対する国語や英語を一生懸命勉強し、もちろん外国人留学生として日本語の勉強にも励みました。教科の勉強に加えて、様々な資格検定試験にも積極的にチャレンジして、例えば日本語能力試験やワープロ検定などにも挑戦し良い結果を得ることができました。

小論文や面接のために、様々なニュースに関心を持ったり、自分で考えて、理解したりできるよう努力しました。大学に入ってから、英語が大切ですから、毎朝英語の文を音読したり、10 個ぐらいの単語を暗記したりしました。週末には、この一週間に学んだ知識を復習して、来週の予習を行いました。長期休暇期間には、自分の短所に対する塾に参加して学力向上に努めました。

■仙台育英では仲間と成長し 異文化に触れ楽しかったです

私は、有名な大学だから「良い志望大学」とは考えていません。志望大学を選択する時、自分の能力に適する大学を選択してください。将来したい職業や都市、家庭経済の状況、大学院に進学計画などのこともしっかりと考えてください。そして、自分に合った志望大学を選ぶことが、まず受験に大事な一歩だと思います。

私は最初に大学の目標はほとんどありませんでした。先生からの教養で目標を構築することができました。受験に成功した要因は、将来の目標と展望が明確になったからだと思います。

私は外国語コースの留学生クラスで勉強しました。仙台育英での学習は楽しくて、とても充実していました。親切的な先生や元気なクラスメイトと一緒に生活しながら成長し、異国の文化などを知ることができました。

後輩に皆さんは私たちより日本で生活時間が長くて、勉強する時間も、志望大学について考える時間も多いのですから、もっともっと頑張ってください。

帝京大学 文学部 日本文化学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
多賀城第二中出身

面接練習では先生方のアドバイスを 次の練習で生かすことを繰り返しました

■苦手教科は復習中心に行い
理解を深める努力をしました

私は、指定校推薦で帝京大学文学部日本文化学科に合格することができました。この合格を得るまで、私はたくさんの人々に支えられながら努力を続けることができたと考えています。

日々の授業では、予習・復習を欠かさずやることを心がけていました。あまり得意ではない数学なども、復習に重点を置き、理解を深められるよう努力しました。また、分からない問題は、友人に聞いたり、一緒に解くことでお互いに切磋琢磨することができたと思います。長期休暇の間は、自宅では長時間勉強するのに向いていないと感じたため、近くの図書館などに行き、できるだけ勉強時間を減らさないよう心がけました。このような日々の努力が指定校推薦を受けることができたことに繋がったと考えています。

■面接は時間を意識した
練習を取り入れましょう

面接練習では、たくさんの先生方からアドバイスをいただきました。面接という短い時間のなかで、どれだけ自己アピールができるか工夫し、練習を重ねることうまくアピールができるようになっていったと思います。先生方の的確なアドバイスにより、自分の未熟さを感じることもありましたが、そのアドバイスを自分なりに反省し、次に生かすことで、本番でも落ち着いて対応することができたと考えています。しかし、私は、面接時間が予想よりも長かった場合練習はしましたが、予想よりも時間が短かった場合のことを想定していませんでした。予想より短時間で行われた本番の面接で、長めの返答を少し早口で言ってしまったことを後悔しています。なので、何を伝えたいのかを明確にした返答の準備と、時間を意識した練習をするべきだったと思っています。

私は、この仙台育英で過ごした3年間で、様々なことを学ぶことができました。春から始まる大学生活でも、この3年間で得た経験を十分に生かし、仙台育英の名に恥じぬように、より一層の努力をしていきたいと考えています。

拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
大郷中出身

指定校推薦を目指すなら今から資格や ボランティア活動に参加しましょう

■ 3 回目の挑戦で

校内推薦枠を取りました

私は高校 3 年生まで指定校推薦ではなく、一般入試もしくは AO 入試、公募制推薦で宮城県内に入学しようと考えていました。しかし三者面談や二者面談をしていくうちに担任の先生や親の薦めもあって東北学院大学法学部を指定校推薦で受けました。しかし、結果は校内で落とされ推薦枠をもらうことができませんでした。今度は尚絅学院大学の推薦枠をもらおうとしましたが、また校内で落とされ推薦枠をもらうことはできませんでした。そして指定校推薦もあと 1 回応募で終了してしまう所になり、担任の先生から紹介された大学と自分が大学で学びたいと思ったことを照らし合わせた時拓殖大学の商学部では自分が学びたいことと合致したので、拓殖大学に決めて応募しました。結果は推薦枠を取る事が出来て、無事に合格することもできました。

■ 資格取得などをせず

自己推薦文で苦勞しました

指定校推薦を取る上で大事なことは評定平均値だと思います。1 年生の頃からテストや授業でしっかりと点数や平常点をとっていけば 3 年生になった時苦勞する事もなく、自分の第一志望の大学へ行けると思います。そして、評定平均値ともう一つ大事なことは部活やボランティア、資格などの内申点です。私が指定校推薦を応募する際に一番大変だったことが推薦文で、私は高校 3 年間で部活はやらず、英検などの資格も取得しておらずボランティア活動にも参加していなかったので自分のことをアピールする推薦文では非常に苦勞しました。なので、これから指定校推薦を受ける人は今のうちに英検や漢検の資格やボランティア活動に参加した方が良いと思います。そして、大学を決める時はどこでもいいではなくここに行きたいと思える大学を見つけて入れるように努力してがんばってください。

拓殖大学 政経学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
しらかし台中出身

日々の授業をしっかりと受けて、 取り組んだ分だけ結果につながります

■大学では世の中の仕組みを
もっと勉強したいと思います

私は、小さい頃から野球を続けてきて、仙台育英でも集中してスポーツに取り組もうと思い入学しました。3 年間は本当に部活動を中心に体力と技術の向上はもちろん、人としてのマナーや礼儀、人間関係の難しさやありがたさを学んだと思っています。

それと同じように入学当初から考えていたのは高校を卒業した後の進路のことです。私は野球を続けるかどうかは別として、やはり、大学に進学してもっと世の中の仕組み、例えば経済の事や政治、行政の事を勉強したいと思っていました。正直、そういうことは、新聞をしっかりと読むことはなかったので、テレビニュースや携帯のニュース速報、家庭の中でのちょっとした会話などでしか知識としてありませんでした。社会に出て働いていくには、まだまだ無知だと感じました。ですから大学に進学するには、どうすればいいのかと考えた時、やはり部活動と勉強の両立をしなければいけないと思いました。フレックスコースの勉強の内容は、基礎的なものが多いので、日々の授業をしっかりと受け、先生の指示を守り、課題に丁寧に取り組んでいけば、各評価とも高い評価をいただけたと思います。やればやった分、成績に表れるということで、テストの点数もその通り出ます。1 年の時から良い成績を維持することを心がけて、私は指定校推薦をもらえるよう頑張りました。

また、受けるために成績はもちろんですが、欠席をせず普段の生活面でもルールを守り健全でおちついた生活を送るようにしていました。

数多くの大学の中から、どんな勉強ができるか、大学の環境はどうか、寮や通学はどうか、部活はどうかを事前に調べ、オープンキャンパスで実際に見学したりして、大学入学に対する熱意をしっかりと先生方に伝えられるように自己推薦書は何度も書き直しました。皆さんも頑張ってください。

桜美林大学 グローバル・コミュニケーション学群に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
広瀬中出身

大学について理解を深めるうちに 志望理由がより明確になりました

■新しい学群だったので
情報収集に苦労しました

私が志望大学を最終的に桜美林大学と決定したのは 3 年生に進級してからでした。既に志望大学を決め対策に励んでいる友人も多くいたため、正直焦りを感じていました。

私が志望したグローバル・コミュニケーション学群は私達の代が 2 期生と非常に新しいため面接の傾向などの情報収集にも苦労しました。そのため私は積極的に大学に足を運びました。2 年生の春休みに入試課の方に個人的に説明をしていただき、3 年生の夏にオープンキャンパスと推薦入試対策講座に参加したため計 3 回に渡り大学の雰囲気や先輩、先生の様子などパンフレット上では分からない大学の魅力を感じることができました。入学してから期待と異なったということを避けるためにも皆さんにも入試の前に実際に大学を訪ねることをお勧めします。

実際に訪問することを含め私は徹底的に大学について調べました。大学の歴史、教育目標、学群での 4 年間の学びなどを調べることはもちろん面接対策にもなりましたが、やはりこの大学のこの学群が私には合っているんだ、絶対にここで学びたいという強い確信にも繋がりました。実際の面接でも志望理由を深く答えられたと思います。

高校時代、私は国際バカロレア（以下 IB）の教育プログラムで学びました。IB は日本の教育と大きく異なり知名度もまだまだ低いため、IB についてもしっかり理解を深めました。

大学について理解を深めることや準備することは、必ず役に立つので入念に行うことをお勧めします。みなさんの努力が実を結ぶことを心から願っています。

立正大学 経済学部経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
福島 豊間中出身

指定校推薦のチャンスをつかめるように 休まず授業にしっかり臨みましょう

■条件を満たしていたので
指定校推薦で受験できました

私が大学進学を決めたきっかけは、将来就職する上で、有利だと考えたからです。

私は、はじめ AO 入試で大学受験をしました。AO 入試で合格するのは、難しいという話は、先輩方から聞いており 2 ヶ月以上前から、自己推薦文や大学へ提出する文章などの準備をしてきました。入試の 1 ヶ月前には、担任の先生をはじめたくさんの先生方に面接練習をしていただき、できることをしっかりとやりました。ですが、去年とは違い倍率が 1.5 倍くらい上がり合格するのが難しい状況となりました。自分なりにベストをつくしたのですが、不合格という結果に終わり、少しあせりましたが、幸運なことに、私が第一志望とした大学の指定校推薦の枠があったことが救いでした。結果を受け、私はすぐに指定校推薦の準備を進めました。評定平均値や出席率が良かったので、指定校推薦の枠をもらうことができました。学校を休まないことはもちろん、普段の授業をしっかり取り組むことが大切だと私は思います。面接の際に話す材料として、部活動をしていると面接がスムーズに進みます。面接では、自己 PR というものがあるので、今のうちに取れる資格は積極的に受験するなど、今から準備しておく、後々楽になると思うので頑張ってください。

学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
住吉中出身

先生方や先輩のアドバイスも参考にして 納得できる進路を見つけましょう

■校内模試対策として

過去問をたくさん解きました

私が指定校推薦を受けようと思ったのは高校 3 年の夏でした。もともと、指定校推薦を利用したいと思ってましたが、自分の成績では無理なのではないかと思い、一般入試での合格を目指そうと考えていました。しかし、もう一度自分の今までの成績を振り返ると、出願したいと思っていた大学の条件を満たしていました。担任の先生、両親にも相談し指定校推薦を受けることを決めました。次に突破しなければならないのは校内模擬試験です。文系の大学を目指すには、英語と国語で高い点数を取ることが必要です。そのため、それぞれの科目の先生に自分が今やらなければいけない事をはっきりさせました。英語はセンター試験の過去問を解き、分からないところを完璧に理解するまで何度も先生に質問しました。国語は先生にお願いして校内模試の過去問をくり返し解きました。国語に関しては、出題傾向が変わることが何度かあり、より多くの年の過去問を解くことで、どのパターンの問題が出題されても焦らず解くことができるという自信に繋がりました。

■読書は現代文と社会科に

プラスになります

つぎに私が在学中にして良かったと思っていることは読書と委員会活動です。私は通学に片道 1 時間半掛かるところから毎日通っていました。その間の時間を有効に活用するため読書をしていました。本を読むことで、現代文の問題を解くスピードが上がりました。加えて、現代の社会の政治や経済、宗教問題について知ることが出来ます。これらは社会科の内容に繋がっていることが多いので、一石二鳥です。次に委員会についてですが、私は高校 1 年の時に合唱コンクール副実行委員長を務めました。私が指定校推薦を受けるにあたって、この経験はとても役立つものとなりました。高校 3 年になると、行事も少なくなるため、1, 2 年の段階で委員会やボランティア活動に参加することが重要だと思います。

最後に、私が何よりも大切だと感じたことは、出来る限り多くの情報を多方面から集めることです。自分の進路決定について担任の先生をはじめ、多くの先生や先輩に意見やアドバイスを頂きました。これが私が成功した一番の理由だと思います。沢山のお話を頂き、沢山悩んで、自分の納得できる進路を見つけて下さい。

工学院大学 建築学部建築学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

大学でも高校と同じように 充実した楽しい毎日を送りたい

■建築士になる夢を実現する ために大学に進学します

私は「建築士になりたい」という夢を抱き、日本での世界的有名な建築の専門知識を学ぶために、中国から来た留学生です。

仙台育英に留学を決める前から、日本建築のすばらしさを知っています。日本は古くから地震多発の国から、安全性が高い建物を作ります。技術は世界一といっても過言ではありません。工学院大学のことを知ったのは先生の勧めからなのです。この大学は日本初の建築学部を創立し、日本中世界中で活躍する数多くの優秀で名高い建築家を輩出しています。「建築士」になりたいいつも私の目標です。この大学は私の目標を実現するための最高の場所であると確信しております。

学校で私は数学と化学いつも満点で目指していて、英語もクラスで最高点を取りました。私は友達を作るのが好きです。喜んで人を助けます。そして、私は友達が多いです。私の長所は物事に対して積極的かつ冷静な判断力を持っているところです。趣味はバドミントンと卓球です。

■進学後はボランティアに 積極的に参加したい

大学に進学する理由は専門知識を深く勉強したいからです。大学に上がったら、授業を妨げないのを前提とし、学校のイベントや社会活動、そして色々なボランティアに参加したいです。二級建築士の資格早めに取ります。私は英語と日本語も一生懸命続けて勉強したいと考えています。

工学院大学の面接があります。面接は、緊張しません。面接官ずっと笑顔で、親切です。面接時間は 10 分くらいです。質問も難しくありません。学校と部活動と生活に関する質問です。

最後に、仙台育英で私は楽しい生活を過ごしました。大学の生活も楽しみです。すべての人の目標がすべて実現できることを望みます。皆さんも頑張ってください。

女子栄養大学 栄養学部 食文化栄養学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
飯野川中出身

人に自慢できる強みがあると 自信になり推薦に有利になります

■部活動に入らなかった分 勉強に力を入れていました

女子栄養大学の指定校推薦の受験は、栄養に関する小論文と学科の説明会の内容をまとめたレポートを提出します。小論文は、担任の先生などに添削していただきました。何日間かじっくり考えることができたので、アドバイスをもとに試行錯誤しながら納得のいく小論文を書くことができました。

私は、部活動には所属していませんでしたが、その分勉強に力を入れ、高い評定を維持することができました。定期テストでは高い評定をとれるように意識し、欠席や遅刻をしないよう普段から気を付けた方が良いと思います。それに加え、部活動や学校に貢献する、資格取得を目指す、ボランティアや地域の活動に参加するなど、やれることは何でも積極的に参加するべきです。何か人に自慢できる強みがあると自信がつくので良いと思います。

■進路選択では大学独自の 特色に注目してみましょう

大学進学を志望するにあたって大切だと感じたことは、大学のことをよく調べて早めに行動するということです。私は、自分が何を目指して大学で何を学びたいのかを明確にして、それに合った大学を何校かピックアップし、相談しながら絞り込みました。同じ学部・学科でも大学によって特色があるので、よく調べてみると良いと思います。他の大学ではできないような面白いことをやっていたりするので、注目してみてください。

また、指定校推薦を通じて、やって良かったと思うことは、オープンキャンパスに参加したことでした。特に女子栄養大学の指定校推薦では、オープンキャンパスで説明会に参加することが第一条件になっているので、参加しなければ受験できません。私が女子栄養大学の指定校推薦に挑戦しようと決めたのもオープンキャンパスに参加し、大学の雰囲気や周りの環境を自分の目で見て、この大学で学びたいと思ったからです。1, 2 年生でも、まだ早いと思わず、自分の興味や関心を引くものは何かを考え、目標を立ててみてください。

清泉女子大学 文学部 スペイン語スペイン文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
小牛田中出身

推薦入試は普段の生活面が重要なので 3 年次に後悔しないよう過ごしましょう

■キューバでは現地の言葉を 理解できず悔しい思いをしました

私が清泉女子大文学部スペイン語スペイン文学科を志望するようになったきっかけは、第二外国語で選択したスペイン語の授業と、1 年次に渡航したキューバでの経験からです。私は高校 1 年次に獅子太鼓部の部活動の一環として、キューバ共和国へ渡航することができました。その際に目にした町並みやキューバの人々の人柄などが、私たちの生活環境とは大きく異なっており、強い衝撃を受けました。しかし、渡航した当時は現地の人が話しているスペイン語をほとんど理解することができず悔しい思いをしました。帰国後、第二外国語の授業だけでなく、さらにスペイン語の理解を深めるために、スペイン語検定の取得に取り組みました。その成果として、高校 2 年次に 6 級を取得することができました。

私は志望大学を決めるにあたって、いくつかのオープンキャンパスに参加しました。模擬授業や個別相談、大学の教授や先輩方とお話をする中で志望校を決定しました。志望大学を決定する際、いくつかの学校で迷うことがあると思いますが、実際にオープンキャンパスに参加したり、教授や先輩方とお話したりして、自分が学びたいことを学べる環境であるかを見極めるために、疑問に思うことはなんでも質問すべきだと思います。

■先生方のサポートで万全の 体制で資格検定に臨めます

私は 1 年次から推薦入試での大学受験を考えていたため、次のことに気をつけて生活していました。1 つ目は生活態度です。制服や身だしなみを整え生活することはもちろん、遅刻をしないことや挨拶をすることなど、当たり前のことをしっかりと行えるように心がけました。2 つめは、学習面です。定期テストでは、1 年次から全ての教科で 80 点以上取ることを目標に取り組みました。その成果として、評定でも 5 をいただくことができました。また、資格取得にも積極的に取り組みました。英検やスペイン語検定などの検定は、外国語コースに試験対策をしてくださる先生方がたくさんいらっしゃるの、十分に準備をして臨むことができます。

推薦入試は、一般入試よりも早く進路が決まるため楽なのではないかと考える人もいます。しかし、推薦入試で合格するには学業だけでなく、課外活動や生活面など様々な面がより重視される入試でもあります。3 年生になってから後悔することがないように、学校生活を送ってほしいと思います。

東京工科大学 メディア学部 メディア学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
愛宕中出身

早めに準備しモチベーションを維持する ことで合格に近づくことができます

■ 3D グラフィックの技術を 習得できる点に惹かれました

私が東京工科大学に行きたいと思った理由は、自分の将来の夢の勉強ができるからです。

私は将来 3D アニメーターになりたいと考えています。そのためには 3D グラフィックの技術を習得する必要があると思いました。この大学を知ったのは 2 年生の時に仙台育英で行った進路ガイダンスで自分のやりたいことを学べるということで興味本位で説明を受けました。そのときはもっとレベルの高い大学に一般で入ろうと思っていたので、とくに関心をもたず、軽い気持ちで聞いていました。しかし、どんどん 3 年に近づいていくなかで、自分のレベルにあった大学に行くべきだと思い始めました。現実を見ればもともと志望していた大学には今のままでは確実に入れなかったと思います。3 年生に上げる途中でそのことに気づけたことが大きかったなと今ふり返って思います。

■ ここぞという時に資格が 助けになってくれます

このコースは他のコースとは違い、パソコンを扱う授業がとても多いです。それにともない資格取得にも力を入れています。情報処理検定や MOS など在学中多くの資格を取得することができました。資格は大学進学にも大きなアピールポイントになります。別にこの資格にこだわらず、すべての資格には意味をもち、ここぞという時に自分を助けてくれます。指定校推薦をねらっている人は自己アピールとして自己推薦文に書くことができます。これは非常に役に立ちました。

私が大学合格できたのも事前の準備をしっかりしていたからだと思います。校内模試や面接試験の対策を早いうちから取り組んでいました。自分が大学で学びたいことがはっきりしていたからこそ、モチベーションが上がったのかもしれませんが。モチベーションの上げ方は人それぞれですが、常にそれを保ちつつ、早めに行動することによって大学に合格することができると思います。

東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
高崎中出身

授業や空き時間で復習する習慣を付けて 資格や勉強を両立させました

■早めに進路を決め学習や 資格取得に頑張りました

東京工科大学へ進学を決めた理由は、自分の夢を叶えるためにたくさんの知識や技術を学びたいと思ったからです。東京工科大学への進学を決めたのは高校 2 年生の初めの頃でした。私はその頃からより一層大学への進学を意識し始めました。

私は部活動には所属していなかったので、勉強や資格取得をこの 3 年間頑張ってきました。実力テストでは胸を張れるほどの点数をとることは出来ませんでしたが、最低限に学校の中間や期末テストでは手を抜かず毎回高得点を取れるようにし、評定も平均 4.7 以上は保つように努力してきました。私は情報系の大学進学を希望していたため、情報科学コースで行われている資格試験はなるべく受けるように心掛けてきました。私は進路を早めに決めていたのでそれに向かって勉強や資格取得を頑張る事が出来ました。

日頃の授業や隙間時間での復習を行っていれば、テストでは何の問題もありませんでした。しかし授業に集中できない日もありました。その時は、家などで復習の時間を多く設けて遅れをとらないように努力してきました。

私が大学受験に成功した一番の要因は日頃の勉強や学校生活の行いだと思います。ごく普通な生活を行い、普通以下の行いをしない限り、受験には問題無いと思いました。勉強面では基礎学力を身に付けていれば応用にも取り組み、学校生活では先生の評価を損なう行動をしない。このように普段の生活を行っていれば心配事はほぼ無いと思います。

■大学は自分の可能性を 広げる場所です

私からみて高校と大学の違いは、受動的か能動的の違いだと思います。高校では先生からこれを学びましょうと学ぶ教科を提供され我々はそれを学んでいきます。しかしそれに対して大学では、自分からこれを学びたいと能動的に行動しなければなりません。これが高校と大学の大きな差だと思います。自分の好きな事を学べるのが大学なので、自分の可能性を広げられる素晴らしい場所だと思います。

後輩の皆さんは高校生活を有意義に過ごし、決して後悔を残して卒業する事の無いように日々の生活を大切にしてください。

東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
鶴が丘中出身

面接は練習をすればやるほど 本番で緊張がほぐれます

■充実した施設で PC を深く 学べる大学を選びました

私は、指定校推薦で東京工科大学に合格しました。なぜ私は東京工科大学に行くのかというと、私は将来パソコンを使った仕事がしたくてパソコンを専門的に学べ施設も充実していたので東京工科大学に行こうと思いました。

私がこれまで指定校推薦がとれるようにどのようなことをやってきたかと言うと、まず私は、2 年生の時からインターアクトクラブという部活動に入っていました。この部活動はボランティアをする部活動でその部活動をガンバってきました。部活動に入っているだけでもプラスになると思うので、できれば入っておいたほうがいいのかなと思います。次にやっていたのは資格取得です。絶対に資格を多くもっていたほうが指定校推薦で有利になり将来いろいろなことでやくだつと思うので、できるだけ多くの資格を取得をしたほうがいいと思います。次にやっていたのは勉強です。評定で 2 をとってしまうと指定校推薦ではまずく、とても行きづらくなってしまいます。なのでなるべく 2 をとらないようにしっかりとテストに備え勉強をし評定を 3 以上できれば 4 以上とれればベストかなと思います。なのでしっかりと勉強をしましょう。

東京工科大学の指定校の受験は、面接と基本問題があり面接は 8 人の集団面接で志望動機とどのコースに入りたいか、その 2 つを聞かれました。基本問題は 20 分間のテストで、時事問題などの内容でした。面接練習は、放課後に入試日の 1 ～ 2 か月前から練習してきました。面接の練習はやればやるだけ、本番の時に緊張がほぐれることができるので、なるべく多くの面接練習をしておいた方が良いと思います。

東京電機大学 未来科学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
将監中出身

指定校推薦を考えている友人よりも 好成績を収める努力をしましょう

■部活動を評価してもらう為 指定校推薦に挑戦しました

私は、仙台育英に入学した当時は一般受験で大学を受験しようと考えていました。サッカー部に所属していた私は、毎日の練習で疲労が溜まり、帰宅後の勉強を怠っていました。そのため、成績がなかなか伸びず、一般受験で合格できるか、とても不安でした。

3年生になり本格的に卒業後の進路を決定する際に、指定校推薦での受験を考えるようになりました。一般受験では、学力による評価のみで合否が決まることが多いのですが、指定校推薦では、小論文や面接、高校での活動歴など総合的に合否が判断されます。私は、部活動を熱心に行っていたので、この努力が少しでも評価されればいいなと思っていました。そして、今まで自分が送ってきた高校生活を振り返った時に、指定校推薦での受験が私に合っていると強く感じました。以後、校内で推薦してもらうための準備を始めました。

■資格は自己推薦書における アピールポイントになります

まず、校内模試の成績と各大学によって定められた評定平均値が特に重要です。私は、授業に集中する、提出物を出すなどの基本的なことから徹底し、評定を維持しました。私は理系だったので、校内模試で必要となる英語と数学の勉強を中心にしました。しかし、指定校推薦での受験をしようと決めてから校内模試まで時間がありませんでした。そのため、前年度の問題で出題された分野のみ対策をしました。その後、校内模試の結果が分かり、受験大学を決めました。私は、建築の中でも、主に設計を実践的に学ぶことができる大学を探していたので、時間をかけ、より自分に合った大学を選びました。最初は、志望大学と学科が友達と全く同じで成績もほぼ同じということがあったので、大学選択にとっても悩みました。このことから、友達や周りの人で指定校推薦の受験を考えている人がいたら、その人たちよりも勉強し、より良好な成績を収めているとよいと思いました。また、校内で推薦をもらう際に必要となる自己推薦書は、自分のことをアピールできることがいくつかあればよいと思いました。私は当時、英検準2級を取得していました。建築学科では英語が必要になり、将来的にも使えます。資格を持っていることで自分のことをより主張しやすいと感じました。

指定校推薦での受験は、勉強が得意ではなくても他に努力してきたことがある人であれば、積極的に使うべき入試制度だと思います。もし大学進学に悩んでいる人は、ぜひ指定校推薦を考えてみてください。

神奈川大学 法学部法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
福島 向陽中出身

揺るぎない目標は不安な時の支えや 自信を持たせる力になります

■大学で法律を学ぶために
自分を奮い立たせてきました

検察庁で働きたい。そのために法律を勉強したい。高校に入学して進路を考えた時、私はこの程度にしか考えていませんでした。

自分のやりたいことのできる大学はどこかと考え、面談や進路講演などから得た知識で大学を調べたところある私立大学に興味を持ち、その大学で勉強したいと思うようになりました。後にその大学の法学部法律学科の指定校推薦枠があるのが判明し、挑戦することを決めました。

指定校推薦には評定と校内模試の結果が最重要だったので定期考査と校内模試の勉強に励みました。定期考査では高得点を取って平均評定を上げることを心がけ、校内模試ではより高い順位になるよう基礎基本から勉強することを意識しました。その結果、定期考査の結果は良かったものの校内模試では勉強が足りず推薦をもらえるかどうかの瀬戸際になりました。それでも私は諦めずに挑戦することにしました。私はどうしても法律を勉強したいんだと自分を奮わせ、ダメ出しだらけだった志望理由書を書き上げ、校内選考に出されることになりました。しかし結果は振るいませんでした。先生方に助言を頂き、志望大学を変更してもう一度挑戦しようと決め、今の自分を見つめ直して将来について考えた結果、神奈川大学を受験しようと決意しました。もう一度新しく志望理由書を書き、推薦されることが決まりました。受験の面接では自分の思いを堂々と話すことができ、合格することができました。

■大学合格は高校 3 年間で
一番の喜びになりました

ここまで自分を奮わせたのは、高校入学時から変わらない目標を掲げてきたことにあります。1 つ絶対に達成したい目標を立てることは自分の不安な時を支えて自信を持たせる力となります。私はこの大学受験を通して実感しました。また、現在の自分と向き合って将来どうしたいのかどうなりたいのかを考えるようになりました。

高校 3 年間とはつらいことも楽しいこともたくさんありますが、一番の喜びは“努力が実って大学に合格した”ということだと思います。それを経験した今、自分にとても自信ができました。この経験と自信を大学生活や社会貢献に大いに役立てていきたいと考えています。

神奈川大学 経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
岩沼中出身

多くの経験と出会いが刺激になり やりたいことが明確になります

■起業に必要な知識を習得
できる大学を絞り込みました

仙台育英には、たくさんの指定校推薦の枠があります。私はこの推薦の枠を使い、大学に進学しようと入学当初から考えていました。その推薦の枠は全国各地の私立大学で様々な学部学科があります。私は、将来国際的に活躍する会社を起業したいと考えているので、経営学と英語を深く広く知識を得ることが必要でした。また、高校 1 年次に、ハワイへ短期留学をした経験があり、それはとても充実しており、英語だけの生活を味わえたことがとても私を成長させたと思っていたので、大学に進学しても留学をしたいと強く思っていました。このような、私の理由から、志望大学を絞り込み、高校 2 年次には、神奈川大学が私にぴったりだと感じ、志望大学が決定しました。

■評定平均値オール 5 が
大きな強みになりました

それからは、1 つひとつの定期試験を真剣に取り組み、評定 5 を取ることを目標に勉強しました。最終的に 3 年間の平均評定でオール 5 を取れ、これは推薦をもらうにあたって、大きな強みとなりました。また、推薦の枠を勝ち取るために一番大事なものは、校内模試です。この模試の順位により、大きく変わってきます。私はこの模試のために、予備校に通い毎日勉強し努力しました。

高校生活では、生徒会執行部とインターアクト部に所属していて、ここで経験してきたことは、自分をアピールする時などには、とても有効でした。

将来の目標が決まっていない人、志望大学が決まっていない人も、高校生活で、たくさんの色々な経験をし、色々な人と出会い、あらゆる面から刺激を受けることで、自分のやりたいことが明確になるはずです。高校生活は、たくさんチャレンジして、充実した生活にしましょう。

神奈川大学 外国語学部 中国語学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
長町中出身

将来ではなく「今やりたいこと」を 考えて志望大を選びましょう

■大学で言語について深く 学びたいと思っていました

私は幼少時から様々な言語に触れ合う機会がたくさんあり言語への関心が強かったので高校卒業後も学んでいきたい、と入学前から大学進学を考えていました。私が志望した神奈川大学は指定校枠があったので、それを目指して日々の生活を送りました。指定校推薦をもらうには、評定や生活態度、出席日数など様々なことに気をつけて過ごさなくてははいけません。私は指定校推薦を狙おうと決めてから、特に生活態度を気をつけました、遅刻は一度もせず、授業をまじめに受け、1, 2 年と精勤・皆勤賞を続けました。

そして指定校推薦に出願するのに最も大事なものは、6 月に行われる校内模試です。ここで高い順位を取っておかないと、他の人に枠を取られてしまいます。私はこの校内模試の勉強に今まで以上に力を入れました。文系の人達は主に国英が大事なのでまずはこの 2 教科を勉強すると良いと思います。

■“団体戦”のつもりで周囲と 協力して受験に臨みましょう

私は大学を決めるとき、初めは 1 つの大学しか考えていませんでした。しかし面談や友達との会話で段々と色々な方向性が見えてきました。やはり大学は 1 つに決めてしまうのも良くはないと考えるようになり、進路に悩み始めました。そんな時相談に乗ってくれた人は、親・先生・友達などたくさんいました。仙台育英の特別進学コースはほとんどの人が大学進学をするため、同じ悩みを抱えている人はたくさんいます。だからこそ相談に乗ったり、他の人の考えを聞いたりして新たな自分に気付くこともできるのだと思います。大学は、「将来何をしたいか」ではなく「自分が今本当にやりたいことは何か」を考えて決めることが大事です。自分が今何に興味があるのか、何を学びたいと思っているのかをじっくり考え直してみてください。受験は団体戦です。何もかも 1 人でやらずに、周りの人とたくさん協力して下さい。仙台育英には相談に乗ってくれる先生方がたくさんいます。先生方や友達など協力し合いながら、目標の進路に向かって、諦めず頑張ってください。

関東学院大学 社会学部現代社会学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
新潟 水原中出身

早くから真面目に勉強し 志望大も決めておきましょう

■校内模試で結果を残せず
準備の大切さを実感しました

私が関東学院大学に合格するために頑張ったことは3つあります。1つ目は、学校での授業です。1年生から私は指定校推薦で大学に行くことを目標にしていました。その為には日頃の授業をちゃんと受けて、期末試験や中間試験で確実に良い点数を取ることが必要だったので真面目に勉強しました。勉強だけでなく普段の授業態度もきちんとしていました。

2つ目は、校内模試の勉強です。1年生からの範囲がでるので、大変多い範囲だったけど、自分なりに大切なところとそうでないところを分けて勉強したりしました。国語と英語と数学を勉強しなければならなかったのですが、私は理系だったので英語と数学を重点的に勉強しました。先生から過去問題をもらって勉強したり、校内模試の対策講座なども受けて勉強しました。しかし私はそれだけやっても良い点数を取ることが出来ませんでした。もっと前から勉強していた方が良かったのかなあと考えたので、来年校内模試を受けるときはできるだけ早くから勉強して、自分の行きたい大学に行けるように勉強してほしいです。

3つ目は、大学の名前や情報をたくさん知ることです。私は関東の大学へ行こうと決めていたので関東の大学を調べはじめました。最初は名前を知っている大学が少なくなかったので箱根駅伝に出ている大学から調べたり、自分が将来何になりたいか考えて何学部にしようとか考えたりしました。そこで私は社会が好きなので、社会学部がある関東学院大学に決めました。

1, 2年生のみなさんは、できるだけ早くから勉強をしたり、志望大学を決めてほしいと思います。

関東学院大学 法学部法学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
沖縄 石垣中出身

毎日の予習・復習は時間がなくても しっかり欠かさずやりましょう

■部活動を続け実績を残せば
指定校推薦の道が開けます

高校に入学する時にちゃんと卒業して大学に進学することを前提に仙台育英に入学しました。一応サッカーをしない学校へ来たので大学もサッカーを使って行こうと考えていました。しかし世界は広いなと感じました。私なんか比べものにならないくらい上手い先輩でも大学からは声もかからず自力で大学へ進学していました。甘い世界ではなかったのです。1 年生の時から色々と考えていましたが、同じ特別進学コースの先輩が指定校推薦というものを使って進学したことを知りました。私も成績はそこまで悪くはなかったし、サッカー部に 3 年間所属して実績を残せば大丈夫だと言われたのでそれを使って進学しようと考えました。推薦を取るために心がけることは、遅刻、欠席はしないこと、定期テストでは 6 割くらい目指して評定を落とさないこと、3 年の夏にある校内模試を頑張ることですね。本気で良いところを目指すのであれば校内模試で 30 番台くらいに入らないといけません。1 年部活動が毎日あるとしんどいと思うので、がつつり勉強する時間がなかなかとれないと思います。なので毎日予習復習だけはしっかりやりましょう。電車などの空き時間にでも単語をやったりするのもいいでしょう、平常点をもらうために授業中はしっかり起きて、提出物は期限内に出しましょう。あとはテスト前にどれだけ詰めこめるかですね。私もオールでテストとか臨んでみましたが、朝起きて 1 時間やるのと何ら点数変わりませんのでしっかり寝ることをおすすめします。授業中のノートとかみてここ大事っていうポイントを一通り見て寝て、朝もう 1 回見直してテストで OK です。そうやって 3 年間点数取ってきました。

大学選びは自分のやりたい事ができる大学を選びましょう。担任の先生と親にはこの大学に入って何をしたいのかしっかり伝えればわかってくれるので大丈夫です。

行きたい大学も夢をつかむのも 3 年間の自分の努力次第なので頑張ってください。

関東学院大学 法学部 地域創生学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
宮城野中出身

受験対策でお世話になった先生方への 「感謝の心」を常持ち続けましょう

■将来は生まれ育った宮城に 貢献できる人材を目指します

私は将来、自分が生まれて育った宮城県に貢献して行きたいと思いました。そのためには、もっと高度な知識を得る必要があると考え、大学へ進学を決意しました。

数ある入試制度の中で、私は指定校推薦で大学に進学することができました。この入試制度にすることで、自分の考えた意見を直接反映できるメリットがあります。だから、この入試制度を利用しました。

指定校推薦で進学するためには、枠を取らねばなりません。私は枠を取得するために、当たり前のことを成し遂げました。例えば、授業をまじめに受けること、欠席日数を増やさないことなどです。常日頃の行いが重要となってきます。そうすることにより、成績を上げられることは勿論のこと、自信にもつながられます。

■部活動などに所属して 色々な経験を積みましょう

また、枠を取るには自己推薦文も重要となります。推薦文は短時間で終わらせることが困難なため、多くの時間を有する必要があります。そのため、前々から担任の先生に添削してもらい、自分の長所・短所をまとめなければなりません。長所をアピールするために、私は部活動やボランティア活動をするをおすすめします。活動団体に所属することで、様々な経験をすることができるため、自己推薦文を書きやすくなります。だから、色々な経験を積むことで、自分の能力を高められることができ、様々な人の考えや立場の意見などを肌で感じ取ることができます。

最後に、私は多くの先生方にお世話になり、指定校推薦で志望大学に合格できました。皆さんの入試制度は十人十色だと思いますが、何かしら先生方を上手く活用してください。そして、お世話になったら、これだけは守ってください。それは「感謝の心」です。先生方は皆さんのために一生懸命、面倒を見てくれます。常に「感謝の心」を持つことが大切です。

関東学院大学 経済学部経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

自分と真剣に向き合って真摯に受験に 取り組めば必ず結果はついてきます

■大学で自分自身を高め
将来は起業したい

合格の通知を聞いたときは、とても嬉しかったです。大学に進学を考えた一番の理由は、もっと深く知識を学びたいと考えたからです。高校までに学習した内容では、将来社会に出たときには不十分だと考えました。

私は将来自分の会社を作りたいと考えています。そのため、多くの知識やスキルを身につけなければならないと考え、大学進学を選びました。私が指定校推薦を目指したきっかけは、担任の先生からの勧めでした。先生は私たち外国人留学生の状況によって、私たちの実力を最大限に発揮できる入試方法を教えてくれました。指定校推薦といっても簡単なものではなく、自分の努力が必要です。私の場合は、毎日推薦書を書いて、先生に直してもらい、そしてまた書きなおすということを日々繰り返し、やっと完成させることができました。また、日々の学校での学習態度や内外での活動、成績や英検取得も指定校推薦には必要不可欠なことです。ですから、私は日常の学習にも一生懸命取り組み、出願時には 4.7 の評定平均値を取得することができました。さらに、英検取得にも努め、毎日 3 時間くらいの時間を費やして勉強し、各種検定試験にチャレンジし、日本語能力試験 N2 やワープロ検定 3 級等にも合格することができました。達成感を得ることができました。

しかし、一方で日本の大学の入試制度や数ある大学の中から志望大学がなかなか決まらず、悩んだ時期もありました。そんなときに、後押ししてくれたのは、学校の先生はもちろん、クラスの仲間や家族でした。自分の目標が明確になれば、達成に向けて取り組む時間も労力もたくさん費やすことができます。真剣に自分と向き合い、真摯に大学受験に取り組めば、必ず結果はついてくると思います。後輩の皆さんも、ぜひ頑張ってください。

東洋英和女学院大学 人間科学部 人間科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
将監東中出身

合唱コンクールのピアノ伴奏を担当し 努力を続ける大切さを実感しました

■苦手の英語も勉強したら
成績が上がりました

私が大学進学を目指した理由は、高校入学前から大学に進学すると決めていたからです。大学は決めていなかったのですが、指定校推薦で受験しなかったため、部活動に入り、成績を上げ、皆勤を目指しました。部活はインターアクトクラブです。インターアクトクラブとはボランティア活動をする部活動で、自由に参加できます。私は植樹祭に参加しました。そこで学んだことは、復興の大変さを学びました。

成績面では、私は英語が苦手で、1 年生の時は、あまり成績はよくありませんでした。でも 2 年生に上がり大学の説明も増え、あせるようになり、テストの 3 週間前から苦手の英語を勉強した結果、点数が上がり勉強することの大切さを学びました。大学生活においても生かしていきたいと思います。

私は小学校から皆勤なのですが、大学の指定校推薦では皆勤の方が有利だと思い、体調管理を徹底しました。その結果入学当初から現在まで学校を休まずに通っています。

大学での自己アピールは、高校生活で頑張った事にしました。私は、小さい頃からピアノを習っていて、仙台育英行事の合唱コンクールでピアノ伴奏を担当しました。上手に弾けない時もあるとやめたいと思った事もありましたが、指揮者を任された友達がパートリーダーとして努力している友達の姿を見て、大変なのは自分だけではないと言い聞かせ、忙しい時でもより良い合唱になるように毎日練習しました。どんな時でも努力を継続することが大事ななんだろうと思いました。

高校生活で学んだことは、大学生活でも生かして、今まで継続してきた努力をこれからも続けていきたいと思います。

東京工芸大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
郡山中出身

部活動で目上の人と接することに 慣れておく と面接に有利です

■入学まで時間ができるのが 推薦入試のメリットです

私は大学で建築のデザイン・設計について学びたかったので、デザイン・設計を専門的に学べかつ自分のような普通科出身の人間でも将来についていけるようなサポートのある大学が理想でした。自分が合格した東京工芸大学はまさしくそれらの条件が満たされている理想の大学でした。

推薦入試は私個人の考えとしては地元から離れた大学を志望する人に強く勧めたいです。志望大学にもよりますが大概、早い段階で進路が決まります。合格した場合、十分な時間を持って大学生活の準備が出来るため協力してくれる家族の負担を減らすことが出来ます。私自身も推薦入試を受けようと思った理由の中に先程述べた事が含まれています。

推薦入試を受験しようと思ったならもう一度なぜその大学に行きたいのかを深く掘り下げて考えてみることを強く勧めます。自己推薦文を書くにも面接を受けるにあたってもこの志望理由というのが根幹をなします。よって自分自身の答えをしっかりとせるようにすべきです。

■自己推薦文や面接練習など 入念に準備しましょう

また面接で面接官の質問に答えるとき重要になる言葉遣いは部活動に取り組んでいる人は有利になりやすいです。先輩やコーチなどの自分より目上の人達と接する機会が多いのでそこで学べるからです。さらに質問で聞かれやすい高校生活についてでも部活動に取り組んだと答えられるので今、部活動を頑張っている人達はぜひとも引退まで続けて、体力面、精神的な面でも強くなってほしいです。

学校での定期テスト同様、事前の対策がとても重要です。質問への答えや面接室に入る時の手順などやる事は多いですが、質問への答えは自己推薦文がしっかり書けていれば恐くはないですし、面接の練習は先生方が親身になって付き合っただけなので、入念な事前対策が合否を分ける大きなポイントになります。

これらが今回、受験を通し大切だと思った事です。

文教大学 情報学部 メディア表現学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
長町中出身

先生方は生徒 1 人ひとりを見ています 校外模試でも良い結果を目指しましょう

■ TV 番組制作を学べる大学に 中学時から憧れていました

私が大学進学を意識したのは、中学 3 年生になったばかりの頃でした。当時の担任の先生にテレビ制作を実践的に学ぶことができる大学があると言われ、大学進学を心に決めました。

大学を決める際、重視したのは、「やりたいことができるかどうか」です。今まで小学校・中学校・高校と 12 年にわたって受けてきたものより圧倒的に長い時間の授業とたくさんの宿題を出されることが 4 年も続くのですから、やりたいと強く思っていることでなければ途中で挫折してしまうと思います。やりたいことが特にないという人も、自分の強みであったり、好きなことに近い分野を学べる大学に行き、見識を広げるのも一つの手かもしれません。

■ 指定校推薦は決して 楽な道ではありません！

進学先を文教大学情報学部メディア表現学科に決めてから、試験方法を調べていきました。AO 入試、一般入試等たくさんある中ですすめられたのが指定校推薦でした。指定校推薦は楽な方法であると考えている人も少なくないと思います。私もその 1 人でした。しかし、自己推薦文を何度も書くなど、決して楽な道ではありませんでした。既に指定校推薦を視野に入れている、または目指している人は、授業態度を見直してみましょう。授業中に寝ない、提出物は期日を守るなどあたりまえのことをあたりまえのようにやるのが肝心です。また、校内外に関係なく模試で良い結果を出すのも良いと思います。先生方は生徒 1 人ひとりを見ていることを忘れないで下さい。

駿河台大学 心理学部 心理学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
尚絅学院中出身

自己推薦書をできるだけ早めに完成させ 資格取得等にあてる余裕を作りましょう

■書類作成は志望大の先輩に
助言を求め参考にしましょう

私は指定校推薦で大学に合格しました。そのために以下のような努力をしました。

まず最初にしたことは自己推薦書の作成です。作成に取りかかった時期は 2 年の冬休み頃からです。始めた頃は何をどう書けばいいのか分からず、非常に悩んだことを覚えています。その後は提出、直しの繰り返しで、期限までに完成させることができるのかとても不安になりました。しかし、早く始めていたこともあって余裕を持って完成させることができました。自己推薦書はできるだけ早めに完成させて、余った時間は資格取得やボランティア活動などにあてることをおすすめします。

次に大学へ送る推薦書の作成に取りかかりました。大学によって形式が違うので、オープンキャンパスや説明会などで先輩方からアドバイスを頂くとよいと思います。また、担任の先生に添削してもらう際は自分の推薦書を見終わっただかどうか何度も確認をとることが大切です。しつこいと思われてしまうかもしれませんが、自分のやる気がどれほどのものか伝えられるのと同時に、添削を優先してもらうことができます。添削に出した推薦書がなかなか帰って来ない時はいつまでも待っているのではなく、確認に行くことが大切です。

■勉強に加え体調管理も
しっかり行いましょう

資格取得では中国語検定に挑戦し、準 4 級を取得しました。中国語は第二外国語の授業で習っていたので、取得しました。学校外の活動では中学生の頃から続けている日本舞踊の発表会に出場したり、3 年間勉強した中国語の集大成として中国語スピーチコンテスト朗読の部に参加し、賞を取りました。このように自分が学んだことを発表したり、賞を取れば、推薦の時に選ばれる可能性が上がります。また、検定取得やボランティア活動は特にして良かった方だと思います。

勉強も大切ですが、体調管理をしっかりと行うことも大切なことです。大学によっては 3 年間の欠席が 15 日以内であることを求めています。できるだけ休まず、具合が悪くなった場合は保健室に行くようにしましょう。

尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
古川中出身

一つでも多く受験機会を得るために 指定校推薦を選びました

■音響エンジニアという夢に
近づける大学だと思いました

私は尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科に指定校推薦で合格しました。この大学をめざした契機は将来の仕事として音響エンジニアになりたいと考えたからです。尚美学園大学では、1つのことを徹底的に学ぶ専門学校とは違い、自分のペースで音響、映像、照明、ゲームクリエイト、CGの5つのマルチフィールドを4年間で学び、広い視野で自分自身の能力に合った職業を見つけること、考える制度に魅力を感じ受験しました。

■部活動やボランティアなど
意欲的な毎日を過ごしました

指定校推薦を選んだ理由は一つでも多くのチャンスを増やすためです。指定校推薦を得るために高校時代に力を入れていたことがあります。1つ目は文武両道です。学業面では授業に遅れをとらないよう無遅刻無欠席で学校に通い、日々の勉学に励みました。長期休暇期間では講習に積極的に参加しました。また、部活動では、バドミントン部と軽音楽愛好会に所属しました。バドミントン部では、副部長として部長のサポートと部員のまとめ役として活動しました。軽音楽愛好会では、チャリティーライブに参加し、ボーカルとドラムを担当しました。2つ目はボランティア活動です。地元と学校の行事に参加し、主に清掃活動を行いました。3年生からは短期間インターアクトクラブに所属しました。活動では海外への道具の寄付の手伝いを行いました。

受験は面接のみのため何度も面接練習をしました。とにかく自分の考えを自分の言葉でつまずいてもいいので自身を持って伝えましょう。

少しでも役に立てることができたら嬉しいです。頑張ってください。

千葉科学大学 危機管理学部医療危機管理学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
秀光出身

部活動やクラスで積極的に行動するのは 大変ですが推薦時の強みになります

■担任の先生の勧めで 大学進学を志しました

第一に私が大学進学を決意した時期は、3 年の 6 月でした。それまでは専門学校志望で大学に興味がなく、一切調べる事もせずに生活してきました。しかし、担任の勧めにより 6 月頃に大学志望へ変わりその日から探すようになりました。

私は空手道部に所属していたため、大学で続けるかまず悩みました。また、夢は消防士であったため法学部が一番だと決めつけて、なんとなくで大学を調べるようになりました。

そこで私の中で大雑把に 2 つの選択肢に絞りました。私は福島県から学校まで通学していたため、再び通学可能でありながら、空手の継続をして法を学ぶという進路がありました。

もう一つは、消防士の他に救急救命士という存在を認知しており、それに資格取得が必要でした。しかし、資格があることで消防士では出来ないその場の対応、処置範囲の拡大による現場の即戦力は、私にとって非常に魅力的な職業、資格でした。その資格取得が可能な大学は少ないですが、寮生活、1 人暮らし等を覚悟した上で取得に挑戦するという 2 つの選択肢が私の中で挙げられました。

■県外から 3 年間休まず通学 したことが強みになりました

どちらの選択肢にも大学はいくつか当てはまるものがある中、最終的に指定校推薦の枠があり、救急救命士の資格取得を目指し、将来的には消防士になる決断をしました。その決断をした時期は 7 月中旬で、学校の推薦締切日が 7 月下旬であったため、夏季休業日に来て何回も担任の先生に推薦文の添削をしていただきました。

結果は枠の中に入ることができ嬉しく安心をしました。幸いに推薦定員が 5 名と多かったためでもあると思いました。私の場合、部活動では空手道部主将を務めていたこと、クラスでは室長や副室長を務めました。再三ですが、福島県から通学の中でも 3 年間皆勤という以上の経験は私にとって大きな強みとなったと思いました。

私は、3 年生の 6 月から 7 月の中で人生を左右する決断をしました。正直進路で悩むと思っていませんでした。今何気なく生活が面倒、嫌だなと思っていても、結果として私のように強みに変えられると実感した事は日頃の生活がいかに今後に関わるか考えることが大切だと思います。私のように焦って大学を探す、調べるのではなく、今からでも少しずつ大学の選択肢を広くして自分が目指す大学に向かって精進していく事が最善だと思います。

城西国際大学 看護学部 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
川崎中出身

努力の積み重ねと先生方のおかげで 夢に一步前進することができました

■看護師として国際社会や 地域に貢献したいです

入学してまもない頃から、将来私は患者さんに寄り添えることのできる献身的な看護師になって、国際社会や地域に貢献できる人材になりたいと思い、城西国際大学への受験を考えていました。

そこで 1 年次から 3 つのことに力を入れました。1 つ目は定期テストへの取り組み方です。授業をしっかりと理解して苦手な教科は復習を何度もしました。通学中にシャトルバスの中で単語を勉強したり、放課後、シャトルバスが出発するまでの間に図書室で課題をこなしたり、スキマ時間を有効に使うように心がけました。また、ノートの取り方もわかりやすく工夫するようにしていました。2 つ目はボランティア活動です。夏休みなどの長期休みの期間を利用して地元のボランティア活動に積極的に取り組み、小さな子供からお年寄りの方まで幅広い年齢層の方々と交流しました。以前よりも地域の方との交流が深まり、自分自身のコミュニケーション力を高めることができました。

■家族の経験を参考に理想の 看護師像を明確にしました

3 つ目は進路研究です。私は看護師になりたいので、病院で行われている看護師体験の講習やセミナーなどに参加してみたり、看護師である母や祖母から体験談などを聞いて自分のなりたい看護師像を明確にしました。理想の看護師像を描くことでモチベーションがあがり、看護師になるという気持ちが強くなりました。また、これ以外でも、無遅刻無欠席で授業を励むため体調管理に気をつけ、挨拶・服装・普段の過ごし方など当たり前のことをしっかりすることが大切だと思います。

小さな努力の積み重ねと先生方からの力強いサポートのおかげで夢に一步前進することができ、後悔のない高校生活が送れたと思います。後輩の皆さんが勉学も遊びも充実し、悔いのない高校生活になることを願っています。

淑徳大学 コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
福島 尚英中出身

仙台育英での 3 年間で学んだことを これからの人生に役立てていきたいです

■大学でしっかり勉強して
立派な公務員になりたいです

進学しようと考えたきっかけは、高校 3 年間の中での学習を生かして学びたいと考えたことや、次の 4 年間で学びたかったこと、まだ知らない世の中のことを勉強してみたいと考えたからです。また、今の自分の力では就職という仕事をするにはまだ未熟だと思いました。だから大学でしっかりと勉強をして力を身につけたいと考えました。

私は、指定校推薦で受験して合格しました。最初は AO 入試やスポーツ推薦入試などを考えました。しかし、校内で指定校推薦をもらえたら確実に合格したいと考え、指定校推薦で受験しました。授業中の態度やテストの点数などを日々心がけるようになっていました。部活動でも日々努力しながら結果を求めて頑張りました。

私は将来公務員になりたいと考えており、この大学には、公務員になるための専門的な勉強が学べると知り、この大学を受験しようと決めました。

■志望大に挑戦できるよう
勉強を頑張りましょう！

私にとって高校生活は将来の自分のために何をすべきなのかや、子どもでも大人でもない間の時期で、とても難しい時期だと思いました。あと 2 年もすれば 20 歳になりとても大事な年です。だから、高校生活で学んだことを大学、今後の人生で役に立てればいいと思います。

後輩の人たちには、大学に進学か専門や就職などの選択肢がありますが、自分に合った道を進んでほしいと思います。また、行きたい大学に、成績があまり良くなって行けなくなってしまうのはとても嫌なので、毎日の授業や部活動を頑張ってもらい、行きたい大学などに行けたらいいと思います。

国際医療福祉大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
登米 中田中出身

受験したい大学について時間を掛けて 調べるとモチベーションが上がります

■自分が質問しやすいと思う 先生を見つけましょう

私が高校 3 年間で学んだことが大学進学への力になったことは確かだと思います。まず私がどのように高校 3 年間で過ごしてきたかを説明します。最初の 1 年間は仙台育英に慣れることに使いました。自分の学力がどのくらいの位置にいるのか、また、自分にとって授業が分かりやすい先生は誰なのか。それらのことは、仙台育英を利用する上で必要不可欠なことだと考えます。授業で分からないことがあって、分かりやすい先生に聞きにいけば大概のことは理解できると思います。したがって、最初の 1 年間は学校に慣れることが大切であると思います。残りの 2 年間は受験する大学について使いました。どこの大学を受けるのか。受験するときの科目は何か。受験する大学はどのくらいのレベルなのか。受験したい大学を調べることでその大学が何を売りにしてるのか。その大学に入ることによってどんなアドバンテージがあるのか。それらのことを知ることで自分のモチベーションが上がるため、受験したい大学を調べることは大切だと考えます。

■勉強に集中できる環境を 探すことが大切です

次に自分はどのようにして勉強していたかを説明します。私は自宅で勉強することが苦手でやる気が長続きしなかったため、図書館や高校の自習室などでなるべく勉強するようにしました。自分が勉強に集中できる場所を探すことも大切だと考えます。最後に私が受験したときに役立ったことを説明します。それは自分のやりたいことについて調べることです。私の場合は薬剤師を目指していたため、薬学について医療福祉について、そして、それらに関するニュースを調べました。そうして手に入れた知識は必ず大学受験をする上で役立つと考えます。なぜなら、小論文や面接を受けるのにそうした知識は必要不可欠であるからです。以上のことが高校 3 年間で学び、受験を通して感じたことです。

上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
多賀城第二中出身

小論文は受験では使いませんでした 1 年間学んで自分にプラスになりました

■スポーツや体のケアを学び
将来子供たちに教えたいです

私はスポーツが好きです。将来はスポーツ関係の仕事に就職したいと思い、そのためには大学でスポーツのことや体のケアなどを学び子どもたちに大学で学んだことを教えたいと思い大学に行くことにしました。

私は行きたい大学の指定校推薦をもらうことができました。少しでも自分のがんばりがあったから推薦枠をいただけたのだと思っています。テストの点数も大事ですけどその他にも、提出物を出すなど学校を休まず行く、部活動も休まず行く、問題行動をおこさないということが私は大事だと思います。高校のうちから提出物を出さず学校を休んでばかりでは、大学に行っても続かないと思っています。なのでまず、学校は楽しい所であることを思えばいいと思います。そしたら自然にがんばっていけると思います。私も学校は楽しい所だと思えたからこそ学校生活、授業、部活動を 3 年間がんばることができました。フレックスコースは学校設定科目と言った受験に必要なことを学べます。私は小論文が苦手なので小論文の授業を受けることにしました。やっているうちに小論文の書き方など少しずつ分かってきます。私の受験には小論文がなく面接だけだったのでほっとしていました。小論文がなくても 1 年間小論文を学んだことは自分にとってもプラスになりました。

私にとって高校は、あっという間で楽しい場所でした。まわりの友達も良い人やおもしろい人ばかりで一日一日があっという間におわっていきます。後輩たちも、高校で学生がおわってしまう人もいるわけですから、一日一日楽しく、時には友達と遊ぶこともまた一つの思い出になると思います。頑張ってください。

中部大学 工学部電子情報工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月技能開発コース卒
愛知 西春中出身

これ以上努力することはできないと 胸を張って言える位まで頑張りましょう

■自動車についてもっと 学びたいと思いました

元々、中学まで愛知に住んでいた私は愛知県内で就職したいと考えていました。そんな私が就職ではなく、大学進学を目指した理由は自分の好きな自動車についての事をもっと学びたいと思ったからです。

指定校推薦はほぼ確実に合格することのできる方法です。しかし、この推薦は限られた数少ない枠を勝ち取らなければいけません。そのため、学習面では中間考査や期末考査では高得点を取り、授業中はしっかりと先生の話聞きもらさないように気をつけたいといけません。さらに、生活面では 3 年間、体調管理に気をつけ毎日元気に学校に来るということも大切です。なぜならこの指定校推薦は学校から選り抜かれた生徒だけが受けることができるので授業態度や日々の生活意識なども見られるからです。

■自己推薦文の作成や面接は 意識する事が多く大変でした

受験の時とても苦労したのは自己推薦文と面接練習です。自己推薦文はなぜ自分はこの大学に入りたいのか、ここで何を学びたいかなどを考えて書くのですが、言葉遣いや文法などにも気をつけ 1600 字にまとめるのはとても難しかったです。面接練習では入室・退室の仕方、早口にならない、大きな声でハッキリとなど意識しなければならないことが多く、大変でした。

最後に、大学を目指している人にお願ひがあります。努力し続けて下さい。努力は人を裏切りません。かならず最後までやりきってください。これ以上、努力することはできないと胸を張って言える位に、やりきった後、達成感を得られるように。あなたの合格を心から願っています。

同志社大学 政策学部政策学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
秀光出身

計画を立てて時間を効率よく使うことで 好成績を維持し評定が上がりました

■課題に対し的確な解決策を 見出せる人物になりたいです

私が同志社大学政策学部政策学科への進学を志望した理由は、何かトラブルが発生した時に物事を客観的に捉え、本質を見抜き、的確な解決策を見出すことのできる人物になりたいと考えたからです。また、レベルの高い環境で自分自身を磨きたいと思ったことも理由の一つです。

私が選んだ指定校推薦という方法は、学校がその人物の普段の学校生活や成績を評価し、「その人物は、その大学を受験する資格がある人物か」を判断します。例えば評定や授業態度、部活動での成績などが評価されます。私は剣道部に所属しており、授業を受けた後はすぐに部活動をする校舎に移動するという生活を3年間続けました。部活動をする時間も、勉強をする時間もまわりより少ない時間でした。そこで私が行ったことは「計画を立てること」です。計画を立てて生活することで、時間を効率良く使うことができました。その結果、定期テストでは上位を維持し評定も上げることができました。部活動でも、全国大会へ出場という目標を達成することができました。部活動などでなかなか勉強にあてる時間が無い人は、計画を立てて生活することが大事なことだと思います。

また、評価の対象の中で特に大事なものは3年次の校内模擬試験です。このテストで点数を落とすと受験資格をもらうことは厳しくなります。私はこのテストに向けて先生から過去の問題をもらい、良く出る項目を中心に勉強しました。センター形式なので、センター試験の過去問を解くのもいいと思います。

■仙台育英は生徒を支える 環境が整っています

受験資格をもらってからは小論文対策や面接練習をくり返しました。小論文対策は社説や新聞を読み自分の知識を増やしました。また、私が受験した学部は色々なテーマで出題されるため、過去のテーマを中心に練習を重ねました。面接練習は何人かの先生にしてもらい、どんな質問がきても答えられるようにしました。このおかげで受験当日もあまり緊張することなく臨むことができました。担任の先生や部活動の顧問の先生、アドバイスを頂いた多くの先生方には本当に感謝しています。

最後に、仙台育英は生徒思いの先生方、勉強に集中することのできる勉強スペースなど、生徒を支える素晴らしい環境です。ぜひ、充実した学校生活を送ってください。

同志社大学 法学部法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
福島 小原田中出身

学びたい大学との出会いを求めて 京都研修に前向きに参加しましょう

■検察官になるという夢への 第一歩を踏み出しました

私は幼い頃から検察官になることが夢でした。この夢を実現するための第一歩が大学進学であり、希望大学へ合格した今、様々な面で支えてくださった仙台育英の先生・先輩方にはとても感謝しています。

私が行きたいと思える大学に出会ったのは京都への研修旅行中でした。当初は寺巡りと学校見学だけの内容に不満を感じていました。ですが、実際行ってみると「ここで学びたい!」と思える大学に出会うことができ、大変充実した時間を過ごせました。後輩の皆さんにはぜひ、多くの出会いを求めて前向きに行って欲しいと思います。

私が指定校推薦で合格するためには、目的が明確であること、大学卒業後の自分を言葉で伝えられること、そして、細かいこと全て当たり前のことは無意識に出来ることが必要だと思います。これらが出来れば自然と周囲の人の信頼も得られますし、推薦に必要なものは同様に満たされると思います。

■選抜クラスで一日中勉強に 励んで良かったと思います

私は 2 年に上がる際に選抜クラスから落ちました。自分に自信がなくなって成績も落ちたからです。私は 2 年の春休みから無心に勉強をし、3 年は再び選抜クラスになりました。その際担任の先生が「よく頑張った」と言ってくださいました。その言葉をかけていただいた時は、選抜クラスになることで再び苦しい 1 年間が始まるのかと思っていました。しかし、時間が経って過去を振り返る余裕が出てくると、良かったなあと。あのとき、朝も休み時間も放課後も休日も何を差し置いても勉強してよかった。何も出来ない自分に向き合って良かったなと初めて過去の自分を認められました。果林先生、ありがとうございました。

高校 3 年の終わりになり、今の私が思うのは、未来の私と私の心を支えるのは、過去と今の私が持てる全てで、嫌いな自分と真っすぐ闘ったという記憶、それだけだと思います。自分は自分で強くする。後輩の皆さん頑張れ!

同志社大学 商学部 商学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
矢本第二中出身

将来やりたいことを明確にすれば 勉強のモチベーションも上がります

■得意なこと等を書き出すと 目標が明確になります

私は高校 1 年の文理選択で理系を選びました。ですから、2 年生の時には理系の授業を受けていました。しかし、私が進学する学部は、文系学部である商学部です。このように進路を決める際に、もともと考えていた進路と全く違う進路を目指したいと思うことがあるかもしれません。今回私は、自分の進路を決めるときに大事だなと思ったことについて述べていきたいと思います。

まず 1 つ目は、将来、自分が本当にやりたいことを明確にするということです。文転する前の私は、医学部に行って医者になりたいという目標はありましたが、なぜ自分は医者になりたいのかがわからなくなり、勉強のモチベーションが下がってしまった時期がありました。それではいけないと思い、自分が将来やりたいことについて考えるようにしました。しかし、これまで社会にはどのような職業があり、どのようなことを行っているのかについて調べた経験がなかった私が、自分のやりたい具体的な職業など思いつくはずがありません。そこで私は、自分が好きなこと、興味があることを紙に書くことにしました。普段、空き時間にしていることや、調べたりすることについてなので、すらすらと書き出すことができました。次に、自分がこれまでたくさんの経験をしてきた中で、頑張ったことや得意なことについて書き出すことにしました。私は、中学生の時に生徒会長としてたくさんの行事の計画をしたことや、高校の短期ハワイ研修で学んだ、相手にしっかりと自分の意見を伝えることなどについて書きました。そして、紙に書いたことをまとめてみると、私は将来、会社の経営を行いたいのだということに気がきました。そのためにも、大学ではマーケティングについて学びたいと思うようになりました。このように、自分が興味のあることや得意なことなどについて書き出してみると、自分が本当にやりたいことが明確になり、そのことを実現させるために学ばなければいけないこともはっきりしてきます。

■先生や両親に進路について 相談してみましょう

また、自分の進路を明確にする上で、もう一つ大事なことがあります。それは、しっかりと先生や親に相談することです。先生や親は、自分たちよりもたくさんのことを経験しています。ですから、相談することで、私達の目標を実現させるために、何をしなければいけないのかなどの具体的なアドバイスをしてくれます。また、人に自分がやりたいことについて話すことで、自分の考えをまとめることができます。ですから、いくら自分の進路が明確であったとしても、先生や親に話してみしてほしいと思います。

私は推薦入試を通して、自分の将来についてさらに深く考えました。自分の目標が明確になったことで、勉強のモチベーションも上がり、勉強の効率も良くなりました。ですから、たとえ一般受験を受ける人であっても、自分の将来と向き合うことは大切なことだと思います。しっかりと自分のやりたいことを見つけ出すことで、きっとみなさんの勉強のモチベーションも上がるはずです。進路実現に向けて、頑張ってください。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

仙台育英の恵まれた環境で自分を高め 人生の目標を見つけてください！

■語学習得に繋がる活動に 積極的に取り組みました

私は 1 年半前に仙台育英に編入学した中国人留学生です。最初は非常に不安と緊張感を感じました。留学当初は、大体日本語の勉強と日本での生活に順応できるように、先生や周りの人と交流できるように努力しました。

私はたくさんのことに興味があるので、大学進学を考えたときとても悩みました。家族や先生、友達のアドバイスと最も重要な自分のやりたいことをしっかりと考え、最後は自分が好きな外国語を使い、異文化に関する国際的な学部学科に行きたいと決心しました。

外国語コースを選んだ理由は、将来の自分の職業や人生に有意義だと考えたからです。指定校推薦の資格を取得するために、志望大学の条件によって、通常の授業をしっかりと勉強し、授業態度はもちろん、定期考査で高得点を取得することを目標にしながら、平常点を重視し、自由時間を使って効率よく勉強をするためのスケジュールを意識して受験勉強に取り組みました。特に私の場合は外国語重視なので、英語と日本語を重点的に、計画的に学んで色々な検定試験にチャレンジしました。

私は日常生活で英語をたくさん使ったほうが良いと考え、できるだけ英語のネイティブとたくさん交流し、IB の Visual Arts の授業にも参加し、宮城県のスピーチコンテストにも参加し、奨励賞を受賞するなど、語学を身につけるために、様々な活動に積極的に取り組みました。さらに、私は自己表現力を高めたいと考え、孔子課堂の除幕式や広東東外語大学公演の司会をしたり、クラスでは室長を務めたりするなど、多くの行事に自発的に参加するようにしました。

■夢に向かって努力する 大切さを高校で学びました

指定校推薦の内定が出てからも、小論文と面接の準備が大変でしたが、担任の先生は小論文対策や面接の練習など、一人ではなかなかやりきれない部分や見落としやすい部分を丁寧に指導してくださいました。私が取り組んだ具体的な対策としては、時事問題をまとめるノートを作ったり、グローバル化や国際化、コミュニケーション、情報社会、異文化等、私の志望大学学部学科に関連するキーワードである本を読んで、どれか一つの記事のテーマについてディスカッションしながら深く考えたり、面接に向けてこの学部の利点や、この学部で学びたい理由、入学してからやりたいこと、自己 PR 等について相手に分かりやすく伝えるためにはどうやってアウトプットしたら良いかななどを毎日考えました。

私が、仙台育英で教わったことの一つに、「自分の夢に向かっての大切さ」があります。目標や、してみたいことがあればまずはやってみます。失敗を恐れずにチャレンジして、失敗してもその中で得られるものは必ずあるので、何事にも積極的に、そして悔いのないように経験しましょう。大変さもありますが、一方で楽しみながら、この恵まれた環境の中で自分を成長させ、人生の目標を見つけてください！

立命館大学 理工学部 物理科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
山下中出身

なぜ受験するのかを意識することで モチベーションを維持できます

■物理学を学びたいという

思いがやる気に繋がりました

私は、指定校推薦で志望大学に合格できました。この受験の経験からこれから受験するであろう後輩にいくつかアドバイスをしようと思います。

まず 1 つ目のアドバイスはなぜ大学受験をするのかももう一度考えることです。私の場合は、物理学をもっと深く学びたい、というのが受験する理由でした。なぜこのようなアドバイスをするのかといえば、この理由が私の受験に対する大きなモチベーションになったからです。今勉強していることが大学で学ぶ物理学に必要なと思えば、がぜんやる気がでました。理由は人それぞれだと思うしどんなものでもいいと思うが、なぜ受験をするのかを意識することが大切だと感じました。

2 つ目のアドバイスは、できるだけ早いうちから勉強をがんばることです。これは指定校推薦に限ることではないが、指定校推薦での合格を考えるならば高校 1 年生からまじめに勉強するべきです。このように考えるには、理由が二つあります。一つは人間が短い時間にできることには限界があるからです。例えば、テストに一夜漬けだけで挑む人と毎日こつこつと勉強してきた人では、どちらが良い点数をとるかは明白です。もう一つは、一般入試でも合格可能な学力を計画的につけるために余裕をもって準備すべきです。切羽詰まった時というのはたいてい焦って判断が鈍るので、余裕のある計画をたてるべきです。

■不安になっても勉強を

続けるべきだと思いました

3 つ目は、受験の不安にどう対応すればいいかです。私は不安を感じやすいタイプなので特に苦労を強いられました。勉強をしていると、こんな勉強をされていていいのか、もっと効率的な方法があるのではないかと不安だったし、本末転倒になりますがそれが原因で勉強が手につかないこともありました。この状態を改善するために試行錯誤した結果、不安なままでも勉強を進めるべきだということに至りました。当たり前ですが、勉強をしなければ状態は悪くなるばかりだし、不安を解消するための時間をもったいないからです。どうしても不安が晴れなければ、不安のままがんばればいいし不安であっても勉強さえできれば合格できるでしょう。しかし、中には受験ノイローゼのようになってしまう人もいるかもしれません。一人ではどうしようもないと感じたら、家族や友人、学校の先生などに相談することも忘れないでほしいです。

4 つ目は、仙台育英を活用することです。わからないところはきちんと先生に教えてもらいに行きましょう。授業をまじめに受けるなど最大限に学校を利用し、時間を有効に使うべきです。

これらのアドバイスがどれほど役に立つかはわかりませんが、後輩が志望校に合格するための一助になればと思います。

龍谷大学 文学部日本語日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
岩手 花巻北中出身

不安があっても最後まで努力していれば 先生方は評価して下さいます

■大学進学に向けて今自分が すべきことを考えましょう

憧れの京都で文学について学びたい、と考えこの大学を志望しました。さらに、幼少から続けている剣道を充実して活動できるという点からも志望理由につながりました。推薦入試では、ちょっとしたきっかけから興味を持ち、最終的には絶対にこの大学に入りたいと思う理由を明確に持つことが重要だと思います。なぜこの大学でなければならないのか、その大学で何がしたいのか、等を自分自身が理解できていれば良いと思います。

指定校推薦の指定を受けるためには、自分の努力している姿を先生方に認めてもらう必要があります。私は高校3年間剣道部で毎日練習しながら、特別進学コースで勉強に励みました。剣道と勉強の両立は大変でどちらも周りに追いつくことに必死でしたが、あきらめずに努力した結果、先生方にごんぱりを認められ、指定校推薦で合格することができました。部活動と勉強の両立が大変な人、成績が中々伸びず悩んでいる人、たくさん不安なことがあると思いますが、最後まであきらめずに努力していれば、先生方はちゃんと見てくれているので評価してもらえるはずです。ただし、いくらがんばっていても授業態度が悪かったり、問題を起こしたりするとせっかくの努力が無駄になってしまうので日々の行動には気を付けるように心がけたほうが良いです。

これらのことを意識して行動できれば、自己推薦文を書くときにも自分の今までしてきたことを書くだけなので、簡単だと思います。受験時も、志望理由、学びたいことを明確にすれば面接は大丈夫だと思います。小論文は書き方や要点のまとめ方をきちんと学んでおいたほうが良いです。大学進学について、まだ実感が湧かない人や不安な人もいますが、あせらず今自分がすべきことを考え、高校生活を楽しんでください。

いわき明星大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月技能開発コース卒
仙台 中田中出身

少しの気の緩みが未来を左右するので 1 日 1 日を大切にしましょう

■アットホームな雰囲気 惹かれ志望大を決めました

私が志望大学を決めたのは、1 年生の春休みでした。何故これ程早く決まったのかというと、何気なく参加したオープンキャンパスがきっかけでした。理系大学特有のカリカリとした雰囲気の学内ではなく、先生と生徒さんがとても仲良くお話をしていて、他愛もない話や私生活の悩みまで色々な話をしていました。その姿を見たとき私は、「この大学で薬学を学び先輩方のような楽しい学生生活を送りたい」と決意しました。

それからは指定校推薦を見据え、まずは推薦の基本となる欠席日数 0 を目指しました。他にも、ワープロ検定 2 級や情報処理技能検定 3 級など、さまざまな検定にも挑戦し、クラスの室長を務めるなど、着実に推薦への準備を整えてきました。

■逃げ出したくなった時も 強い気持ちで乗り越えました

しかし、自分の気持ちとは裏腹に、体が言うことをきかないときもありました。欠席日数 0 というのは、当たり前のように難しかったです。

他にも、体調が悪かったり、推薦枠を勝ち取らなければならないというプレッシャーだったり、色々な重圧から逃げたくなった時期が何度かありました。そのような辛い時に私を支えてくれたのは、私自身の気持ちでした。過去の自分によってここまで努力して積み上げてきたものがあるからこそ、ここで逃げるわけにはいかないという気持ちで、私を引き締め直してくれました。

受験で一番大切なのは自分の気持ちです。過去がどうだろうと気持ちがあれば誰でも変わることができます。思ったら即行動することも大事です。受験の対策として、例えばオープンキャンパスの参加も、1 回だけではなく何度も参加し、その大学の校訓、授業の見学、学校生活などを隅々まで調べましょう。

度重なる気の緩みが、未来を左右します。1 日 1 日を大切に、自分を信じて頑張ってください。

東北学院大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
中野中出身

何でも挑戦し試験を頑張ることが 推薦合格につながります

■志望理由書の提出が遅れ 気が遠くなるほど大変でした

私は、3 年生になるまで指定校推薦での受験は考えていませんでした。3 年間、委員会や部活動に入っていなかったため、アピールすることがなかったからです。しかし、3 年生になり、受験のことをじっくりと考えたときに、志望校に行くための手段には全て挑戦しようと決めました。また、学校内での活動には参加していませんでしたが、2 年生の時にアメリカのニューヨークのホーレスマン高校でのワークショップに参加したことがあったため、その経験を 1 つのアピールポイントにしました。それ以外にも、英検の資格や海外経験や英語が好きな気持ち、絶対に入学したいという強い思いなどをアピールしていこうと思いました。しかし私は、校内選考のための志望理由書の提出期限を把握しておらず、期日を過ぎてから先生に知らされたのです。でも、期限を過ぎてでも良いから 1,600 字書くようにと言われ、それに甘えて必死で 1,600 字の志望理由書を完成させました。数日で 1,600 字を書くのは本当に大変で、先生や母に助けってもらっていても心が折れそうでした、気も遠くなり、諦めかけたこともありましたが、周りの人達が本気で応援してくれたことで、何とかモチベーションを取り戻すことができました。校内で選ばれたと聞いたときは全く信じられず、先生に何度も聞き返したことを覚えています。既に気持ちは AO 入試に向いていたし、特別進学コースで過去に選ばれたことがないと言われたので、他のコースの優秀な人に持っていかれると思っていました。

■出席率と模試の結果で 校内推薦を頂きました

あとで先生に、なぜ自分が選ばれたのか聞いてみたら、ニューヨークでの経験や選考対象の校内模試で成績が良かったこと、3 年間の出席率が高いことではないかと言われました。出席率については、自分でもよく頑張ったなと思っています。校内模試についてはただの偶然でしたが、ニューヨークでのワークショップは自分の中でも夢中になった大切な体験になりました。大学受験を考えている方々に何かアドバイスするとすれば、1 つは「色んなこと、たくさんのにチャレンジする」ということ、2 つ目は「テストは頑張っておく」ということです。私としてはこの 2 つを達成できなかったことが少し悔やまれるので、みなさんにはぜひとも頑張してほしいです。

東北学院大学 文学部 総合人文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
大河原中出身

自分に甘えることなく高校生活を過ごし 第一志望の大学に合格しました

■東北学院大学合格の目標を 3 年間貫き通しました

指定校推薦で受験しようと思った理由は、進学希望の大学の指定校推薦枠があったからです。高校に入学した直後から東北学院大学を第一志望としていましたが、この思いを 3 年間貫き通すことで校内推薦を取ることができました。指定校推薦の条件は、推薦条件を満たしていることです。具体的には評定、出席日などがあります。それと校内模試で良い順位を取れば有利となります。東北学院大学は評定平均値が 3.8 以上、そして欠席日が 15 日以内でなければ推薦条件を満たすことができません。評定を上げるには定期考査で良い点数をとること、授業態度を良くすること、遅刻せずに登校することが必要です。私はいずれも意識して高校生活を過ごし、校内推薦を取ることを目指しました。校内模試では高校受験の際に、たくさん勉強したことが大いに役立つこととなりました。もちろん校内模試に向けての勉強はしましたが、それ以前に知識を蓄えておくことも大切だと思います。私はこのようにして高校生活を過ごし、指定校推薦で合格できたわけですが、正直なところ学校に行きたくないと思ったこともありました。理由はどうであれ、同じような思いをしたことがある人は多いと思います。しかし指定校推薦で合格するためには、このような思いを乗り越えていかなくてはなりません。つまりは指定校推薦を目指す人は、自分に甘えることなく高校生活を過ごすことが大事です。

高校での 3 年間は思ったよりも短く感じましたが、この 3 年間に有意義に過ごすことができ、そのことが自分の希望の進路を実現することに繋がったと思います。

東北学院大学 文学部 歴史学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
石巻 山下中出身

自分を大きく成長させてくれる仲間に 出会い忘れられない 3 年間になりました

■小学校の修学旅行を機に 歴史に興味を持ちました

私は小さい頃から日本の歴史が好きでした。そのきっかけは小学校の修学旅行で福島県会津若松へ行ったとき、記念館や資料館を見学し、昔の人の考え方や残したものなどがとても素晴らしいと感じたからです。会津若松の有名な歴史的史実というと幕末に起きた戊辰戦争の中の会津の戦いがあります。私が行った記念館にはこの戦いの史料が多く残されていました。一見、現代には何一つ関係ないように思えますが、その史料の中には手記や手紙も多く展示してありました。内容はほとんどが今後の日本をどう新しくしていくか、というものでした。今、私たちが暮らしている現代社会ですが、最初からこのように平和になったわけではありません。昔の人が意見を交換したり時には争ったりしたうえで生まれたものだとは私は考えます。このことから私は、歴史をさらに深く学んでみたいと思うようになりました。

修学旅行以来、年に一度は会津若松へ行って自分でも記念館や資料館を見て自主的に当時の歴史などについて調べるようになりました。

■生徒会執行部を通して 責任感が高まりました

高校入学後、大学進学を目指していたので英進進学コースの AJ クラスに所属しました。AJ クラスでは 1 年生の頃から他のクラスより授業数が多く、より細かい授業をすることができたと思います。また、このクラスでは生徒 1 人ひとりが志望大学の現役合格を目指しており、クラスメイトどうし励ましあいながら日々勉学に励んでいました。そのこともあってか、テスト前だけではなく常に自分の苦手とする科目の分野を無くすように勉強することを心がけられるようになりました。私の勉強法としては、授業で習ったところをもう一度自分なりにノートにまとめ直してみるということをしていました。暗記科目などでもこうすることによってしっかりと頭に定着するので自信を持ってテストに臨むことができました。

また、私は生徒会執行部にも所属していました。友達に勧められて入部したのでその活動がどのようなものか初めはよく分かりませんでした。入部したこの頃から学園祭準備などの仕事がきて生徒会とは学校全体を支え、その運営をしていくものなのだと理解しました。その仕事は行事の進行や設営といったもので夜遅くまで学校に残ったりと簡単な仕事とはとても思えないものでした。このようなことを何日かした上で迎えた学園祭本番で成功したときの感動は今でも忘れられません。コースや学年関係なく活動し、協力したことで自分の行動に対する責任感を養われたように感じます。

このように互いを励ましあって目標に向かっていったクラスと生徒会執行部の活動を経験したおかげで自分に自信を持って勉強し、第 1 希望の大学へ合格することができました。私の中で仙台育英で過ごした 3 年間は自分を大きく成長させてくれる仲間に出会えたりととても充実した時間を過ごすことができました。この 3 年間で得たものは大きく生涯忘れられない時間となりました。

これから受験に挑むみなさんも自分を信じて一生懸命努力をすれば必ず目標は達成できるので精一杯頑張ってください。

東北学院大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
大沢中出身

仙台育英で手にいれたものは とてもたくさんあります

■仙台育英に入学し勉強への 取り組み方が変わりました

高校 1 年生の時に大学進学を目指した理由は公立高校の受験を落ちてしまい、両親に申し訳ないという思いから。大学は良い大学にいかなくてはと思いました。

しかし、仙台育英に来たおかげで私は腐らずやっていけました。なぜなら、私は中学時代、勉強というものをあまりしてきませんでした。そのため、勉強のやり方などに疑問を抱いてました。ですが、この仙台育英のフレックスコースはとても丁寧に授業を進め、わかりやすい内容で教えてくれました。そのこともあり、私は中学時代よりも勉強をしっかりと取り組み、テストに挑んだ結果、ベスト 5 位に入ることができました。その結果、私は努力は実るのだと感じました。それからはノートの取り方や勉強の仕方などを工夫していきました。そして、高校 3 年生で初めてテストで 1 位をとることができました。このように 3 年間、腐らず勉強したおかげで私は指定校推薦をとることができました。仙台育英で手にいれたものはとても多いです。その中でも私は礼儀の大切さを学びました。そして、私はまだまだ社会に出るには学ばなくてはならないことがあるのだと思いました。

■社会に出るために大学で 色々学んでいきたいです

高校 3 年間で過ごすうち、大学に進学したいという気持ちはますます大きくなるばかり。ですが、前のように両親に申し訳ないと思っているのではなく、現在は自分自身の勉強がまだまだ足りず、社会に出るためにもっと色々なことを大学に行って学びたいという気持ちが大きいです。

私のようにあまり勉強が得意でなかった人も高校に来て変わったという人が多いと思います。それは、色々なことが関係しているでしょうが私は強く変わりたいと思える人であればいくらでも変わることはできると思います。どんな場所でも本人のやる気次第でいくらでも変わっていくのだと私は学びました。だから諦めず腐らずいることが大切です。

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
南小泉中出身

目標を見つけたら夢を現実にするために とにかく走り続けましょう！

■自分自身を磨く向上心に 合格の鍵がありました

はじめに私は合格までの 2 年半を諦めない意志と向上心を心掛けることにより、東北学院大学経済学部共生社会経済学科の指定校推薦に合格しました。そこに至る合格体験をここに記します。

私がこの学科を目指した理由は、高校 1 年の時に東北学院大学のパンフレットで見た、共に生きる発想に基づき新たな経済が学べることに強く興味を抱いたからです。そこから興味を展開するために、ウェブサイトで情報収集やオープンキャンパスに参加すること、図書館にて関連図書を調べるなど様々なことを実践しました。ウェブサイトでは大学に関する情報を集め、OC では先輩方に共生社会経済学科に関する質問もし、他にも新書などを読み込むことにより理解を深めていきました。そこで、このままでは留まらず様々なことに挑戦していく向上心が私にはあります。私が思うに、己を磨き上げていく向上心に合格の鍵があったのです。

■部活動も挫けず前進し 好成績を残しました

私は高校 3 年間、ライフル射撃部に所属していました。この競技は 10 メートル離れた的に約 5 キログラムの銃を構えて光線をより中心に当て、合計の点数を競技です。ここで私は、いつも下から数えた方が早い順位にいました。しかし、諦めることなく己を磨き続け、高校 2 年の冬の県大会で初の 3 位に入賞しました。さらに、高校 3 年ではインターハイへ出場することもできました。このように挫けることなく前に進んだ結果、私は勝利を手に入れました。他に検定試験も受け、英語検定準 2 級やワード検定準 2 級などを取得しました。

そして遂に推薦文を書くときがきました。これまでの経緯と想いを、推薦文に記し結果が発表されました。合格を知った私は驕ることなく最終試験に向けて努力し、合格しました。

最後にここまで読んでくれた後輩諸君、高校生活はこのようにすぐ終わります。そこで私は様々なことに対する向上心こそ至高だと考えます。求めるものを見つけたのなら、兎に角それに突っ走る。私は走る、夢を現実にするべく走るのだ。あなたならどうする？

東北学院大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
山下中出身

部活動や行事など充実した高校生活を 面接で大いに生かすことができます

■校内模試の好成績を受けて 推薦入試挑戦を決めました

私が大学進学について深く考え始めたのは高校 2 年生の夏くらいでした。私はやりたい事や将来についてあまり考えておらず、高校卒業後のビジョンが全く浮かんでいませんでした。しかし、いつまでもそのような宙ぶらりんな状態にいることもできず、面談で親や先生と話し合い、ある程度の目標が決まりました。私の場合は県内の大学で実家からの通学が必須条件だったのでおのずと志望大学も絞ることができました。しかし、やりたい事が決まらずとりあえずで学部を決めました。その学部で何を学べるのかなど全く知らない上での選択でした。その時点で推薦入試の話も耳にはしてはいましたが、推薦をもらうことができる人は学業優秀で素行も良い一部の限られた人だけだと私は考えていたので自分には関係のない事だと思い、推薦入試で大学に入ろうという気は毛頭ありませんでした。その気持ちは推薦に関係する校内模試の結果が届くまでは揺るがなかったものでした。ですが、校内模試の結果を見てみたところ、さほど悪くなくむしろ自分にしては上出来な方だったので推薦を使うことができるのではないだろうかと思い、一縷の望みにかけてみることを決めました。ここまでの内容でも分かるように私が推薦を使うと決めたのは思いつきで気まぐれだと自分では思っています。しかし、校内模試の結果だけで決まったわけではなく評定であったり普段の行いも含まれた上での決定だったので日頃の積み重ねが良かったのかなと思いました。

■3 年次は短いので一日も ムダにせずに過ごしましょう

推薦がもらえることになりすぐに受験対策が始まりました。私の試験内容は小論文と面接だったので小論文の過去問を解いて出題形式などを覚えしました。面接練習は 3 回してどのように質問をされても答えられるようにしました。実際の試験では練習した内容のほとんどは聞かれませんが、正確にハキハキと受け答えをすることができました。部活動に入ったり、行事に積極的に参加することでよりいっそう充実した学校生活を送ることができるので学校生活で学んだことを話すことができ、面接時の良いネタになります。当初は目的も目標もなく学部を決めたりしていた私ですが、推薦を使うにあたって今一度進路について深く考え直し、当初の志望学部とは違う学部に目的と目標をしっかりとって進学することを決めました。3 年生になると受験ムードが一気に強まり、模試ばかりの日々で嫌気がさすこともあったけど卒業まで数えていくと思った以上に日数がなくて時間が過ぎていくのがはやく、やり残した事がないか探す日々になります。推薦で合格がはやめに決まると余裕が出てきて油断しがちになりますが、きちんとした大学生活を送るためにも気を引き締め直さねばなりません。あっという間に過ぎてしまう高校生活を充実させるべく、一日たりともムダにすることなく節度を守りつつエンジョイしましょう！ 私はそれが一番大切なことかなと考えます。Enjoy school life.

東北学院大学 工学部 機械知能工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月技能開発コース卒
亘理中出身

目標を持って入学することの大切さを オープンキャンパスで実感しました

■授業を真面目に受けた結果

先生に進学を勧められました

私は過去のことを話しながら、どうしてこの東北学院大学を志望に至ったのかを話していきたいと思います。

中学生の時の私は、体が弱く、学校を休みがちだったため、高校に入ったら、まず始めに、そういったダメな所を一つずつ変えていく事に努力をしました。勉強の面は、授業を欠かさずきちんと受けた結果、自ずと難しい課題もできるようになっていき、クラス順位も自慢ができるほどまで上位を取れるようになりました。何事も真面目に努力し続ける事の大切さを、この経験で学びました。

そのような事もあり、1 年生の三者面談の場では、指定校推薦で大学合格も夢ではないという話まで発展して行きました。もとはといえばこの仙台育英の技能開発コースに入った理由としては、就職率が良いというところが強みだと思い入ったわけでしたが、就職しか考えていなかった私にとって大学に入るというのは夢にも思っていなかったことでした。だが、中学であんなに親を不安にさせてしまった分、この大学に入って安心させてあげたいという心境の変化もあり大学進学を目指すことに決めました。

■震災時の自分を思い出し

進むべき道が見つかりました

高校生活の 2 年目に入り、大学というところはどういうところなのか、と疑問に思い、オープンキャンパスに参加することにしました。この経験は今思い返せば本当に重要な経験だと思っています。大学はさまざまな学科、さまざまな先輩方、さまざまなサークル、心が躍るような事に満ちていました。しかし、また、同時になにかやりたい事がなければ続かないところだという事もその日知りました。

そこで自分の将来なりたいものを探し始めました・まず、自分の趣味を職業にしてはどうかと考え、ゲーム会社に入ってゲームを作りたい、のような小さな事でも、何になったら楽しいだろうかと考え始めるようになりました。だがどれも続きそうになく、いったい自分は何ができるかと不安ばかりが募って行きました。

そうしたある日、友達に海に行こうと誘われ、行ってみる事にしました。だがそこは思っている海と違い、荒れ果てた悲惨なものでした。今もはっきり覚えています。いや忘れるわけがありません。東日本大震災。復旧はわずかにされていたものの、そこにあるのは人の影すらない寂しい海でした。その時、東日本大震災に私は何をしていたのかを鮮明に思い出しました。それは何もできずただ見ている事しかできない自分でした。その時何もできなかった私の気持ちが痛いほど胸に突きささりました。

この事が理由で将来やりたい事を私は見つけられました。「自分の知識で人の役に立てられるような、自分自身に胸を張れるようなそんな自分になる」という強い意志が生まれました。そしてその思いを叶えるために、私は東北学院大学工学部で災害時にも活躍できるロボット工学について学ぼうと決めました。

参考にできるかどうか分からないけれど、一つ言えるとしたら、何でも挑戦してみてほしい。そうすれば、何かきつと答えが出てくるから。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
玉浦中出身

指定校推薦を利用して第一志望に 合格できるチャンスを増やしましょう

■受験方法に関わらず 授業を受けましょう

私が指定校推薦を利用しようと思ったきっかけは、大学に合格するチャンスを少しでも多く増やしたかったからです。指定校推薦の存在を知ったのは 3 年生になってからでした。それまで私は、一般での大学合格を目指していたのですが、指定校推薦という受験制度があると聞いてぜひとも受けてみようと思ったからです。

指定校推薦を受けるためには、常日頃学校に行くことにも気を付ける必要があります。出席日数が足りなかったり、評定が届いていないと指定校推薦を受けることができないのです。今まさに指定校推薦を受けてみようと考えている人もそうでない人も、キチンと学校に来てしっかりと授業を受けることをオススメします。

■小論文は書くことに 慣れるのが第一歩です

指定校の受験をするためには、まず自己推薦文を書く必要があります。自己推薦文は、指定校推薦を受ける中で一番重要になっていきます。自己推薦文では、自分がどうしてこの学部に行きたいと思ったのかを、文面で表す必要があります。しっかりとした理由を書き、どうしてこの学部でなければならないのか、この学校でなければならないのかを具体的に書ければ、より良い自己推薦文を書くことができます。次に指定校推薦で重要になるのは小論文です。試験当日は、60 分という短い時間で問題を理解し、自分の意見を決められた字数でまとめる必要があります。小論文は、試験が始まるまでどんな問題が出るのかわからないため、小論文の練習としてやるべきことは小論文を書くことになれることです、自分が受ける学部の過去問を実際に時間を決めて書いてみたり、小論文の基本的な書き方を自分で調べておくと対策になります。自分が受ける学部の専門知識を調べておくとさらに対策になります。

まだ指定校推薦を考えていない 2 年生の皆さんも、受験はまだ先のことと考えている 1 年生の皆さん、早くから受験について考えていけないことはありません。皆さんには、この体験記を読んで少しでもチャンスを広げてほしいです。そしてこの体験記が、指定校推薦を受けようと思っている人達の役に立てばいいと思っています。2 年生の皆さんは、これから受験に向けて忙しくなると思いますが、一生懸命頑張ってください。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
多賀城中出身

1 年次と 2 年次の学習はそれぞれ その年にしっかり身に付けましょう

■在学中に専門分野を選択 できる点に惹かれました

東北学院大学工学部環境建設工学科を志望したのは、環境と土木の分野に進むか建築の分野に進むかを学びながら分野選択できるという点に魅力を感じたからです。学びながら分野選択ができる建築関連の大学は、県内で東北学院大学しかありません。このように、その大学にしかない特色を見つけることが、指定校推薦のポイントとなります。その大学にしかない特色を見つけることで、校内選抜の際に書く自己推薦書や願書に書く志望理由が書きやすくなると思います。

■教科書の問題に繰り返し 取り組みましょう

私が指定校推薦を考え始めたのは 3 年生になってからです。1 年生、2 年生の際は、頭の片隅にもありませんでした。そのため、部活動や実行委員などといった活動は一切してきませんでした。アピールすることが少ない私は、学力でそれを補わなければいけませんでした。その際に救われたのが、1 年生、2 年生の際の成績です。私は、3 年間苦手教科の予習復習を欠かさずに行ってきました。特に 1 年生、2 年生の際は力を入れていました。私は、この予習復習が結果に繋がったのではないかと思います。予習復習は教科書を中心に行いました。教科書に載っている問題を確実に解けるようになるまで問題を解き直しするだけで力はつきます。定期考査は教科書から出題されます。また、センターの問題も教科書をやっていれば分かる問題が多くあります。なので指定校推薦だけでなくセンターで受験を考えている方にも、問題集だけでなく教科書に載っている問題を解くことをオススメします。

大学を受験するにあたって、1 年生、2 年生の成績がとても大切になってきます。なので 1 年生で習ったことは 1 年生のうちに、2 年生で習ったことは 2 年生のうちに消化していくことが大切です。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
七郷中出身

積み重ねた努力は必ず発揮できます 最後まで気を抜かず頑張りましょう

■空き時間を有効に使い

自己推薦文に取り組みました

私は今回、指定校推薦で東北学院大学工学部環境建設工学科を受験し、合格しました。

指定校推薦は、それぞれの学科によって学校から推薦される枠が決まっています。その指定された枠の中に入るためには成績と自己推薦文で勝負するしかありません。私は自己推薦文で強みとなる部分が多かったので特に力を入れました。自己推薦文は 1500 字程書きますが、私はそれを 10 回程書き直してやっと納得のいく文が完成しました。それまでに国語の先生や担任の先生、そして親にも見せ添削してもらいました。このとき、このくらいやらないとダメだと実感しました。放課後や昼休み、休日を有効に使って悔いの残らないように精一杯取り組みました。

■小論文と面接の対策は

過去の出題を参考にしました

大学を受験する時には、小論文と面接が必要となってきます。小論文の対策としては、過去問からどんな傾向で問題が出題されているかを理解し、最近のニュースでそれに近いものをピックアップし、自分なりにまとめていました。過去問がどんなに難しくても、要所要所を押さえるだけでも違ってきます。簡単に箇条書きでまとめるだけでも違うので何もしないで終わることだけはしないで下さい。面接は、去年の先輩方がどんな質問を大学が分からされていたのかを確認しました。また、それだけでなく自分なりに考えた質問や先生との練習でされた質問をしっかり答えられるようにしておくことも大事となってきます。志望理由や大学でどんなことをしてこんな風にしていきたいなど具体的に考えて言えるように練習しておくとなおさらよいと思います。練習でしてきた努力は本番で必ず発揮できると思うので、決してめんどくさがったりせず最後まで気を抜かず頑張ってください。半端な気持ちで臨むのではなく、何事にも全力を尽くしてほしいと思っています。悔いが残らないよう、志望大学合格のために精一杯頑張ってください。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
利府西中出身

成功するか否かではなく多くのことに 挑戦すること自体に意味があります

■大学でもラクロスを
続けたいと思っています

東北学院大学工学部情報基盤工学科に進学したいと思った理由は、大学でもラクロスを続けたいと思ったからと情報分野について学びたいと思ったからです。

私は早い時期に進路を決定し、部活動をしたいという思いがあり指定校推薦を選択しました。学校から推薦枠をいただくために努力したことは、学校を休まず登校するため体調管理を心掛けることと、校内模試の勉強です。休まず学校に行くことは、自分自身の継続力に影響し、授業の遅れが無いということも自分にとっては推薦をもらう上で、プラスになりました。校内模試の勉強は、始めるのが遅かったという後悔があります。なので、これから指定校推薦で大学進学を目指している後輩の皆さんには余裕を持って早いうちから自分の目標に向けて勉強してもらいたいです。

■なんでもチャレンジすることが
アピールポイントになります

私は大学進学するために早く目標を設定することが一番大切だと思います。私は2年に進級してすぐ東北学院大学を志望大学に決めました。ですが自分の学力で入学できるのかという不安もあり時々ほかの大学にしようかと悩むときもありました。私には勉強する時間があり目標を達成するため努力する時間がありました。志望大学を決定するのが1年遅かったらあきらめていたかもしれません。早めに目標を定め準備する時間を作れたことも自分が大学合格できた重要なポイントだったと思います。

私は面接や志望理由書を書くときに感じたことがあります。高校生活で経験した楽しい思い出、辛かった思い出どれも自分のアピールポイントになることです。楽しいこと、辛いこと両方チャレンジしてみてください。その結果が成功でも失敗でも大学入試で役立ちます。これからまだ時間はあります。多くのことにチャレンジして自分の高校生活を有意義なものにしてください。成功するか失敗するかではなくチャレンジすることに意味があると思います。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
中野中出身

推薦入試を考えているならば 1 年次から努力を続けましょう

■ 生徒会の先輩に勉強を 教えてもらいました

仙台育英での生活を送るうえで私はまず人間関係について考えました。その理由として、高校からの付き合いは大人になっても続いていくということ、そして先輩と仲良くなることで大学生活に向けての話を聞けると考えたので生徒会に入部しようと考えました。生徒会はとても楽しく、甲子園応援、文化祭などどれも充実した日々を過ごすことができました。勉強についても先輩に教えてもらったりと予習のある学校生活を過ごしていくことができました。これから仙台育英に入学する後輩達にはぜひ生徒会に入部してもらいたいです。今、情報科学コースの入部者はとても少ないのでぜひ入部してほしいです。きっと将来に役立ちますから。

■ 2 年 2 学期には校内模試に 向けた学習を済ませましょう

次に学業面について、私は家でコツコツと地道に努力をしてきたのでコース内では常に上の順位にいました。定期テストでも推薦をとるために評定平均値 5.0 を目標にしてきました。推薦を目指している人はできるだけ高い評定をとらなければなりません。その他に推薦の枠をとるのに校内模擬試験の順位や学校内でも活動実績が見られます。校内模擬試験での順位はとても大切で 8 割方これで推薦がとれるかどうか決まります。仙台育英は生徒数が多く目指す大学が同じだったりすることはよくあることで、もちろん推薦に応募した人全員が推薦をとれるわけではありません。もし応募した人が自分しかいなくても順位によってはとれないことだって珍しいことではありません。推薦を目指してる人は 3 年になってから本気出せばどうにかなんとかなるか甘い考えを持たず 1 年生の頭からコツコツと努力をしないとけません。

最後に、推薦を決める模試は 7 月の最初に行われます。余裕を持つために 2 年生の 2 学期までにはほぼ範囲をかんぺきにしておくといいです。わからない問題などがあったら積極的に質問しましょう。自分で無理に解決しない方がいいです。友達や部活動の人達と切磋琢磨して自分の将来をより良くしていけるようがんばってほしいです。応援しています。

東北学院大学 教養学部 情報科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
蒲町中出身

出席日数は「学校に来た回数」ではなく 勉学に励む意志の表れです

■成績が良くても出席率や
態度で評価が下がります

私は、指定校推薦で志望大学に合格することができました。そこで、私が指定校推薦で受験を受けられるように努力したことを私なりにまとめてみましたので、紹介していきたいと思います。

1 つ目は、成績の評定についてです。指定校推薦で受験をする上で一番重要なことは、自分の志望大学が指定している、評定平均値以上の成績を出していることです。これを達成していなければ、無条件で指定校推薦の枠から除外されることになります。

2 つ目は、出席日数についてです。これについては無遅刻・無欠席が望ましいと思います。ここでいう「出席」の意味は、「学校に来た回数」ではなく、「勉学に励む意気があるかどうか」です。どんなに成績が良くても、遅刻や欠席が余りに多いという場合、「成績が良いが、勉学に励む意気がない」と判断されてしまうので、遅刻・欠席日数には気をつけた方が良いでしょう。

3 つ目は、授業態度についてです。テストの点が良くても、無遅刻・無欠席でも、授業態度が悪ければ成績は落ちてしまいます。逆に言えば、静かに授業を受けていれば成績は落ちることはないということです。ただし、静かにするといっても、寝ることではありません。

以上の3つを、私は注意しながら高校生活を送ってきました。その結果、今の私があります。指定校推薦を狙っている人は、上記の3つを主に気をつけながら生活してみてもいいのではないでしょうか。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

本番では「緊張してるのは皆も同じ」と 自分に言い聞かせるのが効果的です

■この大学で学びたいという 強い気持ちで合格できました

将来、金融関係の仕事をしたいと思ったため、より身近で、より伝統のある東北学院大学の経営学部を受験しました。私は、評定平均値があまり高くなかったため、初めは、指定校推薦は難しいと言われていました。しかし、校内選考において重要となる校内模試で上位に入ることができ、わずかな望みをかけて、校内選考に出願しました。正直、校内選考は通らないだろうと思っていたので、AO 入試の準備に取り掛かりながら結果を待っていました。そんな中、校内選考を通ったと聞いて、とても驚きました。そして、とても喜びました。

私は、2 年生の秋頃から指定校推薦を意識し始めました。この大学で経営学を学びたいという強い気持ちが、この結果に繋がったのだと思います。また、小論文や面接指導でアドバイス等をしてくれた先生方のおかげです。

■ボランティアや資格取得に 積極的に取り組みました

指定校推薦を狙うにあたって、気を付けておくべきことは、評定平均値を高く維持しておくことや、遅刻や欠席をあまりしないことや、日々の生活態度だと思います。その中でも、3 年間、1 回も休まず学校に行っていたことはこれから先の将来きっと役に立つだろうと思います。

私は、部活動をやっていなかったため、自己アピールの材料があまりなかったので、ボランティア活動や資格取得に積極的に取り組んでいました。このような活動も校内推薦の際に役に立ったのだと思います。

後輩達には残りの高校生活を大事にし、部活動やボランティア活動、資格取得にも積極的に挑戦して欲しいと思います。そして、みなさんが志望する大学に合格できるように努力を続けてください。試験当日などは、面接などもあるため、緊張するかもしれませんが、「緊張してるのはみんな同じだ」と言い聞かせれば、少しは楽になりますよ。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
住吉台中出身

3 年間でどれだけの経験と学力を 積み重なるかが重要です

■学校を休んで良いことは 一つ也没有せん

私が高校生活において最も重要視したことは、「良い成績をおさめること」でした。自分の学力ではどういった進路があるのかわからなかったため、その時が来た際に困ることのないよう最善を尽くすべきだと思ったため、成績だけでも良い評価を得ようと努力をしました。

学校生活で成績に関わるものといえば考査です。考査とは日々の勉強の取り組み状況を確認するものなので、赤点を取るなど前提からしてあってはなりません。赤点を取るということは日頃の勉強に取り組んでいない証明なので、私は赤点を取ることもなく、必ず評定 5 がもらえる点数を全教科で取り続けました。また、資格取得の勉強も怠ることはせず、取れる資格のほぼを獲得しました。私はこれらの試験対策として、試験 2 週間前には勉強をする癖をつけました。決して一夜漬けなどはせず、毎日 30 分程度集中して勉強に取り組み、コツコツと覚えるようにしたのです。更に、先生方が行ってくれる講習には積極的に参加し、着実に学力を身に付けていきました。これを成すために最も重要なのは、「休まず登校すること」だと思います。たった一日休むだけでも、その日の授業内容が抜けてしまい、次の授業に付いて行くことが困難になったりノート提出のために写さねばならなかったりと余計な手間がかかってしまいます。加えて、自宅で勉強している際、重要な部分の授業を休んでしまったがために詰まってしまい、学習に支障を来たしてしまいます。このように、学校を休んで良いことなどありませんので、どんなに辛くとも登校するように心がけてください。

■校内模試の失敗を 資格取得でカバーできました

私は上記の努力をしたのですが、模試の成績は酷い一言でした。なので指定校をもらえればラッキー程度の心構えでした。結果、何とか指定校をもらえたのですが、後に話を聞くと「資格の 1 級を持っていたから選ばれた」と言われたので、今までの学校生活の努力は決して無駄ではありませんでした。

高校とは将来への通過点でしかありません。その中でどれだけの経験と学力を積み重ねられるか重要なのです。毎日を怠情に過ごしているのなら、それ相応の成績と進路と苦勞が待っています。その逆もまた然りです。なので、やるべきことには事前に対策を施し、やると決めたなら即座に行動に移し、面倒がらずに努力を積み重ねられた人には、必ず結果が付いてきます。非常に雑な内容ではありましたが、少しでも役立てたなら幸いです。高校生活はあっという間に過ぎてしまうので、後悔のないよう過ごすようにしてください。頑張れ後輩！

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
山下中出身

自分に正直に充実した毎日を過ごし 後悔のない高校生活を送りましょう

■周りの意見や友達の進路に 流されないようにしましょう

私が指定校推薦の受験資格を得るためにおこなったことは主に 2 つありました。

1 つ目は無遅刻・無欠席を心がけて高校に通ったことです。時間に遅れないことは社会に出てからも必要になることです。指定校推薦を考えている人は 1 年の時から無遅刻・無欠席を心がければ良いと思います。

2 つ目は資格の取得を心がげたことです。私は情報科学コースに在籍しているので取得した資格のほとんどが PC に関係するものです。資格は大学や就職に有利になるので取得をお勧めします。

今まで推薦に関係することを書いてきました。夢がある人はそれを目指すことのできる進路にすれば良いと思います。逆に人の意見に流されたり友達の進路に合わせるようなことはあまりお勧めできません。

最後に後輩たちへの言葉としては自分に正直に生活をしていくこと、友達をたくさん作り楽しくておもしろい後悔のない高校生活そして人生をおくることを期待しています。

東北工業大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
岩沼中出身

仙台育英の代表として推薦されるために 日々の行動を見つめ直してみましょう

■授業にきちんと取り組み

評定平均値 5 を維持しました

以前から工学部に興味があったのですが、この学科で学びたいと考える決め手はオープンキャンパスです。オープンキャンパスでは実際に授業を受けるだけでなく、いろいろな体験をすることができ、私はその体験で興味を引かれ、この学科を志望することに決めました。

私が指定校推薦の校内選抜を通過できたのには大きく 2 つが決め手になったと思います。まずは 3 年間の評定です。定期考査では、平均 80 以上を目標として頑張ってきました。基本的に習ったことからしか出ないので、きちんと復習をしていればそれなりの点数を取ることができます。大体 2 週間、短いと 5 日前ぐらいから対策をとりますが、短期間で夜遅くまで勉強し、結果的に悪い方向へと繋がった事があります。もし、夜遅くまで徹夜している人がいるなら、止めた方がいいと思います。また、日々の授業ではきちんと取り組んできました。定期考査だけでなく、授業でも頑張ってきたからこそ、評定平均 5 を得ることができました。このコースでは平均 5 は多数いないかと思います。

■ホームステイの経験が

校内選抜で評価されました

もう一つの決め手はハワイ校外研修、通称「ILHA」です。これは希望者が行くことができる、約 3 週間のハワイ留学です。私は部活動はしていませんが、習い事として小学生からハワイフラを習っています。フラの本場であるハワイを今以上に知りたいという気持ちがあり、親に頼んで行かせてもらいました。現地にある学校で日本とは違ったスタイルでたくさんのことを学びます。ホームステイ先は英語のみであり、最初は戸惑いましたが徐々に慣れてきます。現地の英語を学びたい人にはオススメです。

指定校推薦は、学校の代表として推薦してもらいます。いくら成績が良くても、悪い意味で目立ったりすれば、推薦してもらえません。指定校推薦をねらっている人は特に日々の自分の行動を見つめ直し、悪い点があれば直していきましょう。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
多賀城中出身

自分が決めた進路に 自信をもって進んでいきましょう！

■勉強量も資格も多いほど 自分のためになります

私は将来就職するために大学進学したいと思いました。そのなかで経営学と経済学、コミュニケーション能力を学べる東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科を志望しました。1 年生のときから決まる時期が早い指定校推薦で行きたいと考えていました。そのためには 1 年生から 3 年生の前期までの評定平均値と校内模試の結果が良くないと指定校推薦の枠はもらえません。逆にその 2 つが良ければ大学に行けるということです。3 年生の前期にある校内模試の勉強を始めたのは本番の 2 週間前くらいからです。周りに比べると私は勉強を始めるのが遅いと思います。今考えると、もう少し早く勉強を始めていればよかったと思っています。勉強する量が多ければ多いほど自分の役に立つと思うので指定校推薦をねらう人は早めに勉強しておいた方が良いと思います。

その他にも内申点を上げるためにボランティアや生徒会などの活動や資格の取得をしておくの良いと思います。大学進学のためだけではなく将来のためにも役立つと思うので資格を取得することは大切です。実際に私もインターアクトクラブに入部しボランティア活動に参加したり、情報処理検定や MOS 検定などの資格を取得しました。

以上のことから、将来自分が決めた進路ならまちがいはないと思います。大学進学でも専門学校でも就職でも、自分の決めた進路に自信をもって進んでいてもらいたいと思っています。私も今、自分にできることを精一杯がんばり、自分の将来をより良いものにしていこうと思います。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
利府中出身

何事もコツコツ取り組むのが成功の鍵！ 積極的な姿勢をアピールしましょう

■ 本や施設の見学等を通して リハビリについて学びました

私は弟の入院がきっかけでリハビリに興味を持ち始めました。この大学を目指すようになったのは、2 年生になってからですが、当時は理学療法士の仕事や大学のカリキュラムなど分からないことだらけでした。そこで、オープンキャンパスに参加したり、リハビリに関する本を読んだりして知識を付けました。誰でも初めは進路について悩むと思います。しかし、焦らずに自分は何に興味があるのか考え直してみたり、進路相談会などに参加したり、担任の先生に相談してみたりすると良いと思います。ただ、やはり一番大事なのは、実際に病院などの施設に行ってリハビリの仕事がどのようなものなのか実際に自分の目で見ることです。

■ 3 年間無遅刻、無早退！ 基本的な生活態度が重要です

志望大学が決まったからといって安心してはいられません。指定校・提携校推薦を考えているのなら尚更です。私自身、その推薦について初めのうちは全く考えていませんでした。しかし、大学を受験するのなら合格率が高いほうがいいと思い、この推薦を受けることにしました。推薦については考えていなかったものの、普段から勉強は疎かにせずテストにもしっかり臨みました。また、2 年生の時から体育委員を務め、学校での役割を率先して引き受けてきました。これらの事はとても大事だと思うのですが、中でも出席日数は大きく影響すると思います。私は部活動の関係で公認欠席することはあったものの、3 年間遅刻したことが、早退したことは一度もありませんでした。今からでも遅くはないので、基本的な生活態度を心がけるべきです、推薦を受けるうえで重要なのは、普段の生活態度です。大学の先生方は私達がどのような人物なのか知りません。ですから、学校の行事には積極的に参加したり、資格を取得することによって個性を表現できると思います。普段から何事もコツコツと取り組むことが成功の鍵だと思うので、頑張ってください。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
多賀城中出身

卒業するときに「良い 3 年間だった」と 思える学校生活を送りましょう

■国際関係の仕事に就くため 英語力を伸ばしたいです

私が東北文化学園大学を志望した理由は、国際関係の仕事に就きたいと昔から考えていて、そのためには英語力を身につけることが大切だと思ったからです。私は最初、他の大学の英文学科に入学したいと考えていて、指定校推薦と AO 入試で受験しました。しかし、どちらも不合格で入学することができませんでした。そんな時、東北文化学園大学の後期の指定校推薦を見つけ、ここにも自分の学びたい分野に加えて、気になる分野もあったので受験しました。受験するにあたって、私が特に力を入れたのは面接でした。AO 入試でも指定校推薦でもどちらにも面接は大抵あります。面接練習はたくさんやった方が良いとは思いますが、だからといって返答を丸暗記するのはやめた方が良いと思います。実際の面接では練習とは全く違うことが聞かれたり、深く掘り下げられたりします。なので、その場に応じて対応できるように、多くの返答を考え、それに具体性を持たせることが必要だと思いました。

■部活動を通して自分の 新たな長所に気付きました

高校生活で、私がやっておいた方が良いと思うことは 2 つあります。1 つ目は、定期テストで良い成績を残しておくことです。私自身、高校へ入学してから、なかなか明確な進路が決まりませんでした。きっと私と同じような人が多くいると思います。そのような人やそうでない人も、まずは定期テストに力を注ぐことが大事だと思います。後になってしたい事が見つかって大学を決めた時に、評定が足りなくては どうしようもないので、定期テストは大切にしましょう。2 つ目は、部活動に入部することです。私はラクロス部に所属していました。そこではゴーリーというキーパーのポジションについていました。私はこの部活動を通して、人間性を養うことができたことに加え、新しい自分の長所に気付くことができました。部活動での体験はこれからの人生にも良い影響を与えると思うので、ぜひ参加してください。

最後に、仙台育英での 3 年間は、とても楽しいもので最高の思い出を作ることができました。これから受験する後輩達には、今、自分が何をしなければいけないのかを考え、1 日 1 日を大切にすることが重要だと思います。卒業する時に「良い 3 年間だった」と思える学校生活を送ってください。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
七郷中出身

PC のスキルが身に付き、 友人にも恵まれました

■指定校推薦に挑戦せずに
後悔したくありませんでした

私は東北文化学園大学に指定校推薦で進学しました。なぜこの入試制度を利用したかというが一番確実であり、チャンスだと思ったので利用しました。やらないで後悔するよりでできることはやった方がいいと思います。

指定校推薦の受験資格を得るために頑張ったことは主に 4 つあります。1 つ目は部活動です。私はインターアクトクラブに所属し、ボランティア活動をしました。面接がある入試ではほとんど聞かれると思うのでやっていると武器になります。2 つ目は学校生活です。授業態度や成績や単位、欠席、遅刻、早退などです。普通のことをしていれば問題はないと思います。これらのことを怠れば後々自分の首をしめることになります。3 つ目は日々の勉強です。毎日少しずつでいいのでやっておけば糧となります。授業はもちろんですが放課後を有効活用した方が良いと思います。4 つ目は自己推薦書の作成です。これは本当に大事なので 1 ～ 2 ヶ月前くらいからは始めておかないと間に合わないことがあります。先生いに添削してもらうのも必要ですし、前からやって損はしないです。なので早めに準備した方がいいと思います。

指定校推薦入試には面接がほとんどあると思います。面接練習は 1 ヶ月前くらいには始めましょう。私は 1 週間前くらいからになってしまい試験までバタバタしてしまいました。もっと前から始めていたら余裕をもって出来ていたのかなと思います。しっかり話せるように最低でも 1 ヶ月前から練習を始めましょう。

仙台育英での 3 年間は、パソコンの技術や資格、様々な知識を身に付けることができました。友達とも仲良く過ごすことができ、大学進学も決まり充実した 3 年間が送れたのではないかなと思います。

後輩たちに送る言葉としては、前から準備してほしいです。後悔してからでは遅いので、今の 1, 2 年生のうちから勉強など始めてほしいと思います。志望大学に合格できるように頑張してほしいです。

東北文化学園大学 科学技術学部 臨床工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
郡山中出身

2, 3 年生からでも遅くはありません 色々な経験をしておきましょう

■臨床工学技士として 医療現場で活躍したいです

私は医療の場で人を助け役に立てる職業に就きたいと思い、臨床工学技士になれる東北文化学園大学にしました。看護師を目指していた時もありましたが、色々詳しく調べていくととても興味を持つ仕事がありました。そして私は、臨床工学技士として多くの人を救いチーム医療の一員として携わりたいと考えました。東北文化学園大学は東北地方で唯一の養成校であります。医学と工学を学んでいく学科で、国家試験受験資格を得ることもできます。これから大学生になり学んでいく環境としてもとても良いです。高度化・多様化した現代医療の現場で活躍できる臨床工学技士を目指し 4 年間勉学に励みたいと思います。

■書道部の活動を通して 忍耐力が身につきました

私は書道部に所属していました。部活動にかけた時間はとても有意義であり、沢山のことを学べた場であったと感じます。何よりも忍耐力がついたと思います。先輩後輩同学年という多くの仲間、先生方にも出会え良い経験が出来た素晴らしい空間でした。思い出も多く、部活動をしていたことに悔いはありません。何年生になってからでも遅くはないので、色々な経験しておくことはよいと思います。

受験内容は、小論文と面接で、小論文は 60 分で 600 ～ 800 字程度の試験です。私は主に試験対策としては小論文はテーマ型のため本を読んだり、テレビを見たり、新聞や社説を読んだりと知識を増やしていきました。面接は回数を成した方が慣れにも繋がり、少しでも当日に緊張しないようにすることも大切です。全文暗記ではなく要点を絞りそのことについて話せるようにもしました。他にも数学と物理の口頭問題も出たので、勉強も怠らないことが大切となります。何事も冷静に判断することが重要です。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
吉成中出身

少しでも指定校推薦を考えているならば 行事や資格取得などにも励みましょう

■担任の先生の勧めで少ない 可能性に賭けてみました

私は入学した当初から大学進学を考え、指定校推薦もその手段の一つとして考えていました。けれども東北医科薬科大学薬学部薬学科の指定校枠は 1 人分しかなく、運も実力もない自分では難しいと思い、進学手段の第一希望としては考えていませんでした。それゆえ、国立の違う学部を合格することを目指して勉学に励んでいました。本格的に受験勉強を始めたのは 2 年生の冬からでした。しかし体調を崩すことが多くなり、かつ模試でも判定が上がらず、3 年生の 5 月には受験に向けて頑張ることがつらくなっていました。そのまま 2 者面談を迎え、指定校推薦を少しでも考えられるのであれば 1 ヶ月後にある指定校枠の基準となる重要な模試に向けて勉強してみることを担任の先生に勧められました。そして、自分が何を学びたくて大学に行きたいのか、考えをまとめてみたところ、ずっと考えていた薬学を学びたいという気持ちが残ри、1 ヶ月後の模試に向けて数学と英語に専念して勉強し始めました。

■豊富な課外活動の経験が 模試の失敗をカバーしました

私は英語が苦手なため数学は満点を目指していました。模試の結果が出て、数学は満点ではなく英語もひどい点数で順位も良くないという結果で、指定校推薦の希望を学校に提出した後はもう指定校枠は取れなかったと思って再び受験勉強を始めました。けれども後日、私は指定校枠を獲得できました。私はジュニアリーダーという学校外でのボランティアや生徒会活動、他にも高校生サミットに出席するなど多くの活動や資格を得るなどの内申に繋がることを進んで行動していました。そのことが指定校枠獲得に繋がったのだと思います。その後小論文対策や面接練習をし、無事合格しました。

私は学校の先生、指定校推薦を繋げてくれた先輩方、進学されてくれる父と母に感謝しています。ありがとうございました。そして後輩の皆さんの中に指定校推薦を少しでも考える人がいたら内申に繋がるような行動をし、日々の勉強に励んでください。それが合格への一歩となると思います。頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
七ヶ浜中出身

委員会や部活動への積極的な取り組みが 校内推薦にプラスになりました

■オープンキャンパスに

毎回通い志望大を決めました

私は県内の大学を考えており、大学でも英語を学び、留学したいと考えていたため、仙台白百合女子大学のグローバルスタディーズ学科と宮城学院女子大学の英文学科に候補を絞っていました。両大学のオープンキャンパスには、高校 1 年生の時から毎回のように参加していましたが、大学や学生の雰囲気、施設、教授など、様々な面で比較した結果、宮城学院女子大学が自分に合っていると感じ決断しました。

最初は、自分のクラスに宮城学院女子大学に行きたいという友達が複数いたため、指定校は競争率が激しくなり、自分には勝ち目がないと考えていたため、諦めていました。そのため、AO 入試に挑戦し、ダメだったら公募推薦に挑戦しようと考えていました。しかし、指定校推薦の締め切り日の約 1 週間前に担任の先生から、「今のところ、指定校を申し込んでいる人はこのクラスで 1 人しかいないから指定校に変えてみたら？」という提案をいただき、指定校推薦を受けようと決意しました。そして夏休みに入っすぐに、指定校推薦の結果発表がありました。私は 3 年間委員会や係活動に積極的に参加し、部活動はチアリーディング部に所属していました。チアリーディング部では、様々な部活動の応援活動はもちろん、地域や県外のボランティア活動、そして海外のイベントにも参加しました。また、3 年生の前期には、クラスの室長を務めていたため、無事に内定を頂くことができました。

■チャンスを与えて下さった

担任の先生に感謝しています

指定校推薦に通るためには、スカート丈やリボン、ワイシャツの第 1 ボタンを閉めるなどは当たり前にし学校生活を送り勉強と部活動の両立をし、ボランティア活動に参加したり、検定に進んで挑戦したりと、他の人より何か一つでも多く自分の武器になるようなものを持っていれば、指定校への道は拓けていくと思います。

もし私が担任の先生に提案をいただかずに AO 入試で臨んで落ちてしまっていたりしたら、ショックで立ち直れなかったと思います。指定校推薦のチャンスを与えてくださった担任の先生をはじめ、内定をくださった推薦委員の先生方には感謝しかありません。

大学に入学したら、しっかりと英語力を身につけ、目標である留学ができるように頑張ります。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
三条中出身

物事を自分ができる範囲で無理せず 計画的に実行しましょう

■翻訳家になる夢のために この大学を選びました

宮城学院女子大学を志望したのは、翻訳家になるという夢を叶えるために、多様な英語の表現や英語圏の文学作品の背景にある文化を学びたいと考えたからです。

私は指定校推薦をいただくために気をつけたことが3つあります。

1つ目は、予習・復習をしっかりと行うことです。事前に授業の内容を予習しておくことで、授業をより理解することができます。そして家でもう一度勉強し直すことで学んだことをしっかり頭にすりこみます。これは当たり前のことのように思われますが、その当たり前を徹底することが定期考査や校内模試でいい点数をとることに繋がります。

2つ目は、資格を取得することです。指定校推薦で選ばれるためには、他のライバルに負けないような資格などを取得することが重要です。なぜなら、校内模試での高い順位や高い評定平均値に加えて、大会に出場したという実績や、英検・漢検などの資格を持っていればライバルと大きく差をつけることができるからです。それに、もし成績でライバルに負けてしまっていたとしても、目立った資格を持っていれば、選ばれる可能性があります。

■規則正しい生活を心がけ 欠席しないようにしましょう

3つ目は、規則正しい生活をするということです。試験や考査が近くなると、普段より遅くまで勉強をして生活のリズムを崩してしまうことがあります。勉強をするのは大切なことですが、睡眠不足は集中力を低下させ、体に大きな負担をかけてしまいます。これが続くと体調を崩してしまい、学校を欠席しなければならない状態になってしまうこともあります。欠席日数は推薦の選考に大きく関わります。選考で同じレベルの相手と競った際には、どれだけきちんと登校しているかを見られます。それだけではなく、もし試験当日に欠席をすることになってしまったら、それまでの努力が無駄になってしまいます。

宮城学院女子大学は人気の高い大学なので、指定校推薦をいただくのは簡単ではありませんが、自分のできる限りのことを無理せず計画的に実行することが一番いい方法だと考えています。

宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
中野中出身

普段の生活態度など何気ないことが 校内選考の評価に大きく影響します

■勉強は推薦だけではなく 進学後にもつながります

私指定校推薦の受験資格を得るために、まず勉強にしっかり取り組みました。指定されている条件をクリアするためという目的もありましたが、私自身、大学進学してからも最低限必要なことだと考えたからです。定期考査前の勉強はもちろん、普段の勉強や長期休みのときも計画を立てて取り組みました。得意な教科は細かいところのミスをなくせるように、苦手な教科も繰り返し解くことで少しずつ克服することができました。

勉強と同時に、欠席や遅刻をしないようにすることを心がけました。特に、指定校推薦で受験をして合格した場合、大学進学してから様々な約束事があります。私はその内容を見て、当たり前のことだと思いました。しかし、当たり前のことをしっかりできなければ、受験資格を得るべきではないとも思いました。学校に来るという当たり前のことが、とても大事なことだと感じました。また、提出物などについても、しっかりやるように心がけました。提出期限をしっかり守るということは、大学に進学してから、そして、社会に出てからも、当たり前に行っていなければいけないことです。他にも服装や普段の生活態度など、何気なく行っていることが、評価には大きく影響していると思います。指定校推薦の受験資格を得るためには、このような学力以外のことにも目を向けて、真剣に取り組むことが大事だと感じました。

■面接と小論文の練習は 何回も取り組みましょう

また、指定校推薦の受験資格を得てからも、取り組まなければいけないことはたくさんありました。面接練習と小論文の指導では、学年を問わず、たくさんの先生方に、丁寧に指導していただきました。面接練習も小論文も回数を重ねることで、しっかりとした態度で試験本番に臨めるようになってと思います。特に小論文では、制限時間内で書く練習をしていると、落ち着いてできるようになってくると思います。

宮城学院女子大学 学芸学部日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
青森 八戸第二中出身

後ろ向きな考えはせずに 常に前向きに考えて頑張ってください

■けじめのある行動を 心掛けましょう

まず最初に、大学を選ぶときですが、大学に進学するならば、自分をよく知ることが大切です。1 年生の段階で大学を決める人もいますが、3 年生になってから決める人もいます。焦らず、自分が何に興味があるのかしっかり見定めましょう。外国語コースにいるからといって、英語系に進まなければいけないというわけではありません。

そして、指定校推薦で受験するのなら、普段の学校生活と小論文に力を入れるといいと思います。学校生活とは例えば、授業態度や制服の着方などです。「これくらい大丈夫だろう」という軽い気持ちで校則を破れば後で苦労すると思います。もちろん勉強も大切です。しかし、どれだけ定期考査や模試で良い成績を残していても、生活態度が悪ければ、それは何の意味も持ちません。常に真面目に生活するのではなく、楽しむときは楽しんで、真面目にするべきときは真面目にするというように、けじめをつけた行動を心掛けましょう。

■長所と特技をすぐに言える ようにしておきましょう

次に小論文ですが、それを書くためにまず漢字と言葉、敬語を覚えましょう。小論文や自己推薦文のように長い文章をいきなり書ける人はあまりいません。だから、そこは徐々に慣れていけば良いと思います。しかし、漢字ミスをしたり、正しい書き言葉や敬語を知らないで直されたりといったことを繰り返すこともあります。そうすると、直すことに手いっぱいになってしまって、中々しっかりとした文章を書けなくなります。それをできるだけ防ぐためにも常識的な漢字や言葉、敬語は知っておきましょう。敬語に関しては面接のときにも必ず役立つと思います。

最後に、自分の長所と特技をすぐに言えるようにしておきましょう。短所や趣味はすぐに言えるのですが、長所や特技はすんなり出てきません。だから、その 2 つを見つけて書くといいです。

後ろ向きな考えはしないで、常に前向きに考えて頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
宮城野中出身

校内行事やボランティア活動などの経験は 楽しくて自己アピールにも役立ちます

■仙台育英に入学し本当に
良かったと思っています

私は高校入学当初から、大学進学を目指していました。仙台育英は指定校推薦がとても多くおどろきました。指定校推薦をとるために、校則を守り生活することや、あいさつをするなど基本的なことを心がけました。勉強面では、常に授業内で理解出来るように集中して授業に取り組みました。定期考査などのテストでは、対策プリントなどを使いテスト範囲の確認をしました。評定で3をとらないように心がけ平均評定4.5以上を目標にしました。勉強の他には、ボランティア活動やスプリングチャレンジ、文化祭などの行事に積極的に取り組みました。私が所属していたインターアクトクラブは、月に1度ボランティア活動をする部活動です。ボランティアに興味のある人はぜひ体験に行ってください。行事などでは多くの実行委員を務めました。実行委員になることで、行事を楽しむだけでなく色々な経験をすることができます。また、入試や、卒業式補助員を多く経験しました。大学入試の時に、自己アピールとして話すことができるので、できるだけ多くのことに挑戦してください。私は仙台育英に入学して本当に良かったと思っています。みなさんも卒業前にそう思えるようにたくさん楽しみながら頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
蒲町中出身

受験では家族に応援してもらうことが とても大切だと思います

■部活動で何事も責任を持ち
やり遂げる力が付きました

私は、高校 3 年間、文武両道に励みました。部活動と勉強の両立は大変で、そのため普段の授業をととても大切にしていました。また、解けない部分は友人や先生に積極的に聞くようにし、解けない部分がないように努めました。部活動は、3 年間バレーボール部に所属していました。楽しいことばかりではなく、挫折や悔しい経験をし、仲間とぶつかり合うこともありました。部活動を通して礼儀やあいさつが身に付き、何事も責任を持ってやり遂げる力がつきました。進路を決める際には、たくさんの大学のオープンキャンパスに参加しました。私は文化の違いについて学びたかったため宮城学院女子大学を志望しました。しかし、自分のしたいことを具体的に家族に理解してもらうためには時間がかかりました。受験をする上で家族に理解してもらい応援してもらうことは一番大切なことだと実感しました。私は指定校推薦で受験したため、面接練習と小論文練習に力を入れました。3 年生では、小論文の授業が週に 1 回しかないため、とても貴重です。基礎となる部分を授業で掴み、後は放課後や自宅でひたすら練習をしました。練習を重ねていくうちにどのテーマに対しても解けるようになりました。面接練習では、担任の先生だけではなくたくさんの先生方に面接官をしていただきました。たくさんの先生方と面接練習をすることで、より多くの質問に答えられるようになり自信に繋がりました。私は指定校推薦をとるために、3 年間皆勤賞をとることや、ボランティア活動などにも積極的に取り組むことを心がけました。無事大学を合格することができて文武両道や高校生活、受験を頑張った良かったと心から思いました。これから指定校推薦を目指している人は、日々の授業と高校生活を大切に頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
鳴瀬未来中出身

推薦入試に必要なことは案外 当たり前で簡単にできることです

■授業中の先生の一言も ノートにメモしましょう

私は宮城学院女子大学学芸学部 心理行動科学科を指定校推薦で受験しました。その上で私が気を付けたことは誰にでも出来る、ごく普通で当たり前のことです。

まず 1 つ目は、遅刻欠席をしないということです。大学側でも出席日数は重要視されます。調査書や面接では欠席ゼロというのが自身の強みであり、アピールポイントになりました。これは一日一日の積み重ねです。しかし、健康管理に注意していれば可能なことなので受験では大きな武器になります。私は 1 年生の時から大学進学にあたって欠席ゼロを心掛けてきました。それは本番で大いに役立ったと思います。

次に 2 つ目は、定期テストで出来る限りよい点数を取ることです。推薦を受けるには、大学側が定めた評定を獲得していることが条件です。いざ本格的に大学を決める際に評定が足りなくて後悔しないように勉強を頑張りました。評定を上げるためには、授業態度といった平常点も大事です。普段から先生の話をよく聞いたり、ノートをキチンととる、などといった普通のことをしっかりしていれば大丈夫だと思います。特にノートは、先生が板書したことだけではなく、口頭で述べたことまでメモしておくことで評価にも繋がり、テスト対策にも役立ちます。

■努力をした人の方が 成功に近づくはずですよ

推薦入試というと、皆さん難しいものと思うかもしれませんが重要なことの 1 つひとつは案外簡単なことです。少しでも多くのチャンスが欲しい人は推薦に挑戦してみるのもいいと思います。

高校の 3 年間はよく言われるとおり、本当にあっという間に過ぎ去っていきます。努力は必ず報われるとは言えませんが、少なくともしない人よりはした人の方がより成功に近づけると思います。皆さん受験について悩むこともたくさんあるかもしれませんが、自分の夢に向かって頑張ってください。応援しています。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
石巻 山下中出身

推薦受験を考える人は特に普段の生活を 大切にして高校生活を楽しみましょう

■資格取得に加え生徒会や ボランティアも参加しました

私は、宮城学院女子大学現代ビジネス学部現代ビジネス学科を指定校推薦で受験しました。高校 1 年の時からオープンキャンパスに参加しました。学科説明だけではなく、模擬授業にも参加しました。

指定校推薦を得るために漢検や英検などの資格取得と学校内外でのボランティア活動や部活動に積極的に参加しました。部活動は、生徒会とインターアクトクラブに所属。生徒会では自ら役員に立候補し、自分の役割を果たすことができました。また、自分の住んでいるところで行っているボランティアに参加し、コミュニケーション能力を上げることができました。

勉強では、予習と復習を欠かさず行いました。定期考査前は、分からない所を教科担当の先生に直接聞きに行っていました。

また、英語力の向上として約 3 ヶ月短期留学をしました。授業の予習はもちろん、学校の先生やクラスメイト、ホストファミリーに自分から英語で話しかけるように努力しました。

■新設学部対策として他校の 同学科の問題を解きましょう

受験対策でしたことは、小論文と面接練習です。小論文は、過去の問題を何度も解き、小論文の担当の先生に添削してもらいました。この現代ビジネス学科は比較的新しい学科なので、過去問がありません。なので他の大学同じ学科の問題を解くことをオススメします。面接練習は担任の先生や教科担当の先生にお願いしました。他の大学と時期が重なるときがあるので早めに先生に頼むことをオススメします。過去に聞かれたことを中心に高校と大学のスクールモットーと自分の所属しているコースのことを言えるようにしておいたほうがいいです。

受験を後悔したことがない人はいないと思います。日々の生活を大切に、推薦で受ける人は特に気をつけながら学校生活を楽しく過ごしてください。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
多賀城第二中出身

「どうしてもこの大学に入りたい」 という気持ちを面接で伝えましょう

■通訳ガイドなど外国語に 携わる職業に就きたいです

私が仙台白百合女子大学人間学部グローバル・スタディーズ学科に指定校推薦で受験した理由は、英語や中国語といった外国語を勉強することに関心が高まり、将来は通訳ガイドなどの外国語に携わる職業に就きたいと思ったから。また、外国語の勉強だけでなく、留学制度を利用して世界中の異文化も体験したいと思いました。

入試合格のために心がけたこと、努力したことは、推薦書や志願書を先生に添削してもらい、何回も書き直し、面接で質問されそうな内容をメモにまとめて練習をしたことなどです。

普段の授業では、自分なりに工夫してノートを書いたり、分からないところは調べるなどしています。特に提出物は平常点も大きく影響するので忘れず提出するように心がけてきました。定期考査対策では、出題範囲や、特に重要なポイントを勉強しました。理解できるまでくり返し解いたり教科書を暗記することによって、より正確な答えを出すことができました。

私は2年生から英語の他に中国語を勉強していますが、最初は「漢字だらけだし、英語より難しそう」というイメージが強かったです。簡単な単語から覚え、基本的な発音や文法を勉強しているうちに短い文章が書けたり、少しずつ早く読めるようになったことから中国語検定も受検してみようと思いました。

休日・長期休暇期間の活用法は、自分が希望する大学のオープンキャンパスに行ったり、夏期・冬期講習に行くことがオススメです。学校からの課題があれば早めに終わらせて、自分なりの勉強法を見つけることが大切です。休みだからといって夜更かしをしたり、遊びすぎたりしがちですが、しっかりとした生活を送ることが大切です。

受験に成功したいちばんの要因として、推薦書や志願書を何回も書き直し、面接の練習もたくさんしたことが合格につながりました。

■大学は将来の目標に必要な 知識を身につける場所です

私にとって大学とは自分が将来なりたい職業に就けるための必要な知識や学力を身につけていく場所だと考えています。後輩の皆さんの中には、行きたい大学がある人もいれば、まだ決めていない人もいるかもしれません。3年生になって志望大学を受験するときは、「もし面接に失敗しちゃったらどうしよう」とか「もし不合格だったらどうしよう」とマイナスになってしまいがちですが、面接ではあまり緊張せず、「自分はどうしてもこの大学に入りたい」という気持ちを伝えていくとよいでしょう。指定校推薦の入学試験の面接では、よほどのことがない限り不合格になることはないので質問されたことに対してしっかりと答えることができれば大丈夫です。推薦書や志願書はていねいに書くことが大切です。先生に見てもらい、何度も書き直してみるとよいでしょう。

尚絅学院大学 総合人間科学部 人間心理学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
万石浦中出身

小論文は授業で受けているからと言って 気を緩めず工夫して練習しましょう

■将来警察官になるために 大学に進学しました

私がこの大学に進学したいと思った理由は、将来警察官になるという夢があるからです。初めは、県外か東北学院大学の法学部を指定校推薦で志望していました。3 年次に担任の先生と受験や将来について、何度も面談を重ねてきました。じっくりと悩んだ結果、東北学院大学の法学部の指定校推薦を受けることにしました。受けずに後悔するくらいなら、受けようと思いました。しかし、結果は指定校推薦をとることができませんでした。その結果を見て落ち込んでいる暇もなかったので、気持ちを切り替えました。その後も先生と面談し、「将来警察官になることが最終の目標なのだから、法学部でなくても警察官になれるし、むしろ人の気持ちを考えて行動しなければならない職業だから」と言ってもらったので、私は心理学科を目指しました。次こそ尚絅学院大学の指定校推薦を取るために努力しました。指定校推薦を取るために努力したことは、いくつかあります。まず始めに各教科ごとなど提出しなければならないものは、期限内に必ず提出し平常点をもらえるようにしていました。テスト対策は、多賀城図書館を利用して英語と国語の勉強をしていました。受験に必要な教科に力を入れました。受験では 2 つのことに取り組みました。1 つ目は自己推薦文です。自己推薦文は志望動機、大学入学後にやりたい事、高校生活で頑張った事、将来の夢について書きました。2 つ目は面接練習です。練習では、自己推薦文を見てもらった先生方と練習し入室の仕方や言葉遣い、質問への答え方などのアドバイスを教えていただきました。

■小論文は過去問を多く解き 対応力を鍛えました

学校行事や部活動など積極的に参加していくことも重要です。部活動を 3 年間しっかりとやったり、多くの行事に参加することは、大学合格に有利な材料になります。自己推薦書や面接などに体験談として話すことができます。多くの経験を積むことで自信につながりやすくなります。本番で必要なことは、小論文の構成についてしっかり頭に入れることです。どこの大学に行っても必ずと言って良いほど小論文はあります。また、将来役立てることもできると思います。週に 1 回程度、授業で受けているからと言って気を緩めず、練習することも大切なことです。さらに、どのような題材が出て慌てず落ちついて書けるようにたくさんの問題を解いたり、色々な形式での練習がオススメです。

まだ時間があるうちに、今から始められることからコツコツと始めてみませんか。頑張ってください。

尚絅学院大学 総合人間科学部 環境構想学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
多賀城第二中出身

本番で実力を発揮できるように 体調管理を常に心がけました

■模擬授業に参加して 志望学科を決めました

私が尚絅学院大学に行きたいと思ったきっかけはオープンキャンパスでした。高校 1 年生の時に初めて大学のオープンキャンパスに行きました。その時にはまだどの学科に行こうとは考えず純粋に「大学ってこんなに輝いている場所なんだな」と思うだけでした。

転機があったのは 2 年生の時のオープンキャンパスでした。模擬講義に参加して多くの事を学ぶことができ、それについての話し合いによって自らの知識を深められる環境構想学科に興味を持ちはじめました。そこから大学へ行くためどんな授業を 4 年間行うのか調べる日々が続きました。

3 年生になり、本格的に受験勉強をはじめました。私は、指定校推薦で受けることにしました。指定校推薦を受ける為に、勉強をひたすらやり、パソコンの検定（MOS 検定）を受験したり、大学独自で行うイベントにも参加しました。

■仲間と苦楽を共に過ごし 充実した高校生活でした

受験するにあたって特に心がけたことは、常に体調管理を心がけることでした。少しでも体調がおかしいと思った時は、勉強を早めに切り上げ休みました。本番の日に休むなんて事になったら努力が台無しなので、早く寝るように意識しました。

指定校推薦を無事通り抜け、安心したのもつかの間、次に待っていたのは面接と学力試験でした。面接するにあたって大事なことは相手の目を見て話すこと、質問されたら一呼吸おいてから話しはじめることです。多少の失敗は大目に見てくれる場合もあるので、とにかく焦らずゆっくり大きな声で話すことを心がけるようにすると良いと担当の先生に教えてもらいました。

私にとって高校生活とは、次の進路に向けての準備と、苦楽を共に過ごす仲間を作る充実した 3 年間だと思います。自分の目標に向かって私も頑張るのでみなさんも頑張ってください。

尚絅学院大学 総合人間科学部 子ども学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
名取第一中出身

何でも一つのことを極めることが 受験では大きな強みになります

■保育をしっかり学ぶため 四年制大学を志望しました

私は保育や教育に興味があり、最初は子供学科のある短期大学を受験しようと思っていました。ですが、短期大学は2年間のうち実質1年間しか勉強や実習する時間がなく、後の1年間は就職活動で忙しいという事実を知りました。そして、取得できる資格も四年制大学と短期大学とでは全く違うもので、このままでは学びたいものも学ぶことができないと思い、四年制大学の尚絅学院大学を受験することに決めました。ここでしっかり自分の気持ちを固めて受験に臨むことができてよかったと思います。

進路先を決めたのは高校3年生の6月頃だったので、とても時間がありませんでした。夏休み中は自己推薦文を書き上げたり、校内模試の勉強をしたり、オープンキャンパスに参加したりととても忙しく高校1、2年とは違い緊張感のある夏休みを過ごしました。

■友人に恵まれ多くを学んだ 中身の濃い3年間でした

私は、指定校推薦の推薦を受けるために高校1年生の時から定期考査に力を入れてきました。なぜかという、中学生の頃、全く勉強しておらず、高校生になったら一から頑張ろうと思ったからです。集中力がなかったので、30分で少ない時間の中でいかに集中して勉強するかが一番の鍵になりました。

私にとって高校生活は無駄のない大切な時間であり、周りの友人にも恵まれ、3年間楽しく濃い生活を送ることができたと思います。友達と遊んだり、積極的に行事にも参加しました。今思えば、あっという間に時間が過ぎていき、とても充実していたと思います。

最後に、後輩の皆さんの中には部活動に励んでいる方や塾や習い事をしている人などたくさんいると思います。その努力を無駄にしないでください。1つのことを極めるということは受験で最も強みになると思います。最後まで諦めずに全力を尽くして頑張ってください。

石巻専修大学 理工学部 機械工学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月技能開発コース卒
西多賀中出身

自分がやれることを地道にやり 諦めなければ合格できます

■卒業後を見据えて大学で
整備士を目指す事にしました

進路を決める際、小さい頃から憧れていた自動車整備士を目指そうと決めました。進学する学校は専門学校もありましたが、就職先の選択の多さ、給料の違いなど就職した後の将来のことを考え、大学進学を選びました。東北で唯一、2 級自動車整備士の受験資格が得られる所が決め手となり、石巻専修大学を志望しました。これまでの成績や学校での活動を評価してもらえると指定校推薦で受験することにしました。指定校推薦の試験は面接だけだったので試験当日まで面接の練習を何度も行いました。本番の面接では面接官がとても優しくフランクな方だったのでさほど緊張もせず、思っていたより早く終わりました。そして結果は無事合格、一時はどうなるかと思いましたがとても安心しました。

これから受験する後輩達へ私が言えることは「自分にやれることをやって、諦めなければ大学に入れる」ということです。私も普段何かを大きく心がけていたわけではありませんが、自分にやれることを地道にやってきたことが合格につながったのだと思います。色々な大学があるので、きっと自分に合う大学が見つかると思います。ぜひ頑張ってください。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
松島中出身

学校生活を楽しむだけではなく 1 年次からコツコツ勉強しましょう

■食品流通業界について学び

父と同じ仕事に就きたいです

石巻専修大学の経営学部経営学科を目指した理由は、本学科では教養や実践力を身につけつつ、経営を学ぶことができるからです。なぜ、私が経営学部を志願したのかといいますと、私は以前から食品の流通に興味を持っており、店で商品売るのではなく生産者と店の仲介をする仕事に就きたいと考えていました。高校生になってから、父の営業関係の仕事に憧れをもつようになり、父からその仕事の話聞き、ますます自分もこの仕事に就きたいと思ったからです。世の中にはいろいろな食品が出回っています。私はこの学科で食品の流通とその安全性について、深く学びたいと考え石巻専修大学への入学を志望しました。

私は指定校推薦を受けるために、学校は休まず登校しました。部活動にも所属し 3 年間部活動をやり通しました。入部当時の私は先輩との上下関係をうまく築くことができず苦労しました。自分は周囲の人々に甘えすぎていたのだと痛感しました。先輩との上下関係や後輩への対応などの経験をし、人間関係の部分で成長できたと思います。このように部活動で学んだことを、大学での生活、社会人としての行動に生かしたいと考えます。それに部活動で身体が鍛えられ、2 年連続皆勤賞を頂きました。これらの経験を、大学での学生生活に生かし、学業に励みたいと考えています。

■入学時から皆勤賞を狙い

休まず登校しました

受験に成功した一番の要因は、1 年の時から定期考査で良い成績をとっていたことです。あまり良いとは言えませんが、良い成績を取るよう心がけました。それと、学校を休まなかったことです。学校を休み過ぎると、指定校推薦が取れなくなるので学校は多少具合が悪くても休まず登校しました。元々、私は入学時から皆勤賞を狙っていました。まずは 1 年間学校を休まず登校しようと目標を立て学生生活を送りました。

推薦入試対策では、小論文や要約文をマスターすることも大事ですが、本を読むことも大事です。これは私が、受験前に仙台育英出身で推薦入試で大学に入学した方から聞いた話なのですが、面接で「あなたは、最近本を読みましたか」と聞かれたのですが本を読んでいなくて「はい」と答えられなかったという話を聞きました。なので本は是非、高校生活で読んでいた方がいいと思います。

最後に後輩たちへ伝えたいことは、高校での学生生活を楽しんで下さい。私も、正直部活動に入部し、受験への対策への意識が強くなったのは部活動を引退してからでした。なので私も高校生活はとても楽しみ、いろいろな経験もしました。しかし、学校生活をただ楽しんではいけません。その分、コツコツと 1 年生の時から勉強することが大事になってきます。なので、学校生活を楽しむのはいいですが勉強を疎かにしてはいけないことを皆さんに伝えたいことです。

仙台大学 体育学部 体育学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
南光台中出身

勉強や部活動、遊びも一生懸命取り組み 充実した高校生活にしましょう

■合格後も学校の代表という 自覚を持って生活しています

私は、今回仙台大学に指定校推薦で合格しました。仙台大学に入学したいと思った理由は、私の将来の夢がスポーツトレーナーになることで、その夢を叶える為に必要な知識を身につけることができ、自分になりたいスポーツトレーナーになることができるのは、仙台大学だと思ったので受験しました。

私は、指定校推薦で仙台大学に入学するということで、指定校推薦は、誰でももらえる訳ではなくて、学校側から選ばれた人だけが指定校推薦で受験する資格を得られます。だから選ばれた人は志望したが選ばれなかった人達の思いも背負っているのです、学校を代表してるという自覚を持たなくてははいけません。私は、学校を代表してるという自覚を持ち、この人を選んで良かったと思ってもらえるように日々生活しています。

■学校を休まないことを 何よりも意識していました

指定校推薦に選ばれるために努力したことは、当たり前のことを当たり前やることです。私は、硬式野球部に所属していましたが、朝練があつて朝早く起きて授業中に眠くなってしまった時も、寝ないように根性で授業に集中したり、板書をしっかりとやり、提出物も全て提出することを心がけました。そして何より意識していたことは学校を休まないことです。大学でも社会に行っても休むということは良く思われないので、インフルエンザやどうしても行けない時以外は、休まないように努力しました。

高校生活では、部活動に一生懸命取り組み、勉強もしっかりとすることがとても大切だと思います。部活動での経験は一生のものになりますし、勉強も将来のためにとても大切なことです。一方、遊ぶことも必要です。部活動と勉強だけではストレスが溜まってしまい身体に悪いので、たくさん部活動を頑張りとたくさん勉強して、たくさん遊んで、充実した高校生活を送ることが大切だと思います。皆さん頑張ってください!!

仙台大学 体育学部 健康福祉学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
人來田中出身

失敗して落ち込んでも 次に進めたのは先生のおかげです

■早いうちから対策を立てて
しっかりと準備をしよう

私は、第一志望の大学を落としました。それは、仙台大学の体育学部です。AO 入試で受けました。試験内容は、面接とグループディスカッションです。私にとって最も難関だったのはエントリーシートです。私はエントリーシートに手間がかかり面接の練習があまりできませんでした。実際、油断していて絶対に合格すると思っていました。結果は不合格でした。すごくショックで、もっとしっかりやっておけばよかったとすごく後悔しています。悔しい気持ちでいっぱい、すぐには気持ちを切り替えられませんでした。そこで支えてくれたのは、担任の先生です。私が失敗して落ちこんでいるときになぐさめてくれ、すぐに別の方法で同じ大学に行けることを教えてくれ、次のステップに進むことができました。

次に進んだのは、仙台大学の健康福祉学科です。第一志望ではなかったのですが、私の目指す目標が達成できるので志望しました。試験内容は面接試験と小論文です。一度うまくいかなかったことを経験しているので、今回はすごく勉強をし、練習をしました。本番当日、小論文はうまく書けたし、面接も述べたいことをハッキリ言えました。結果は合格でした。しかし、やはり第一志望に合格したかったと思っています。準備をしっかりしておけばよかったと思います。だから、これからの就職活動では、早いうちから対策を立て頑張っていきたいと思っています。

後輩たちには、第一志望に行けるようしっかり努力をして頑張してほしいと思います。

仙台大学 体育学部 スポーツ情報マスメディア学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
中野中出身

高校生活で頑張ったことが多いほど 自己推薦文を書きやすいです

■欠席日数が少ない方が
校内審査に有利です

仙台育英に入学し、3 年間気をつけたことは、欠席をしないことです。私は指定校推薦枠を使いました。特に指定校推薦枠は、評定と校内模試の結果が求められます。ですが、各大学が設定した欠席日数を超えてしまうと指定校推薦枠は使えません。私は 3 年間体調管理に気をつけて、通院等の早退を含めなければ、ほぼ登校することができました。ですから、できるだけ欠席日数が少なければ少々有利だと思います。

指定校推薦枠を獲得するには、まず校内審査を通過しなければいけません。通過するためには、自己推薦文を提出しなければいけません。書く際に大切だなと思ったのは高校生活においてがんばったことや、大学に入学した際にどういうことをしたいか等の話題を多く書けることだと思います。私はそれらの点においては、十分に書けたと思います。私が自己推薦文を提出した大学はライバルがおらず無事、校内審査を通ることができました。こういう時に運があるかないかも大切なことだと思います。

仙台大学 体育学部 現代武道学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
塩竈第一中出身

厳しい道でも努力すれば 良い結果を出すことができます

■面接や小論文は毎日
先生方と練習しました

合格に至る、私自身の行ったことを書きたいと思います。

まず、自分の志望する大学についてよく研究し、教育内容などを知ることです。何も知らなくては、志望動機を書く時や面接の際に迷ってしまい、あやふやな答え方になってしまうからです。

次に面接での対応です。自分の話したいことや面接官に伝えたいことをしっかりと明確にし、ゆっくり話すことが大事です。あとは練習の積み重ねです。

私は指定校推薦で受験し合格しました。言わば仙台育英の代表であり、日々の生活態度を正すことが大切です。また、合格したからといって浮かれていては合格取り消しになってしまいます。気をゆるめないうで、日々の生活に緊張感をもって落ちついた行動をするように心がけました。

私は、面接と小論文という少ない受験科目に力を入れることができました。そのチャンスを逃がさないように毎日練習を行ってきました。その結果、見事合格することができました。この合格は自分一人でつかんだものではないと思います。面接練習をしてくださった先生や文章の添削をしてくださった先生方がいて、この結果があるのだと実感しました。とても感謝しています。

このような受験は、部活動と一緒に、最初から何もしないで良い結果なんて得られません。自分で努力して、周りの支えがあり、それが実って自分が求めている良い結果が出るのです。受験を控えている皆さん、楽をしようとせず、厳しい道を通ってください。そうすれば、必ず良い結果が待っているはずです。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
長町中出身

小さなことでも頑張っ て続けることで 進路の選択肢の幅が広がります

■作業療法士の姉の姿を見て 医療の道に進むと決めました

私が大学進学を目指したきっかけは姉の存在にあります。私には 4 歳上の姉がおり、去年の 4 月から作業療法士として病院で働き始めました。姉の学生時代の勉強の大変さは十分すぎるほど近くで見えてきました。その頑張りがあってこそ、今の仕事の充実感と楽しさと、そして何よりも生き生きとした姉の姿を見ることができ、自然と私も大学に進学し、将来医療の道に進みたいと思うようになりました。その中でも、私は看護の仕事に興味を持ちました。なぜかというと、私は人と触れ合うことが大好きで、看護師という職業はたくさんの患者さんとの出会いの中で、たくさんの笑顔や元気になっていく姿を見たり、患者さんを送り出す時に味わう達成感という喜びを感じることができるといところに魅力を感じたからです。

■出席日数と定期テストは 入学後から意識していました

仙台育英は指定校推薦の幅が広く入学してからは指定校推薦で大学を受けたいと考えていました。そこで私は、2 つのことを特に大切にしてきました。1 つ目は、学校の出席日数です。指定校推薦はほとんどの大学で欠席日数が 15 日以内と指定されているため、3 年間で一度も欠席をしませんでした。2 つ目は、学校での定期テストです。各大学で評定基準が決まっています。そこで 3 年間の定期テストでは常に平均点の向上を目標に頑張ってきました。

私が高校生活の中で感じたことは、小さなことでも継続して頑張ることによって受験の幅も大きく広がってくることです。指定校推薦を希望したいと思っている人たちには小さなことでも努力してほしいと思います。

1 つでもかけてしまうと受験資格を失ってしまうため、継続することが一番大切です。最後まで諦めないで頑張っ
て欲しいと思います。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
七ヶ浜中出身

自分の一生を決めるとも言える大学受験で 合格できて嬉しいです

■ビジネスを学ぶことに 興味を持ちました

仙台青葉学院短期大学を指定校推薦で受験しました。私は指定校推薦を得るために、3 年間の出席日数と成績の向上につとめました。出席日数では 15 日間という幅がありました。私は体が弱かったため健康には気を使いました。成績面では授業態度やテストの結果が良くなるため日々努力をしました。仙台青葉学院短期大学を選んだきっかけは、大学でビジネスについて勉強できるビジネスキャリア学科というところがあるのを知り、自分もそこで一緒に勉強したいと思うようになったからです。他にも大学は沢山ありオープンキャンパス に行ったりして見極めました。そこで自分に合っている大学を見つけ受験しました。指定校推薦を受けられると知り、少しの安心はありましたがまだ合格はしていないわけなので不安はたくさん残ったままでした。私の場合、内容は個別面接でした。どのような内容が聞かれるか分からないので緊張も少しありました。本番ではとても良く話すことができたのでとても良い面接になりました。

■学校にくることを第一に、 日々の生活もきちんと

高校 3 年間でやっていて良いと思うことは沢山あります。今、私自身がやっておけばよかったと思うこともたくさんありました。まず学校に来ることはとても大切なことです。1 年生のうちはちょっと体の調子が悪いだけで休んでしまったことがあり、今思うと少しぐらいならば来ておけば良かったととても思います。学習面としては、自分の苦手な教科をしっかりと勉強しておけば成績はもっと良くなったのではないかと日々思っています。進学したいと考えている人は日々の生活をしっかりとしていくべきだと思います。そしてたくさんの大学のオープンキャンパスに行くと良いと思います。多くの大学を見ることができるので自分に合った大学を選べると思います。

今回私は自分の一生を決めるとも言える大学受験でしたが合格することができてとてもうれしく思います。4 月から新しい環境での生活になっていくので毎日頑張っていきたいと思います。

仙台青葉学院短期大学 観光ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
蛇田中出身

自分の目標を達成できるかどうかを 第一に考えて志望大を選びました

■将来空港で働くための スキルを身に付けたい

仙台青葉学院短期大学観光ビジネス学科に指定校推薦で受験し合格しました。私が大学進学を目指した理由は、高校で学べなかったことなど詳しく学べたり身に付けることができると思い将来のためになると考えたからです。私は将来空港で働くことを目標としていて、ビジネスマナーや実践的な英語力をつけたいと思っており、進学を決めました。

私が指定校推薦を受けるために努力したことは 3 つあります。

1 つ目は 3 年間の定期テストの成績を、落とさずに上げること。

2 つ目は私は生徒会に所属していたので、ほとんどの行事に参加し学校に少しでも貢献することができたこと。

3 つ目は取れる検定はしっかり勉強し取るだけ取ることです。

1 つ目に述べたように、定期テストの成績は 3 年間の評定が決まる大切なテストです。その定期テストの対策として、普段の授業をしっかり受けることがとても大事です。先生方の話を聞き、授業で覚えられることはできるだけ覚え、テスト勉強をするときに学習内容が理解しやすくなると思います。

■書き切れないほど充実し 成長できた 3 年間でした

そして、受験大学を絞り込むにあたって私は自分がやりたいことや目標を明確にしたうえで、どの大学ならその目標を達成できるのかを一番に考えました。高校 1 年の時から大学を決める人なんてほとんどいません。もし入りたい大学に一般受験となった時、高校 3 年から勉強するのでは少し遅いと思います。なので高校 1 年からしっかり勉強していたら、幅広く大学を選べたり、自分が本当に入りたい大学も目指せるのではないかと思います。

私にとって高校生活は、たくさんのことを学び、経験でき、とても充実していました。生徒会として、育英祭をみんなと協力し成功させ、甲子園応援では学校を代表して行き良い思い出ができ、卒業式では会場準備をし先輩方をベストな状態で送り、合格者ガイダンスでは司会をさせていただきました。また、3 年間 AJ としてしっかり勉強することができ、良いクラスメイトにも恵まれ、3 年間でここでは言い表せないほど充実していて、自分自身成長できたと感じています。

高校生活、素敵な 3 年間になると思います。後輩の皆さんもこれから頑張ってください！

2017 栄光への軌跡

2017 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



スポーツ推薦

東洋大学、國學院大学、立正大学、明星大学、神奈川大学、
関東学院大学、城西大学、東京国際大学、山梨学院大学…

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
しらかし台中出身

高いレベルを目指すことが力試しと モチベーションの向上につながります

■大学の練習会に参加し弱点と 通用する部分を実感しました

大学進学を希望した理由は、将来進む道の幅を広げつつ、レベルの高い環境で部活動に取り組みたいと考えたからです。

スポーツ推薦という形で進学を決めることができた要因として、3つのことが挙げられます。

1つ目は、3年間の部活動をよい環境で取り組むことができたことです。私は、幼い頃からサッカーを続けてきました。仙台育英では、女子サッカー部に入学し、毎日の練習に手を抜かず、反復することで技術と精神を鍛えることができました。また、挨拶や礼儀なども学び大学入試の面接はもちろん、これからの社会でも役に立つものを身につけることができ、とても有意義な3年間を過ごすことができました。

2つ目は、進学に向けて早めに動き出しをしたことです。私は、昨年3月に最初の行動をしました。監督からの助言もあり、大学の練習会に参加しました。参加してみると、「この大学に行って挑戦したい」という明確な目標ができ、志望大学を決めることができました。高いレベルの中でプレーすることで自分の弱さと通用する部分を実感し、その後の部活動への大きな刺激となりました。周りよりも早く行動することが大事だと感じました。

3つ目は、私を支えてくれた方々がいてくれたことです。大学への助言をしていただいた監督はじめ、進学の背中を押してくれた両親、3年間の部活動で共に高め合ってきた仲間、たくさんの人のおかげで進学を決めることができました。今、それぞれの人の周囲の人が必ず支えになると考える。だから日々の感謝を忘れず、この生活を当たり前だと思わずに1日を大切に生活していくことがこれからの将来につながっていくと思います。

高いレベルを目指すことは、不安も多いですが、自分の力を試すことにもつながり、日々のモチベーションを上げるものにもつながると私は思います。

國學院大学 人間開発学部健康体育学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
横浜 南が丘中出身

3 年間で試合本番だけ頑張るのではなく 練習や体力づくりの大切さを学びました

■体を大きくする努力を続け
全国大会に出場できました

仙台育英での 3 年間は、私にとってとても充実した高校生活でした。1 年生の時は、先輩との体格差やスキルの違いがあまりにも大きすぎて何もすることが出来ませんでした。しかし、私はあきらめることが出来なかったので、食べる量を増やしたり、ウエイトトレーニングを頑張りました。そのかいがあって、入学の時よりは、体重やウエイトの数値が上がり、前よりも当たり負けなくなりました。しかし、まだ自分にあまい部分があり、メンバーには選ばれませんでした。その時私は、もっと早くスキル練習やウエイトトレーニングをすればよかったと思いとても、後悔しました。なので、2 年生になった時は朝早く起きてウエイトトレーニングをしたりしました。練習後などには、自分に足りない部分を練習するなどしました。そのかいがあって、2 年生の時の全国大会のメンバーに入ることが出来ました。しかし、1 回戦の次の日の練習試合でひざの靱帯を切ってしまいました。私は、このケガによって手術をすることになり、半年以上ラグビーが出来ませんでした。ケガをした時は、なにも出来ず、とてもくやしい思いをしました。しかしあきらめずに、ストレッチやウエイトトレーニングなどをしました。あきらめずにトレーニングをしたおかげで、復帰した時にはケガをする前よりも、体が大きくなり、当たり負けなくなりました。そして最後の全国大会ではメンバーに入り、試合に出る事が出来ました。私は長い期間ラグビーが出来なかったので、大学でもラグビーがしたいと思い、進学を希望しました。私はこの 3 年間で一番感じたことは、本番だけ頑張っても意味がない事を学びました。

東海大学 体育学部競技スポーツ学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
神奈川 有馬中出身

3 年間ラグビーを続けたからこそ 大学進学を実現できたと思います

■先生に東海大学の話を伺って
進学を決意しました

私は大学進学とラグビーで全国大会に出場することを夢みて仙台育英に入学しました。

ラグビー部に入学した私は、まず、スターティングメンバーに入ること为目标にしてきました。入部してから 3 ヶ月でスターティングメンバーに選ばれました。正直、私がスタメンになるよりも 2 つ上の先輩のポジションをずらして組んだほうが圧倒的にいいのではないかと 1 年間毎日思っていました。試合では指示されるがまま、ただこなすだけでした。私の中ではラグビーに対してのやりがいがなくなっていました。

1 年目が終わり 2 年生になりました。2 年生では全国大会を経験していたのでそれが自信になっていました。2 年生の終わりに東北新人の公式戦があり、そこで東海大学の監督に声をかけられました。丹野先生から大学の話をいろいろ聞いてその大学に決めました。3 年間やめずに頑張ってきたからこそ大学の方に声をかけてもらったんだなと思いました。3 年間決めたことをやり続けるのが重要だったのだと思います。

立正大学 社会福祉学部社会福祉学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
神奈川柏ヶ谷中出身

多くの人達に支えられてきたことを 忘れず大学で成長していきます

■大学でもラグビーを続け 強くなりたいと思いました

小学 4 年生の頃からラグビーを始めました。私の兄もラグビーをやっていたので兄みたいに体を大きくし強くなりたいと思いました。中学に入ってもラグビーを続けました。中学 3 年の時、どこの高校に行くかを考えた際、高校でもラグビーがしたいと思っていたところ、先生やコーチに仙台育英を勧められました。練習に励んでいたところ、仙台育英ラグビー部の丹野監督から「うち（仙台育英）に来ないか」と言われ、私はその時点で仙台育英に入ることを決意しました。

私には、目標がありました。花園の全国大会に出場することです。その目標を達成するべく、高校 3 年間をラグビーにかけました。毎日のキツイ練習を乗り越え、一日一日を大切に練習に励みました。しかし、1 年生、2 年生の時は、試合に出るメンバーにも入れませんでした。3 年生になってからは何か自分に足りなかったのかを考えました。その不足を補い懸命に練習に励んだ結果、3 年生の最後に花園のメンバーに入り、試合にも出させていただきました。やっと目標にしてきた花園で試合に出ることができました。その時、私は、まだまだ強くなりたいし、大学に進んでからもラグビーがしたいと思いました。

■推薦を得るために 人一倍練習しました

私は立正大学の社会福祉学部を志望しました。オープンキャンパスに行くと、研究設備などが整っていて、サークル活動なども充実しており、ラグビーでは人工芝のグラウンドはもちろんのこと、練習中は GPS などを使い選手一人一人がどのように取り組んでいるかが把握できるようになっていました。この大学に入るためには、スポーツ推薦をつかみ取るしかありませんでしたが、実力やスキルがなかったので練習オフの日などに誰よりも練習に励みました。その結果、スポーツ推薦をいただき、やっと合格する事ができました。

ラグビーの監督、後輩や先生など、多くの方々に応援していただきました。このことを忘れずに、これからの大学生活では、成長した姿を見せたいと思います。また親には身近で支えてもらっているの、恩返しできるように、精一杯頑張りたいと思います。

明星大学 経済学部経済学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
埼玉 鴻巣中出身

進路を決める時期はすぐに来るので 早くから将来像を思い描きましょう

■高校入学から進路決定まで 3 年間は驚くほど短いです

受験するにあたって、学校関係者の方々、部活動の顧問の先生、保護者など、多くの方々に支えていただき、そのおかげで合格することができました。スポーツ推薦入試では、高校 3 年間で日々取り組んできた部活動と個人面接の 2 段階にかけられ、得意なこと、不得意なことさまざまなことがありましたが、やりきることができました。

高校 3 年間硬式野球部として活動してきました。私は、高校入学時の新たな道へ進む楽しさと、不安から始まり、もう進路を決めなければならないという時間が過ぎていく早さに驚きました。毎日大変だと思うことはあって忙しいということもありました。しかしだからこそ、部活動に取り組む時間はとても短く、現在の進路が決まってからの時間はとても長く、新たな目標を模索する日々で将来の自分を考えると不安になります。

■時間を大切にしましょう 見失わないようにしましょう

高校生の間はおそらくそれほど将来の自分について深く考えることはないと思います。高校卒業後すぐに就職する人もいると思いますが、多くの人は大学進学または専門学校へ進学すると思います。

今、私は大学進学が決まりました。しかし、将来の夢、職業もまだはっきりとは見えずにいます。誰もが、必ず通る道ではありますが、思ったよりも早くやってきました。私と同じように、あっという間にこの状況になる人はいると思います。だから、もっと早くのうちから、自分の将来像を思い描いて、形として表れるようにしてほしいです。

大学進学するにあたり、硬式野球部に入部することが決まっています。高校 3 年間で学んできたことを、表現できるチャンスでもあります。しかし、進学までの時間は長いです。その期間で、今までしてきたことをやめ、無駄にしてしまったのは、全く意味のない高校生活、大学生活になってしまうでしょう。私はそれが嫌です。ただでさえ、目標、将来像も見えていないのだから。だからこそ、目の前の自らが伝えること、行動できることを怠ってしまえば良い事は何も起きません。時間を大切に過ごすと共に、自らの目標を見失わないように生活を送ってください。

神奈川大学 経営学部 国際経営学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
高崎中出身

本当に夢があるならば苦手なことも 努力して頑張ることができます

■夢が叶うはずと信じて
努力する毎日は楽しいです

私は、スポーツ推薦で神奈川大学に入学が決まりました。私は 3 年間女子サッカー部に所属していました。私が神奈川大学を選んだ理由は、女子サッカー部が関東一部リーグで活躍しているのを見て、私も高いレベルの中でサッカーをしたいと思ったからです。そのために私が高校 3 年間で意識していたことは部活動では日々の努力、学習面では好成績の維持です。まず、部活動における日々の努力ですが、私のストロングポイントはドリブルだと思っているので、毎朝の練習で欠かさずドリブル練習をしたり、放課後の全体練習でも何回もチャレンジすることを心がけてきました。次に、学習面の好成績維持についてですが、好きな事だけでは大学に進学は出来ません。勉強が苦手だからやらないでいると後悔すると思います。私は勉強が苦手でしたが、好きな教科も苦手な教科もどちらにも力を入れて取り組み成績を維持してきました。そういうことの結果として、私が目標としていた大学でサッカーが出来ることになりました。

何事においても努力はとても大切だと思います。私は今回好きなことで進学が決まりましたが、学業の面でも努力し、成績を維持し続けていたおかげで推薦をいただいたので、苦手でも本当に夢があるのなら頑張れると思います。

受験対策などにおいても先生方にしっかりサポートしていただき、不安が消えるまで練習をしていただいたので、自信を持って本番に臨むことが出来ました。

以上のことが、私が 3 年間努力したこと意識してきたことです。もし、私と同じ夢や同じ推薦を目標にしている人の役に立つとうれしいです。皆さん、行きたい大学に行けるよう努力してください。努力しても必ず叶うわけではありませんが、努力しないで日々を過ごすよりも、とても楽しいと思います。頑張ってください。

関東学院大学 国際文化学部 比較文化学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
蛇田中出身

テスト前に部活動があっても帰宅後は 熱心に学習し評定はオール 5 でした

■支えてくれた人達への
感謝の心を持ち続けます

私は関東学院大学へ進学します。この大学を目指したきっかけは箱根駅伝に出場したいと思ったからです。そのためにスポーツ推薦で進学すべく、部活動を頑張りました。春から夏場までは苦勞することもありましたが秋に目標と
していたタイムを出すことができ、スポーツ推薦で受験することができました。何回か辞めようと思った部活動ですが、1、2 年生の時に苦勞した時期があったからこそ今の自分がいると思います。

日ごろの学習では、しっかり勉強しておくことがとても大事だと思います。評定が高ければ、推薦をもらえる大学の幅が広がります。私も、中間・期末テスト前は部活動はありましたが、自宅での自主学習に熱心に取り組みました。その甲斐あって評定はオール 5 でした。面接でも成績の話はされたので、どうやって評定を上げられたのかなど考えておいた方が良いでしょう。私はスポーツ推薦で受験しましたが、試験内容が面接のみだったので、その練習をしっかりと行いました。面接では、単発的な質問ではなく、1 つの質問に対してそれに関した質問を浴びせられる事が多かった
ので、答えたから安心というような気持ちでいると不意打ちをくらいます。私の場合は、国際文化学部比較文化学科に進みます。そこではこの学部学科で何をどのように学びたいかということを聞かれました。ですから、面接がある場合は、様々なパターンを予測しておいた方がいいです。

卒業後の進路は、進学、就職いずれにせよ、自分一人ではどうにもすることもできません。先生方や親の助けがあって実現するものだと思います。私も親や先生方、部活動の監督、チームメイトなどたくさんの人の支えがあり、大学に合格することができました。感謝の心を常に持ちつづけていきたいと思っています。

関東学院大学 教育学部こども発達学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
山形 天童第四中出身

何事も目標を持ち諦めずに取り組めば 自分のためになり合格に繋がります

■部活動で努力したことが
評価され合格できました

私が大学進学を目指した理由は、将来の夢である保育士を叶えるために勉強して、今まで続けて来た剣道をこれからも続けたいと思ったからです。

私が高校 3 年間一番力を入れてきたことは部活動です。全国大会を目指して毎日練習に取り組みました。いくら練習が辛くても、調子が悪く思うように勝つことができなくても全国を目指し諦めずに取り組みました。そして 2 年生の新人戦で優勝し、全国の舞台に立つことができました。3 年生になって、私達の代で全国の舞台に立つことを次の目標にして頑張りましたが行くことが出来ませんでした。目標を持ち努力すれば叶い、もし、叶わないとしても自分のためになると思います。そして今まで努力してきたことが自分の進学の手助けをしてくれました。なので、何事も目標を持って取り組み諦めなければ、自分のためになると思います。そして、進学にも繋がってくると思います。

私は、幼い頃から保育士になるという夢を持っていました。なので、大学でも何を勉強したいか明確に定まっています。これから夢が叶うか、また、大学に進み新たな夢が出来るかまだ分かりませんが、今は、夢があるので進学するうえで、夢に近づくための大学を選べたと思っています。大学選択はとても悩むと思いますが、まずは、将来やりたいことを考えれば大学選択の役に立つと思います。

これから約 1 年間しっかり目標を持ち努力をすれば進学にも役に立つと思います。どんなに辛くても諦めずに頑張ってください。

関東学院大学 経営学部経営学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
神奈川 南高等学校附属中出身

欠席は学習や部活動で遅れをとるので 体調管理を徹底しましょう

■ラグビー部での好成績が 推薦合格に繋がりました

私はスポーツが好きで、ラグビーを続けるために大学進学を選択しました。

私は高校 1 年生の時からスターティングメンバーとして試合に出させて頂きました。夏の合宿や全国大会を通して、1 年生の時には体格差の違いや体の強さの差を実感させられ、2 年生の時には個々のスキルの重要さやチームのコミュニケーションの大切さを学びました。高校ラグビー最後の年となる 3 年生では、1, 2 年生で学んだことを生かし、強豪校との体格差や力の強さの差をなくすために、食事の量を増やしたり、ウエイトトレーニングに積極的に取り組みました。練習の時には自分が足りていない技術の向上に向けて練習をしたり、練習中に自らチームメイトとコミュニケーションを取るように心がけました。また、練習試合や公式戦が終わった後にはビデオを見て自分自身の欠点を見つけ、その課題を改善出来るように努力しました。

その結果 6 月の東北大会では優勝し、7 人制の全国大会では、ボールトーナメントでしたが決勝戦まで進むことが出来ました。それらの実績を残しスポーツ推薦を頂きました。

■スポーツ推薦を頂いても 勉強を頑張りました

私はスポーツ推薦を頂いたからといってスポーツだけやっていればいいという考えは良くないと思い、勉強もがんばりました。勉強面では、分からない所はそのままにせず友達や先生に聞いたり授業で取り組んだ問題で間違えてしまった所は、復習をするように心がけました。

また、私生活では風邪を引いたりして学校と部活動を休んでしまうと勉強面とスポーツ面でも遅れが出てしまうので、手洗いうがいはもちろん早寝早起きを心がけ体調管理を徹底をしました。

この経験を通して、後輩達には、1 日 1 日の学校生活や部活動を大事に過ごしてもらいたいと思いました。

城西大学 現代政策学部社会経済システム学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
青森 弘前第四中出身

高校生活に真面目に取り組めば 誰かが見ている支えてくれるはずです

■努力すれば結果に関わらず
周りからの信頼に繋がります

城西大学を志望した理由としては、箱根駅伝にも出場し、シード権などを獲得した経験のある強豪校であり、そこで自分の力を伸ばしていくことができると思ったからです。

私は陸上競技部に所属しており、3 年間部活動と勉強の両立を目指し生活をしてきました。中学の頃から陸上競技を始めました。仙台育英に入学した最初の頃は、周りのレベルが高く、勉強など家での自主学習などは全然できませんでした。だから、余裕がある時間に勉強することは、とても大切なことだと思います。特に勉強面で苦労したことは、公認欠席で休んだ後の授業です。休んだところのノートを見せてもらい覚えるしかないなので、ある程度自分で勉強するというのが大事になってくると思います

部活動面では、入学時にはいちばん遅く、チームメイトですら怖くて話しかけづらいなと思っていた時期もありました。今思えばチームメイトの存在は大きく、私を成長させてくれたと思います。コミュニケーションがうまくとれなかったりすると、何のためにやっているのか分からなくなってしまうこともあるのでコミュニケーションを図ることは大切だなと思いました。また、頑張りどころをまちがえずに人よりも多く練習することも大切です。頑張りどころをまちがえてしまうと、ケガにつながります。頑張ることはさらに大切で、結果に結びつかないとしても、沢山のアドバイスをもらえたりします。諦めなければ必ず結果はついてきますし、もし結果が出なかったとしても、それは信頼などにつながります。

最後に日々の生活と部活動に真面目に取り組んでいけば、誰かが見えてくれていて、それは助けになるので、楽な方向に逃げないようにしてください。

東京国際大学 人間社会学部 スポーツ科学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
八乙女中出身

大学でもスポーツを続けたいならば 勉強と両立して毎日練習しましょう

■視野を広げたいと思い 県外の大学を選びました

私は東京国際大学人間社会学部スポーツ科学科をスポーツ推薦で受験しました。受験するにあたって行きたい大学を選ぶところから大学受験合格するまでの間、家族や担任、部活動の先生方など多くの人に関わってもらいました。その中でも一番は自分自身が頑張らなくてははいけません。

東京国際大学に行きたいと決めたのは 8 月と少し遅めでしたが志望を決めた理由としてスポーツに関する仕事がしたいと思い、大学を探していたら、県内に仙台大学がありました。しかし宮城ではなく関東で仕事がしたいと思い東京国際大学もスポーツに関する様々な知識が学べるので志望を決めました。宮城にとどまらず広い視野を持って生活したいと思ったからです。

初めは指定校推薦で受ける予定でしたが、東京国際大学の野球部の練習会に行った後にスポーツ推薦の誘いをいただきました。何が起きるか分からないので、特に部活動を大学でも続けたいという人は日々の練習を怠らずに少しずつでもいいので勉強と両立させておくべきだと思います。練習癖がついていたおかげで OB になった今でも現役の頃と変わらずトレーニングを行っています。大学でも野球を続けるため、今がもう大学の 1 年目だと思い勉強と練習の両立を頑張っています。

■言葉の引き出しを増やす ために工夫しました

そして受験のために頑張ったことは面接だったので言葉遣いや礼儀を覚えるために担任の先生にも教えていただき、必死に練習しました。日頃の会話でも、考えずにすぐに答えられるように工夫したり、なるべく暗記せずに多くの言葉の引き出しを作れるように単語を紙にひたすら書いたりと対策をしました。面接だけでなく小論文もありました。小論文に関しては、授業での小論文講座に力を入れたり、常に電子辞書を引き、子どもっぽい表現は使わないようにと心がけました。そして 2, 3 ヶ月前から余裕を持ってやるのが大切だと思います。

そして合格が決まった今からが大事となります。学校生活、私生活、全てにおいて規則正しく有意義に過ごして行きたいです。

東京情報大学 総合情報学部総合情報学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
秀光出身

目標達成のために必要なことに 優先順位をつけて取り組みましょう

■授業をないがしろにしては
いけないことに気がきました

私は高校 3 年間、硬式野球部に所属し、日々野球の練習に励んできました。幼い頃からの夢であった甲子園に宮城県の中で一番近いチームだと思い仙台育英への入学を決めました。夢を叶えるために練習をたくさんするというプランが自分の中にありましたが、部活動だけを頑張っていればよいのかと私は親に言われ、考え直しました。部活動というのは学校があって存在するものであり、私たちは学生なので学校の授業をないがしろにしてはいけないと気付かされました。

■時間の使い方を見直し
授業に集中できました

気持ちを改め、50 分という短い授業時間を集中して授業を頭に入れていこうと私は心がけました。しかし、1 週間も経ないうちに授業中は集中できず、無駄な 50 分を過ごしてしまいました。授業中の最大の敵は睡魔でした。この睡魔には勝つことができなかったため、自分の生活を見直してみることにしました。

その結果、部活動を終え家に帰ってからの時間の使い方と問題があることに気づきました。私が好きなテレビを夜遅くまで見た後に明日の準備をしてなどと考えていると寝るのは日付が変わる頃になっていました。何かを得るためなら何かを我慢しなくてはならないのです。私の場合はテレビを見る時間を明日の準備に使ったりして、時間を有効に使うことで十分な睡眠が取れ授業中は眠くならず集中し続けることができました。我慢するということは最初は難しいことかもしれませんが、目標を達成するために今必要なことを優先順位に考えてやっていけば、後々、我慢して頑張ってきてよかったと思える日が来ます。遊ぶことも大切ですが、目標達成するために頑張してほしいです。

山梨学院大学 法学部法学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
秋田 男鹿東中出身

仙台育英を卒業したことを誇りに 次の目標に向かって頑張ります

■公務員試験対策に注力して いることに惹かれました

私は仙台育英のラグビー部に 3 年間所属していました。練習はほとんど毎日でした。とてもつらいこともたくさんありましたが、仲間たちの声援などで 3 年間続けることができました。私の実家は秋田県のため、寮に入り生活をしなければならなかったのです。高校に入学する前はとても不安でしたが、いま 3 年間を振り返るとつらかったこともたくさんありましたが、あっという間の 3 年間だったと思います。

私は勉強が小さい頃から苦手なため、中間や期末のテストはあまり良い成績ではありませんでした。そこで、平常点を確保できるように授業態度をよくし、提出物なども忘れずにしっかり出すよう頑張りました。しかし、大学ではもっと頑張らなければならないと思います。予習復習を毎日して単位が取得できるように頑張りたいと思っています。

私は将来警察官になりたいと思っています。だから山梨学院大学法学部法学科を志望しました。山梨学院大学は公務員就職を希望する学生を手厚く指導し、その実績は、中央大学、東京大学、京都大学に次いで第 4 位になっているからです。山梨学院大学に入学できるのは大変うれしいですし、将来の夢に少し近づけたと思います。

■部活動の監督やコーチに とても感謝しています

また、つくづく仙台育英でよかったと思います。私はスポーツ推薦で山梨学院大学に入学することができましたが、この結果を出すことができたのは、3 年間部活動と勉強を教えてくださった先生方のおかげです。特に部活動は、大変な練習はたくさんありましたが、指導してくださった監督、コーチに感謝しています。

大学では高校で学んだことを生かし、一日でも早く試合に出られるように頑張りたいです。そのために辛い練習に耐え、強い体を作り誰にも負けない力や技術を身につけたいです。

歴史のある仙台育英を卒業することを誇りに思い、次の目標に向かって頑張りたいと思います。大学では多くのことを体験し、4 年間一日一日を大切に過ごして目標に向かって生きる大学生になりたいです。仙台育英に入ってよかったです。

道都大学 経営学部経営学科に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
埼玉 大東中出身

「今」という時間を大切にし 何事も全力でチャレンジしましょう！

■経験や学んだことを堂々と 話せる 3 年間にしましょう

4 年間で、スポーツビジネスの現場で活躍するための経営力の基礎とマネジメント能力を身に付け、さらに野球、スポーツを通して、人間的、技術的なスキルアップを目指しこの大学を志望しました。

スポーツ推薦ということで、いかに高校 3 年間の部活動での過ごし方が大切か改めて感じました。試験内容が面接のみだったので、そこでしか自分をアピールすることができませんでした。やはりそうだと、高校 3 年間必死で取り組んできた部活動を通して自分をアピールするしかありません。3 年間で得たもの、達成したことなどが多く聞かれますが上手くいかなかったことや挫折したことなども聞かれます。失敗や挫折したことも今後に繋げる良い経験として忘れることなく、堂々と話せるようにしておいたほうがいいと思います。ウソやきれいごとばかり言っても、堂々と話せないし自分の気持ちが上手く伝わらないと思います。失敗や成功でも何でもいいと思います。自分はこの 3 年間でどのような思いで、どのような取り組み方をして、その結果どうなって、何を学んだのか、はっきりと堂々と話せるような高校 3 年間にして下さい。受験の時だけしっかりしようとしても高校 3 年間の中身がなければ何もできません。だからこそ、今という時間を大切に、何事にも全力でチャレンジしてみてください。自分からチャレンジし行動しなければ、何も生まれません。人から聞いた話や、人が経験したことは、その人のものでしかありません。自分で考え苦勞し、やっと掴んだものこそが自分の力になると思います。その力を受験の時に思いっきり発揮できれば、きっと良い結果になると思うし、もしも上手くいかなくても納得いくと思います。

とにかく「今」という時間を大切に、何事にもチャレンジ精神でぶつかっていきましょう。

武蔵丘短期大学 健康生活学科健康スポーツ専攻に
スポーツ推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
成田中出身

部活動と勉強をしっかりと両立することが スポーツ推薦で合格できるカギです

■スポーツ推薦では大学の 活動方針を調べましょう

私は、3 年間女子サッカー部で活動をしました。そして、もっと高いレベルの場でプレーしたいと思い、大学関東 1 部リーグの武蔵丘短期大学に決めました。この大学を知ったきっかけは 2 年生の時 1 つ上の先輩が練習会に参加し、その時の話を聞いたからでした。そして、短期大学にも関わらず 4 年制の大学に負けず常に上位という成績を収めているこの学校は、日頃どんな指導を受け、どんなトレーニングをしているのかとても気になり、私もぜひこの大学でプレーしたいと思いました。

私が大学でもサッカーを続ける上で重要視したことはただ強いということではありません。私が最も重要視したのは、その大学の方針やサッカースタイルです。今部活動をしていて大学に行っても続けたいという人は、行きたい大学がどのような方針で活動しているのか、自分が目指すものや卒業後になりたい進路まで考え、それと一致しているのかをしっかりと調べておくことが大切だと思います。そして、3 年生になった私は、武蔵丘短期大学の練習会に参加し、監督と話をした時、どのようなサッカーを目指しているのかと質問し、自分がやりたいサッカーと、活動方針が一致していたため、ぜひこの大学でプレーさせてほしいという強い意志を監督に伝えました。その甲斐あってスポーツ推薦で入学が決まりました。

■好成績を残し強豪への 進学を目指しましょう

スポーツ推薦で大学に行きたいと思っている人は、積極的に練習会に参加し、自分がどうしてその大学でプレーしたいのか明確にし、その大学の監督などにしっかり伝えることもスポーツ推薦を狙うなら大切です。もう 1 つとても重要なことがあります。それは学校での成績です。スポーツ推薦はスポーツだけ頑張っていればいいという訳ではありません。部活動と勉強をしっかりと両立することが、スポーツ推薦で大学に入学する鍵ともいえるでしょう。

最後にスポーツ推薦で少しでも上のランクの推薦を狙うなら、やはり高校で成績を残すことです。スポーツ推薦を狙う人は部活動での日々の練習を頑張り、結果を出すため努力することが少しでもいい推薦をもらう秘訣です。スポーツ推薦で行きたい大学がある人は以上のようなことを意識し、日々の練習を頑張ってください。

2017 栄光への軌跡

2017 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



AO 入試

上智大学、東海大学、日本体育大学、桐蔭横浜大学、
東北学院大学、東北福祉大学、東北工業大学、
東北文化学園大学、尚絅学院大学、仙台大学…

上智大学 法学部国際関係法学科に
特別推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
中国出身

IB コースで学んだことが将来いかに 役立つか胸を張ってアピールしましょう

■ IB コースでは実力相応の 大学を選ぶことができます

私は国際バカロレア資格をもって、2つの大学に合格しました。

私は高校1年目が外国語コースで、高校2年生から国際バカロレアコースに入り、それから、毎日大変な学習生活を過ごしてきました。この体験記は、一般コースの生徒にはあまり役立たないと考えられますが、IBコースを選択し、フルディプロマの取得を目指している生徒の助けになれると幸いです。

IBコースは、決して、楽なものではありません。だからこそ、IBコースに入って、選択肢が増えたことで、自分の本当の実力と合う入試を選ぶことが大事だと思います。IB入試はほかの入試と比べ、いい大学に入れるチャンスが増えます。いいチャレンジになると思いますが、各大学によって、標準と入試方法も違うので、必ず自分の目で、文部科学省が発表したIB入試が利用可能な大学のホームページを1つひとつ確認してください。

■ 努力して国際ディプロマの 取得を目指しましょう！

さて、IBをどのように大学受験に活用するかを話したいと思います。私は、IBの資格をもって、3つの大学を受けましたが、残念ながら、国立の筑波大学は落ちました。残り2つの私立大、上智大学と法政大学は無事に合格しました。IB資格を利用するメリットは、受験人数が少ないので、受かりやすいのは確実です。デメリットとしては、IB資格を取らないといけません。IBを使って、大学を受けるのなら、EEと各教科のIA、そして、CASの内容を各大学に聞かれる場合が多いため、しっかり用意しないと、私のように、厳しい国立大学から落とされるかもしれません。

各大学によって、入試内容も違いますが、その中で、どの大学も変わらないのが、将来のことについて聞かれることです。IB生だから、国際ディプロマを勉強しているから、胸を張って大きな夢を話しましょう。そして、どのように、うまくIBで習った知識は将来の大学生活に役立つと大学側に伝えるのも大事だと思います。これは、IB入試だけでなく、IBコース全員の生徒たちが知るべきことです。

IBを選んだら、一生懸命努力をしてディプロマをとることを目指してください。過去問を自分で探して、問題があったら先生に聞く、早めにエッセイを取り組んで、絶対に締め切りを守ること。その上に、明確な目標をもって、この教科はなにを求めているのかを把握し、先生からの知識だけではなく、自分でのリサーチは必ずしてください。対象管理は大事なので、睡眠時間を保ちましょう。そして、基本ですが、なによりしてはいけないのが、授業で寝ることや携帯をいじることです。

IBを使うか、使わないかに関係なく、悔いのない高校生活を過ごしましょう。遊ぶ時間の犠牲はあるけど、苦しんだ分だけ輝けますので、未来のみなさんと再会するのを、楽しみにしています。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科に
自己推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
青葉中出身

自分を支えてくれる大きな夢を抱き 信じる道を突き進みましょう

■自己アピールのために

部活動で好成績を残しました

私が大東文化大学を目指したきっかけは、高いレベルで陸上競技を続けたいという思いと共に、将来は教員になりたいという考えを抱いており、大東文化大学は教員免許を取得できる学部・学科が設置されていて、私の望みを 2 つながら叶えてくれる体制が整えられているからです。

私は自己推薦入試を受けて合格しました。自分をアピールするために第一に考えたのが、陸上競技での成績を出すことです。県大会、東北大会は通過点として、全国大会での活躍、また、リレー種目では先輩方が成しえなかったインターハイ優勝を目指し、日々仲間達と練習に励みました。結果は、個人種目は全国大会出場、リレー種目ではインターハイ 3 位の成績を残しました。叶えられなかった日本一は大学で掴みとります。

■大学で人間性を高め

教員を目指したいです

私にとって大学進学とは、集大成としての挑戦の場であり、新しいスタートの場でもあります。中学時代から教員を目指してきました。その目標は大東文化大学で 4 年間しっかりと勉強することで叶えることができます。しかし、教科ばかりを教える教員になるだけではなく、子供達に夢や目標を与え、道を切り拓く力を与えられる教員になりたいと思っています。4 年間で人間性をさらに高めていきたいです。

また、高いレベルで陸上競技を続け、2020 年の東京オリンピックに出場し、勝ちたいという大きな夢が私を支えてきました。オリンピックの舞台は小学校時代から描き続けてきました。その舞台が大学 4 年次に東京で開催されるという千載一遇のチャンスを、私は必ず掴みとります。

これまで私を支えてきたのは間違いなく、大きな夢です。これから大学進学目指す後輩達には、大きな夢を持つことを忘れずに信じた道を突き進んでほしいです。

東海大学 政治経済学部 経営学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
しらかし台中出身

高校生活を何となく過ごすのではなく 目標を胸に掲げて努力しましょう

■サッカーの経験を生かし 用具関連企業で働きたいです

大学進学を目指した理由は、サッカーを続けながら、スポーツ企業に就職するという夢を達成させるためです。私がスポーツ企業で働きたいと思うようになったきっかけは、サッカーを始めてまもない頃に、スパイクを買いに行った時でした。それぞれのメーカーによって走りやすさボールの蹴りやすさが違って興味を持ちました。また足の型やデザインなどもメーカーによってこだわりがあってそういった面も面白いと思いました。このようなきっかけから、私の長年続けてきたサッカーを開発や販売で生かしていきたいと思うようになりました。

■大きな大会で持ち味を 発揮できるかが大事です

また、私が推薦入試合格のために心がけたことは 2 つあります。1 つ目は、自分がやっているスポーツで自信を持って戦える武器を作ることです。なぜなら、大きな大会やフェスティバルだと大学の監督やクラブチームのスカウトする人が見に来ていることが多いからです。見られている時、いかに自信のある武器を見せつけられるかが大事だと思います。2 つ目は、入試に向けて先輩や先生などに沢山質問をして情報収集することです。そして前もって面接や小論文の練習をしておくといいです。なぜなら、緊張すると頭が真っ白になったりするからです。そんな中面接で思いもよらぬ質問をされるかもしれません。そういう時、少しでも多くの情報収集をして沢山練習しておけば、確実に答えられる質問があると考えたからです。

このように、何かを始めた時にちょっとしたことがきっかけで将来の選択が増えるかもしれません。何事も恐れず挑戦していけば、道が開いていくと私は信じています。高校生活を何となく過ごすのではなく、目標などをもっていくことが大事なので、小さな目標でもいいので必ず胸に掲げ努力して行って下さい。

帝京大学 法学部法律学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
横浜 城郷中出身

自分だけではなく多くの人の力を借りて 大学に合格できたと実感しています

■サッカー部と両立して
勉強も好成績を維持しました

私は 3 年間、大学入学のために毎日の授業をがんばってきました。先生の話をよく聞いたり、授業中の態度や私生活も気をつけていました。私は男子サッカー部に所属していましたが、それでも勉強をおろそかにすることなく好成績を維持してきました。

好成績を維持するために、日々の授業では静かに先生の話聞き、家に帰ってからは予習・復習を毎日してきました。そのおかげもあり定期テストでは良い点数をとることができて、いい成績をとることができました。

私は AO 入試で合格しました。その練習では、国語の先生に教わりながら小論文を何回も解いて、よりいいものに仕上げてから臨みました。また面接では、多くの先生にアドバイスをいただきながらどのような質問が為されても自然に答えられるように何回も練習しました。

このように、大学に合格するにあたっては、自分一人の力だけでは及ぶものではなく、たくさんの人の力を借りているんだとあらためて知ることができました。

日本体育大学 保健医療学部 整復医療学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
岩切中出身

志望大決定後は入試に向けてどんな力をつけるべきかを把握しましょう

■サッカーをしながら 柔道整復師を目指したい

日本体育大学に入学したいと考えた理由はサッカーをしながら柔道整復師になるための知識を学びたいと考えたからです。大学を選ぶにあたって一番大切なことは自分が将来何をしたいのかを明確にすることです。それにあたって自分が行きたい大学を選ぶのが良いと思います。

大学を決めてから一番大切なことは入試時にどのような試験が行われるのか、またどのような力をつけたら良いのかです。私は AO 入試で受験したため、とても短い面接で最大に自分をアピールする力と、小論文のテーマについて自分の考えをより詳しく、面白く伝える力を付けることを最優先にしていました。その力を付けるためには、まず自分をアピールするため聞かれたことを全てにきちんと答えるため文章で表してみることです。しかし、書いた文章をそのまま覚えてはいけません。そのまま覚えてしまえば忘れてしまったときに何も話もなくなってしまうこともあるからです。考えた文章の特に重要な単語をピックアップし覚えることが良いと考えています。

■体育大学は高倍率ですが 諦めずに努力しましょう

次に小論文では第一に何度も小論文を書くことです。一つではなく何題ものテーマについてまずは文字数をこなすことです。それにより本番の試験でしっかりと文字数を埋めることができます。第二にどのようなテーマに対しても最後には自分が将来何をしたいのかを明確に書き表すことです。将来とは大学に入学してからのことをふくめ大学卒業後のことまで明確に書き表すのが良いでしょう。

最後に一つ、体育大学というのは数も少なく、学校名というブランドにひかれる人もいますので倍率がとても高いです。だが入学をあきらめずしっかり対策をし自分に合った大学に入学できるよう、努力が大切だと私は考えています。

洗足学園音楽大学 音楽学部 ミュージカルコースに
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
南小泉中出身

かけがえのない高校 3 年間は 将来を左右する大事な時期です

■ミュージカルを続けたいと このコースを志望しました

私がこの大学を志望した理由は、将来舞台に立ち続けたいと思ったからです。私は小学校 1 年生の頃からミュージカルをずっと続けてきました。ミュージカルから多くのことを学び、またそれは私の人生も楽しいものにしてくれました。学校や私生活で辛いことがあっても舞台に立ち続けたいという思いで乗り越えてきました。そのためミュージカルコースがあるこの大学を志望しました。

■学校行事に積極的に参加し 視野が広がりました

高校 1 年生の頃から大学進学を意識して頑張ってきたことが 3 つあります。1 つ目は評定平均値を上げることです。これが高ければ進路の幅が広がると思います。情報科学コースは先生方が対策プリントを作ってくださいるのでそれをしっかり覚えて定期テストで高得点を取ってきました。他にもノートやワークも丁寧に仕上げ期限内に確実に提出したり、授業中板書以外のメモを多く書くようにしてきました。当たり前のことは当たり前できるように努めました。2 つ目は積極的に資格を取得することです。授業で学ぶ資格もいくつか取得しましたがそれ以外のワープロ検定も取得しました。3 つ目は積極性を持ち続けることです。私は 3 年間で室長や合唱コンクールの指揮者、文化祭や研修旅行の実行委員を務めてクラスや学年のために尽くしてきました。こういった活動が自分の視野を広げるきっかけになり、人間性を高めてくれたと思います。

私が後輩に伝えたいのは高校生活の大切さです。3 年間というのはあっという間に感じるものですが、この時間はどんな道に進もうともこれからの人生を大きく左右する大事な時間です。さらに今私たちが与えてもらっている時間は無料でもないし無限でもありません。そのようなかけがえのない時間をどのように過ごすかが重要だと思います。受験の前までに自分が高校生のうちに頑張ったことを明確にしておくと、自分の進路の幅を広げるとともに自信にもつながると思います。

洗足学園音楽大学 音楽学部 音楽学科 声優アニメソングコースに
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
みどり台中出身

オープンキャンパスでは講義の雰囲気や 内容を実際に見て大学を理解しましょう

■「この大学が好き」という 志望理由で十分だと思います

私と同じ志を持つ人やその志が不安な人の参考になればと思います。

私は声優になりたいと思い、声優になるために私に適した大学だと考えたので洗足学園音楽大学に入ろうと決めました。理由は単純だと思う人もいると思います。その大学が好きだったから。それだけですが、それで十分だと私は思います。しかし推薦入試を受験する以上、半端な理由では笑われてしまいます。情報や入りたいと思ったきっかけを探りに行くために、私はオープンキャンパスへ赴きました。そこで授業の雰囲気や講師陣の教え方などを見て、具体的に整理してそれを言葉や声で表せるようになってやっと理解したといえるので、とにかく授業の特徴を捉えることが何より大切だと思います。楽しみすぎてただの遠出にならないようしっかり学びましょう。

■面接はリラックスして臨み 緊張を楽しむことが大事です

私の受ける大学の場合実技がメイン、質問ちよっぴりという感じだったので歌を歌ったり朗読をしたりを重点的に攻めました。なので私と同じ系統を目指す方はボイストレーニングや腹式呼吸などといったあくまでも基礎的な練習を積み重ねたほうがいいかもしれません。面接官は表面的な技術力よりも当人の潜在能力を重視するそうです。面接で重要なのは精神的にリラックスし、緊張を楽しむことだと思います。私は面接官を笑わせてやるくらいのところもちで臨みました。勿論あきれて笑う、という意味でなく楽しませる、という意味です。マニュアルに載っているような模範的な回答を無感情で読み上げるより、曲がりなりにも自分らしい回答をした方がいいのではないのでしょうか。誰でも思いつくことを答えてもつまらないと私は考えました。まずは尊敬する人物や楽しかった思い出など、面接官が尋ねてきそうなことを見つけましょう。ちなみに余談ですが、私はワンガリ・マータイという世界に「もったいない」という言葉を広めた人を尊敬しています。

面接は自分を誇張して魅せる場所です。たとえ素晴らしい事を口にしても、下を向いたり小声になっては説得力の欠片もないので明るい表情で片時も面接官の目を離さず笑顔で語りかけましょう。

面接における指導みたいになってしまいましたが、結局は楽しんだ者が勝つと思います。気張っていくのも良いですが落ち着いていけば何とかなるものです。応援しています。

桐蔭横浜大学 法学部法律学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
秀光出身

将来を決めるのは自分自身なので 夢や目標を明確にしましょう

■勉強に励み野球に必要な 集中力を身に付けました

私は中学の時から大学に進学したいとずっと考えていたため、高校の 3 年間は何事にも積極的に取り組みました。私は硬式野球部に所属し、入学当時からベンチに入り試合に出ることを最初の目標としていたので、その目標を叶えるためにどうしたら良いのか考えました。そこで最初に行った行動は、野球の練習ではなく、勉強です。試合に出るためには野球の練習をしなければなりません、練習以前に勉強の方が大切だと思いました。勉強をすることで多くの事を知り、考え方が豊かになります。覚えるためには時間がかかります。しかし、集中力も同時に身に付きます。高校野球の場合、試合時間は 2 時間から 2 時間半くらいかかるため、50 分の授業を集中して受けられなければ、試合は集中してやる事ができません。だから、まず初めに野球をする上でなくてはならないものを身に付けたいと思い、勉強に取り組みました。

■目標をクリアし続けた結果 甲子園出場を果たしました

そして次に練習です。上手くなるためには練習をしなければいけません。そこでまた一つの目標を立て、クリアできたら新しい目標を立てと繰り返し続けました。すると徐々に結果も出てきて 3 年間でとても多くの経験をすることができました。ベンチに入り試合に出場。そして全国の高校球児全員が憧れであり目指している甲子園にも 2 度出場し、2 年夏終わりにはキャプテンに務めました。目標を立て、その目標を達成するためにはどんなに小さい目標であってもこつこつと努力をすることが大切です。

私は春から、神奈川県にある桐蔭横浜大学に進学します。入学するまで 3 ヶ月という期間しかありませんが、「1 年春からベンチに入って試合に出る」という目標を叶えるために今も、勉強、野球の練習共に力を入れて取り組んでいます。目標や夢がなければ、何を目的として日々の生活を送っていいかわかりません。高校卒業後は自分自身で将来を決めていくことになります。だから何をを目指したいのか目標を明確にし、叶えられるよう頑張ってください。

東京工芸大学 芸術学部 映像学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
宮教大附属中出身

面接対策は多くの質問を想定し 答えられるようにしておきましょう

■自己推薦文では校内外での をアピールしました

私は、AO 入試を受けて大学に合格しました。入試の時には、書類と面接の 2 つでした。書類は、志望理由、「映像と自分」についての表現、課題として映像学科を目指すきっかけとなった作品についての説明でした。そして、調査書を出してもらうために自己推薦文を書きました。

私は、最初に自己推薦文と志望理由を書きました。この 2 つは将来（大学入学後）についてや、大学卒業後にどのようなことをしたいのかなどについてを書くことがあり、内容が似ていると思ったので書きはじめました。自己推薦文では、学校の中や外で大学に行くために自分がどんなとこに努力したのかをアピールすることができます。そして、この事は面接の時のネタにすることもできます。

■書類は面接で説明することを 想定して作成しました

「映像と自分」についての表現は、書き方にきまりがなかったので今までに作った作品を箇条書きにしました。箇条書きにすることは、この書類を見る入試関係の人にも伝わりやすいと思いました。面接の時には、一つ一つを説明がしやすく、自分がやったことのアピールをしっかりとすることができたと思います。

私が一番時間をかけたのは、課題の映像学科を目指すきっかけとなった作品についてでした。そこで私は、自分の好きな海外ドラマについてを書きました。もしも自分で映像作品を作るとなったら、このドラマのこんな所を生かしたものを作れるようになりたいからなどのドラマの分析もしながら書きました。

面接では、担当の先生との練習でやったこと以外についてを聞かれる事が多かったので、高校で自分のやってきたことや、こんなことを聞かれるかもしれないと思いながらできるだけ多くの質問と答えを言える必要があります。

城西国際大学 経営情報学部総合経営学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
千葉 富来田中出身

小さな目標を掲げ達成していくことが 進学やその先の未来に繋がります

■実力をプロのレベルまで 高めるために進学しました

私は、今回千葉県にある城西国際大学に合格しました。大学進学を目指した理由、そしてきっかけは。将来プロ野球選手を目指しています。今の実力ではまだまだだと思い、そして大学の 4 年間で自分の実力を上げ活躍をしプロのレベルに上げるためにはいちばんの近道だと思ったので進学を選びました。他には、将来野球が終わってからの人生で高校卒業と大学卒業では色々と違ってくるのも進学した理由の一つです。大学合格までの 2 年半の生活、後輩に向けてのメッセージを書きます。

高校生活の 2 年半を過ごしたのは毎日野球を中心に過ごしていました。野球を毎日している時は大学のために練習をしていたわけではない目標は夏の甲子園でした。それまでは小さな目標を持ちそれを達成するために努力をしていました。その結果が大学進学につながったと思います。これは、硬式野球に限らずどの部活動であっても、部活動に入っていないくて勉強で大学に行く人も、小さな目標を持ち日々達成していくことが大切だと思います。それが大学進学につながったり将来につながったりすると思います。

■毎日頑張って両親に 恩返しをしましょう

また毎日を大切にしてほしいということと、先の事を考えて行動してほしいということです。毎日を大切にしてほしいというのは高校生活は 3 年間しかなくて終わってみたら短いものだと思います。だから後になってからあの日にやっておけば良かったとか後悔をしてほしくないということです。先の事を考えて行動してほしいというのは、大学に合格するまでの時間で楽しむ時間が少しあってもいいけれど、ここで先の事を考えずに行動してしまうと後悔する事になったり大学に合格しても取り消される事になることもあります。だから大事にしてほしいです。

最後に、高校に行けてるのは自分の親が支えてくれるからです。それを裏切らないように恩返しが出来るように頑張ってください。

神田外語大学 外国語学部 英米語学科に
自己推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
大沢中出身

志望大選びから受験対策まで 何でも早めに済ませましょう

■条件である資格を取得せず 公募制推薦受験を諦めました

私は、自己推薦で受験し合格しました。結果としては良かったのですが、それまでの間に色々な壁に当たりました。一番最初に悩んだことは、大学を全く知らないことです。私は、1 年生の頃から志望大学を決めていたのですが、その志望理由が先輩が通っていて、充実していそうだったからと言う安易な理由でした。とりあえず大学を実際に見てみないと本当に行きたいのかがわからないと思い、2 年生の終わりがけにオープンキャンパスに参加しました。パンフレットをただ見ただけではわからないことがたくさんわかり、更にその大学へ行きたいと思うようになりました。ですが、志望大学が決まり完全に安心しきってしまい、3 年生の進路希望調査で、第一希望しか書けませんでした。急いで色々な大学を調べ何個か候補を見つけたのですが、候補に挙がった大学全部を実際に行く時間もなく、少ない数の大学から選ぶしかありませんでした。なので、出来るだけ早くから大学調べをして、たくさんの大学のオープンキャンパスに参加することをお勧めします。

次に悩んだことは、資格についてです。私が志望していた大学の学科が指定校になく、公募制推薦か自己推薦か一般で受けるしかありませんでした。公募制推薦は倍率が低く良かったのですが、条件が英検 2 級以上か TOEIC550 点以上え、私は英検準 2 級しか持っていなく、また、その後の試験日が部活動の大会などとかぶり公募制推薦で受けることを諦めました。3 年生になったら受けようと思っている人がいると思いますが、資格は受けられる時に取得していると良いと思います。

■もっと早く自己推薦文に 取りかかるべきでした

次に悩んだことは、自己推薦文を書き終えていなかったことです。夏休みに何回か書いていたのですが、当時は意識が低く、字数稼ぎにと、可笑しいことばかり書いていました。提出日の 1 週間前によくスイッチが入り毎日放課後に残って書いていました。先生や友達に手伝ってもらいながら書いたので、提出には間に合いましたが、もっと早くからスイッチが入っていたら、更に良いことが書けたと思います。

受験手続きが終わってからは、先輩に面接の内容やアドバイスを聞き、先生に面接の練習をしてもらい時間を有効活用できたと思います。私がこれから受験するみなさんに一番言いたいことは、早め早めに色々なことを済ませることです。

関東学園大学 経済学部 経営学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
登米 中田中出身

小論文では読み手を引きつける 書き出しを工夫しました

■プロサッカー選手を目指し
大学でスキルを磨きたいです

私が大学進学をめざした理由は、高校を卒業してプロサッカー選手になろうと思っていましたが、今の実力ではなれなかったので大学で成長してからなろうと思ったからです。

私が関東学園大学を選んだきっかけは、3 年生の夏に友達と関東学園大学の練習に参加したことです。部員数は 45 から 50 人ほどで効率の良い練習でチーム全体のレベルも高かったのです。さらに J2 のザスパ草津群馬の練習会に参加した卒業生もいてプロとつながっていると思いました。

私は AO 入試で大学を受けました。試験内容は面接と書類審査です。私は経済系の大学を受験したので物品を販売する上でどのような手段を使うのかということを主に聞かれました。

■室長の経験で相手の意見も
尊重する大切さを学びました

私は大学に合格するために、そしてしっかりした大学生活を送れるように取り組んだことが 2 つあります。1 つ目は小論文を書く練習です。大学ではレポートを書くので、最も練習した方がいいと思い、学設や LHR で小論文を練習しました。私が小論文を書くときに工夫したのが書きだしの部分です。私がいま書いているこの原稿の書きだしのように、最初の 1 文が「私が大学進学をめざした理由は」というありきたりなものだと印象が薄く、つまらないし読みたいと思いません。例えば「私はサッカーを見るのは好きだがサッカーをするのは嫌いだ」など、人が読んでみたいと思えるようなことを考えました。

2 つ目は自分の意見も持つことです。私が 2 年生の 1 学期に室長に選ばれてクラスで話し合いをしたときに、皆に意見を聞いたところ、誰一人手を挙げないで黙ったままでした。人任せになると、皆が考えていることが分からないので、上辺だけの関係になると思います。しかし自分の意見だけが正しいと思うのもだめだと思うので、自分の意見を持ちながら相手の意見も尊重することが大切だと思いました。

最後に、大学で寮生活をする人は 1 人暮らしができるように、家事ができるように、今からお母さんの手伝いをしてみてください。そして、大学受験までの過程を楽しんでください。

名古屋商科大学 経済学部 経済学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
名取第二中出身

テストや授業態度、部活動など何でも 常に一定以上を意識しましょう

■面接ではありのままの 自分で勝負しましょう

私が目指した大学において重要視されたのはやはり面接でした。面接をする上で大切なのは自分が緊張していることをデメリットと捉えずに面接に応じることです。面接官の方は私たち受験生が緊張していることなど百も承知です。なので緊張で話せなくなったときのことは考えなくても、話している内に自然といつもの自分が出せると思います。

面接官は無論その道のプロです。自分が知ったかぶりをしているとすぐにばれてしまいます。専門的なことを聞かれても分からないことは正直に分からないと答えた方がいいと思います。その他面接の練習を重ね大まかな全体の雰囲気や予想したり、面接を終えた友人から、面接官がどのような質問をしてきたのか尋ね、自分の参考にすることも対策の 1 つだと思います。

この質問がきたらこう答えるなどというイメージトレーニングも勿論大切ですが、それ以上に大切なのが、聞かれたことに対し素直に答えることです。恐らく本番で面接官の方と対峙したとき、緊張による精神面での混乱によって、覚えたことが全て水の泡となるでしょう。いつ、何を聞かれてもありのままの自分で勝負しましょう。多少のアピールは必要ですが。

たとえ予想外の方向から質問がきても長考は禁物です。なるべくすぐに答えた方が相手としても心象が良いでしょう。

■生徒会執行部の活動により 面接で話が広がりました

面接でのアピールだけでなく、普段の学校生活でも規律正しい生活が求められます。定期テストはもちろん、授業態度や部活動における姿勢など、良いに越したことはありません。常に一定以上を意識することは、面接において大きな強みとなります。生徒会執行部など学校の行事に深く関わるものは自分の学校の特色も肌で感じることができ、面接時の話題が増えると思います。私の場合文化祭やボランティアに携わったこともあり、そのことが面接官に好印象を与えたと思っています。

富士大学 経済学部 経営法学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
三条中出身

卒業時に「仙台育英の生徒でよかった」と 思えるような学校生活を送りましょう

■アドミッションポリシーを 志望動機に盛り込みました

私にとって仙台育英での 3 年間は、勉強と部活動が中心でした。勉強面では、ノートを書く、授業に出席するなどの授業に基本を心がけました。その結果、成績はいい評価を頂くことができました。ノートを丁寧に書いたことでテスト前の復習に使うことができ、授業で習ったところを理解できました。授業に出席して、授業中にやるべきことは終わらせるようにしました。やるべきことを終わらせたことで後悔せずに済みました。

AO 入試の自己アピールで、私は高校生活で頑張ったことや長所をアピールし、短所は改善する姿勢を示すようにしました。また AO 入試はアドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）を基準に受験生の将来の可能性や意欲を評価する入試方法なので、アドミッションポリシーに沿った質問は必ずされます。私は、志望動機にアドミッションポリシーを入れて、アドミッションポリシーと大学でやりたいことを一致させました。

後輩たちには、勉強と部活動の両立を目指し、卒業するときに仙台育英の生徒でよかったと思えるような学校生活を送ってほしいです。また、志望の進路に進むためにも日々の努力、両親や先生との相談を大切にしてください。仙台育英での学校生活を充実させ、悔いのない 3 年間を送ってください。

ノースアジア大学 経済学部 経済学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
山下中出身

先生から厳しい助言をいただいた時も 歯を食いしばって踏ん張りました

■高校受験の悔しさを バネに勉学に励みました

私は高校受験に失敗して、この仙台育英に入学しましたが、仙台育英が高校で本当に良かったと今では思えます。
高校 1 年で私は失敗したという悔しさをバネに勉学に励みました。放課後はオークルームや図書館を利用し、友達と一緒に勉強しました。土日は友達と河川敷で野球やサッカーをしたり、運動もほどよくして青春もしました。
プラン 2000 では、とてもきつかったけど、自分の勉強スタイルが作れて、とても良かったと今では思えます。友達と泊まれたりしたので、友達作りもできて一石二鳥でした。
高校 2 年の修学旅行では、自分の大学生生活のイメージが大学巡りによってできたのでとても良かったです。高校 3 年では、私はどの大学に入るか迷いましたが、推薦で受けることにしました。

■先生方のサポートなくては 合格できなかったと思います

推薦では面接があったので先生方と面接練習をしました。先生方のアドバイスはとても的確で、時には私が心折れそうなアドバイスもありました。でも私は、ここで頑張らなきゃ、一般で受ける仲間にも申し訳ないし、なにより、自分が受かりたいのだから、ここで歯を食いしばってやろうと思いました。
先生方に練習を付き合ってもらった成果もあり、本番では緊張で失敗することなく無事に面接では本来の力以上を出すことができたと思います。仙台育英で、先生方のサポートなくては、私はこのすばらしい大学にうかることはできなかったと思います。これも全部先生方のおかげです。
大学ではさらに私の夢のために一層勉学に励もうとも思っています。本当にありがとうございました。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 企画構想学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
三本木中出身

弱さを受け止め少しでも進歩できるよう 毎日を過ごすことが大事です

■人を思うことの難しさと 大切さを学びました

私は、甲子園という夢を掴むために仙台育英に受験し、合格しました。強豪の野球部に入部し、それまでに体験したことのない厳しさに直面したことで、自分自身とても成長することができました。

私は、2 年生のとき選手を辞め、グラウンドマネージャーとして活動する決断をしました。この決断は、仙台育英に入学していなければできなかったことだと思います。「自分の心配なら赤ちゃんでもできる。他人のことを心配できる人間になりなさい」この監督からの一言で決断に踏み切ることができました。

他人の事を考えるという行為は、簡単なことではありません。自分に余裕があるときは他人を思うことができます。しかし、余裕がなくなってくると、いつの間にか自分のことについて考えてしまいます。グラウンドマネージャーとして、チームを強くするために、仲間 1 人ひとりの力をどうすれば最大限に引き出せるのかを考える時間は、とても貴重なものでした。他人を思うことで、自分も満たされていく感覚は人間の素敵なものだと思います。

最後の夏、仲間と甲子園へ行くことは、できませんでした。この負けを今後につなげることが大切だと感じています。どんなことがあっても、仲間は仲間であり、人を思うことを止めてはいけない。そのようなことを学ぶことができた 3 年間でした。

■人を幸せにするような 企画を立ててみたい

自分の高校生活を人生へつなげることで、その時間がよりいっそうかけがえのないものになると思います。だから私は、他人を思う、幸せにする企画を作りたいと思い、それを専門的に学べる大学への進学を決めました。未来がどうなるかは、誰にも分かりません。しかし、それらは全て、今の自分次第だとおもいます。自分と向き合い、弱さを受け止めて、少しでも進歩できるように過ごすことが大事だと思います。

私自身、後悔と失敗の連続でしたが何とかここまで来れました。新たな目標に向かって、過去と未来をつなぐ今を大切にしていきたいと思っています。

東北学院大学 経済学部 経済学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
五橋中出身

勉強は言われてからするものではなく 自分からするものです

■オープンキャンパスで 目標が見つかりました

1 年 2 年のときは進学のことあまり意識せず、高校生活を楽しもう、とばかり考えていました。実際に 1 年生のときには部活動ばかりしていて、勉強を全くしませんでした。赤点を取っても全然気にしませんでした。とりあえず文系を選択して、2 年生へと進級したのですが、クラス替えで仲良くなった友達が既に進学を意識していて、そしてそこに模試の結果が帰ってきて、さすがに危機感を覚えました。とりあえず何から始めたらいいか分からなかったの、定期テストでいい点を取ろうと努力しました。なんとか赤点を回避できるくらいにはなりましたが、模試の結果は全く上がらず、本当に投げ出したい気持ちでした。特にやりたいことも見つからないまま、3 年生に進級しました。熱心に練習した部活動も引退してしまい、本格的に受験を意識し始めなくてはいけない時期になった 6 月、オープンキャンパスにいった自分の中で何かが変わりました。やりたいことが見つかったのです。それからはその大学のことについて沢山調べ、先生からの指導も理解し、AO 入試を受験しました。合格発表の時は、とても嬉しかったのと、大学での勉強は高校と同じにならないように頑張ろうという気持ちになりました。

■受験を意識するのが遅いと 進学先が減ってしまいます

1 年生の頃からしっかり勉強に励んでいたら、もっと進学先の幅が広がったかもしれません。そして、3 年生になってから苦勞しないという点も大きいと思います。3 年生になってから受験を意識し始めても遅いということはないですが、行ける大学は少ないです。勉強しておくとは必ず役に立つと思います。勉強はしろといわれてやるものではなく自分でやるものだとは 3 年生になって気付きました。それでも休養は必要ですし、3 年しかない高校生活ですべて勉強というのも辛いと思います。自分でしっかり時間の管理をして、有意義な高校生活を送って下さい。

東北学院大学 法学部 法律学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
高砂中出身

3 年間高い評定を維持していたことが 合格の大きな後ろ盾になりました

■一般入試に備え実施の早い
AO 入試を選びました

—AO 入試を選択した理由とは

まず、私は少し早い時期から東北学院大学を受験すると決めていたので、受験できるチャンスは多い事にはこしたことがないと考えたからです。それに、東北学院大学は AO 入試の時期も少し早めだったのでここで落ちてでも勉強にはさほど影響はでないだろうと思ったからです。

—AO 入試を選択した理由とは

法学部志望でしたので、法律に関係するようなイベントに積極的に参加してましたね。実例を挙げるならば、東北大の模擬裁判を見学に行ったり、仙台弁護士会主催のロースクール・ジュニアというものなどに参加しました。それに、東北学院大学の AO 入試はエントリーシートという物を書くのですが、面接ではこのエントリーシートに書いたことについてしか聞かれません。ですので、エントリーシートを完璧に作成し、それについて深く掘り下げて内容を理解し、自分の言葉で説明できるようになれば安心して本番に臨めると思いますよ。

■受験期になって評定を
後悔しても遅い！

—高校生活でやっというて良かったと今になって思うことは

評定です。私は、高 1 の頃から評定は 4 以上を取ることを目標にしていたので、AO 出願時も評定は 4 以上ありました。これが功を奏したかは不明ですが、私の中では評定に助けられた部分は大きいと思っています。なにせ英検などの資格は一つも取得していなかったのです。ですので、評定はキチンと取っておいた方がいいと思いますよ！ 追試になってヘラヘラできるのはその時だけで、受験期になって評定ちゃんとしておけばよかったと後悔しても遅いのですから。

私から言えるのはこのくらいしかありませんが、皆様も志望大学に合格しより良い人生を歩めることを願っています！

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
東仙台中出身

自分を向上させられることに 早いうちから取り組みましょう

■高校で何をしたかを大学に
伝えるのが AO 入試です

私は、東日本大震災をきっかけに建設関係の仕事につきたいと思いました。また、地元である東北の地で活躍したいと考えたところ東北学院大学がふさわしく思い志望しました。志望するに当たりまず指定校を利用しようと考えましたが、校内選抜から外れてしまい担任の先生に AO 入試を勧められ利用することにしました。東北学院大学の AO 入試は 1 次試験の面接の評価で合否が決まります。面接は事前に提出するエントリーシートに基づいて行います。そのため、エントリーシートの作成は時間をかけて何度も先生に見ていただきました。私は時間がかかりギリギリで提出しました。そのため、早いうちから準備を行う方が良いと思います。また、面接の時間が 30 分と長いですが、先生方としっかり練習すれば大丈夫です。また、基本的な物理と数学の問題が口頭で出題されました。

AO 入試を受験して、AO 入試は高校 3 年間で自分がどのようなことをしてきたかを大学に伝える場所だと思いました。また、いかに自分をアピールすることが大切で、これは日々の積み重ねがあったからこそ合格をすることができたと思います。私は、ボランティア活動をよく行っていたので面接でそれをアピールしました。3 年生になってから何かアピールすることを作ろうとしてもなかなかできないし、経験も足りません。そのため、1、2 年のうちにしっかり自分を向上させられるようなことに積極的に取り組んでほしいと思います。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
名取第二中出身

必要なことや足りないことがあれば 努力を惜しまず取り組みましょう

■大学合格はゴールではなく
夢や目標への入り口です

合格体験記は長くなりそうなので、特に大学進学を進路として見据えている皆さんの参考になりそうなことをいくつかお話ししたいと思います。

まずはまだはっきりと志望大学を決めていない方へ。勉強、趣味、ボランティア活動、留学、様々なことに挑戦し、力を注いでいいと思います。しかし自分が過ごした高校生活を考慮して志望大学を決定しなければなりませんし、自分が蓄積した知識、経験で勝負しなければなりません。つまり自分が学んできたこと、体験してきたことの中から、相応の大学や受験方法を決めるということです。また、受験までまだ日を残している方は過去のことだけでなく、残りの期間で何ができるかを勘定に入れなければなりません。過去と未来、二つの視点からものを考え、志望大学を決定、そして受験方法や受験までの過ごし方を計画することが重要になります。自分の生活には自分の進路という形で責任をもつ必要があり、必要なこと、足りないことの努力を惜しんではいけないということをお伝えします。

次にはっきりとした志望大学が決定している方へ。前述にもありますが、進路達成のために何にどのくらいの力を注げばいいのかを考え、行動することが重要になります。これと同時に、自分の志望理由について誰にどのように問われてもきちんと答えられるくらい深く考えておいてほしいと思います。何故その大学なのか、他の大学ではいけないのか、と常に問い、自分の志望する大学にしかない魅力をきちんと伝えられるようにすることが必要です。それは面接試験が課せられる方は勿論、一般受験を考えている方にとっても、毎日の受験勉強の中で励みになると思います。

大学進学を考えているすべての方へ。一番注意していただきたいのは、大学合格はゴールではなくあくまで入り口であるということです。志望大学が決まっている、いないにかかわらず、家庭の事情や自分の力などを顧みるだけでなく、入学後の生活や学習面、さらに卒業後の進路なども考えて今一度進路を見つめ直してほしいと思います。

最後に AO、公募、指定校推薦入試を考えている方へ。合格した後の話になってしまいますが、一般受験を控えている方とは少し気まずい思いをするかもしれません。しかし一般受験の方が受験勉強に励んでいる間、皆さんは部活動や課外活動を通して学びを得ていて、それを大学に評価してもらえたということなのだと私は考えています。引け目を感じる必要はないし、堂々としていて良いかと思います。ただし先生方にもお話されと思いますが、あまり一般受験の方にプレッシャーを与えることはしないようにしましょう。

それでは、これから受験を迎える皆さんのご健闘をお祈りしています。

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科に
特別推薦で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
円田中出身

複数の先生方による添削や文法の整理等 苦手だった小論文の克服に励みました

■先生方からの助言を整理し 面接に成功できました

私は、東北福祉大学を推薦 A 方式（同窓生推薦）を受験し大学に合格しました。私がこの大学に入ろうと思ったきっかけは、将来臨床心理士になりたいと考えたからです。そのため、東北福祉大学に合格できるように努力しました。推薦 A 方式の受験内容は、小論文と面接でした。私の場合、小論文を書くことがとても苦手だったので、小論文の勉強は念入りに行いました。放課後、国語の先生や担任の先生など多くの先生方に何度も見て意見を頂いたり、小論文の文法を一からやり直してみたりと、色々な工夫を凝らし小論文の勉強に励みました。面接練習では、担任の先生や福祉関連の授業に携わっている先生方と練習を何度も行いました。先生 1 人ひとりの考え方や好みが違い、何度も面接内容を変更しました。それぞれの先生方の意見を自分なりにピックアップし自分らしい面接を行うことができました。

■インターアクト部での ボランティア経験を活かしました

高校生活の中では、勉学と部活動を主に頑張りました。勉学では、テストの度に評定平均値を常に気にし、テストの点数を下げるのではなく、少しずつ上げていくように努力しました。部活動では、3 つの部活動に所属していました。私は、そのうちの 1 つを一番頑張りました。それは、インターアクトクラブです。インターアクトクラブとは、主にボランティア活動をすることです。やはり、福祉関連の大学に入りたいならば、最低でも 1 回はボランティアをしておくべきだと思います。このような、1 つひとつの努力が実を結ぶことができ、それらを受験で発揮し東北福祉大学に合格することができました。

今まで話した私の体験談を一つの参考として、自分なりに大学を合格して下さい。

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉行政学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
塩竈 第三中出身

ボランティア活動で得た知見は 自分の考えの確固たる軸になります

■地方公務員を目指す自分に
合う大学だと思いました

東北福祉大学総合福祉学部福祉行政学科に AO 入試で合格しました。なぜ、私がこの大学を目指すようになったのかというと、県内で福祉関係について深く学べ、「福祉」と「行政」の二つが学べる学科が設立されている大学がこの東北福祉大学しかなかったからです。もともと私は生徒会に所属し、活動でボランティアに参加する機会が多く、福祉分野に興味を持っていました。また、将来、地方公務員を目指していることもあり、「福祉」と「行政」がともに学べるこの大学が自分の志望に最適であったのです。

■将来に向け自ら進んで学ぶ
積極性を身に付けましょう

受験を決心して、まず入試関係を調べたところ、AO 入試という選択があると知りました。一般の受験より早い時期に入学希望者が募集されており、志望が固まっていた私はすぐ申し込みをしました。夏前までに受ける大学を決めている人は試験内容、募集締切を確認してみてください。多くの大学では小論文、面接になる AO 入試ですが東北福祉大学では国語や英語などの学科試験があります。高校 3 年間の学力の積み重ねが他の大学以上に重要になってくるでしょう。もちろん、必要になるのは学力だけではありません。部活動で県や全国の大会を目指し全力で取り組むことは大切です。大きな舞台で結果を残すことは自信につながります。ボランティア活動は、どこの大学へ進学するにしろ重要な経験となるでしょう。高校生のうちから、様々な活動に参加することで、社会の人々が必要としていることや、今の世の中で何が不足し、求められているかを実感することができるからです。そこで得た知見は受験前や入学後、自身の考えを述べる際に、確固とした軸になります。是非、今のうちから多くの活動に積極的に参加し、様々な経験を積んでいって下さい。

「大学」と「高校」の大きな違いは、高校では「勉強」をしていくのに対し、大学は「学問」をしていく場です。「学問」とあるように、一つの疑問に対して、自ら学んでいくことが求められます。高校在学中に自ら進んで学んでいく積極性を身に付けておいてください。

東北福祉大学 教育学部 教育学科 初等教育専攻に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
宮城野中出身

先生方には授業で分からない所を 理解できるまで教えてもらいましょう

■ 3 年間で胸を張れることが 何かあればよいと思います

私が本格的に大学進学を考えたのは、高校 2 年生の終わり頃でした。周りが段々と志望大学を決めていく中、ただ漠然と大学へ進もうと考えていました。

志望大学を決めるのが遅かった私ですが、1 年生の頃から心掛けていたことがあります。それは、すべての授業を真面目に受けることです。「そんなのあたりまえじゃん」と思うかもしれませんが、これが案外できていない人が多いんです。テストで高い点を取れる自信がない場合は、平常点を少しでも高くもらえるようにしておいたほうがよいと思います。もう一つ、面接のときに高校生活で頑張ったことなど、話題づくりをしておくことも必要だと思います。よく、「部活動はしておいたほうが良い」という人もいますが、別に部活動に入っていないからと言って不利になることもないと思います。それよりも、「自分が 3 年間で胸を張って言えること」が何か一つでもあれば良いのではないのでしょうか。

■ 先生方を“利用”するよう 担任の先生に言われました

そして、私が志望大学に合格できたのは私個人の力だけでなく、周りの友達や先生方がいたからです。友達は私が弱気な時は励ましてくれ、夜遅くまで練習をつき合ってくれました。先生は志望理由書の添削や面接練習を何度もしてくださいました。感謝してもしきれません。

最後に、私が 1, 2 年生の時の担任の先生がよく言っていた言葉があります。それは、「先生たちを利用できるだけ利用しろ」です。もちろん、これは悪い意味ではなく、良い意味で利用しろということです。試験前だけでなく、普段の授業の中でも分からないところがあれば先生に聞きに行って、理解できるまでしつこく教えてもらってください。1 年生の頃から努力していたら、その分良いことがあると思います。私の合格体験記が、少しでも参考になっていたら幸いです。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
塩竈第一中出身

資格・検定は一生役に立つので 頑張って取得しましょう

■進路決定前から資格取得に 熱心に取り組んでいました

高校に入学し、まだその頃は大学進学なども考えていなく将来も特に何になりたいなどの目標さえありませんでした。しかしとりあえずコンピュータ関係に興味は持っていたので情報処理検定、MOS の資格取得を高校 1 年生では目標として 1 年間取り組みました。その結果情報処理検定 3 級、MOS エクセルスペシャリストも取得することができました。2 学年でも同様に資格取得に力を入れ情報処理検定 1 級も取得しました。

同じ頃、大学のオープンキャンパスの案内が何枚か渡され、パソコンに興味があったので大学ではどのようなことをやるのか、どのような雰囲気・施設で勉強しているのかが気になり行ってみることにしました。このことがきっかけになり大学進学を目指しました。私は高校では部活動に所属せずアピールポイントもあまりないと思っていましたが、資格取得を高校在学中に行っていたので受験の時にも役に立ちました。資格取得は一生利用することができるので自分に有利になると思うので高校 3 年間の中で資格取得を頑張ってみてください。

■オープンキャンパスで 大学の雰囲気を感みましょう

普段の勉強では、当然欠席、授業態度、提出物の提出など当たり前のことは当たり前に行い、定期テストは評定にも関わることなのでテスト前の勉強だけでなく普段の授業の復習などもしましょう。この評定は指定校推薦、AO 入試、他の入試でも大切になってくると思うので普段の授業も 1 つでも評定が低くならないよう学校生活を過ごしましょう。

そして、大学のオープンキャンパスは 3 年生で行くのではなく、1 年生、2 年生のうちに行ってみると色々な大学・学部を見ることができるので視野が広がり大学選びの参考になると思うので、できるだけ大学進学を考えている人は早めに行って学校の雰囲気をみるのも良いのではないかと思います。結果、積み重ねが大事になってくると思うので今からでも遅くはありません。資格取得、普段の勉強を頑張ればきっと良い結果になると思います。

東北工業大学 工学部 建築学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
沖野中出身

高校 3 年間はあっという間なので 1 日 1 日を大切に過ごしましょう

■部活動で育まれた人間性を
入試に生かそうと思いました

「3 年間の努力を将来につなげる」

私が進路の事を考えはじめたのは高校 2 年生の夏ぐらいの時期でした。そして志望大学を東北工業大学に決めたのが部活動を引退してからでした。私は 3 年間部活動を続けて、成長した人間性を生かすために AO 入試を選びました。

私は引退してからまず大学の資料や自分のやりたい事について調べ、ノートにまとめました。自分がつきたい職業、必要な資格、その大学でできる事、細かい所まで調べました。そして 3 年生の夏、志望理由書を何回も書き直しました。そこで自分の長所や短所、自己アピールなど自分自身と向き合い、友達や先生達に自分の事を聞いてみたりもしていました。また、その中で面接練習も並行してやっていました。言葉に出していくほど、自分の将来が明確になり、自分に自信がもてるようになりました。自分の将来を言葉にできるようになれば、面接の対策は必要ないと思います。また小論文の対策はしっかりやるべきだと思います。小論文はひたすら書くことでしか対策ができないので、粘り強く書き続けることが大切です。

また試験が小論と面接だけだからといって勉強を怠る事はしませんでした。入試があるからこそ日々努力し、休日とはだらしなく本を読んだり、運動したり、規則正しい生活を心がけました。

高校 3 年間はあっという間なので 1 日 1 日を大切に過ごしてください。

東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
蛇田中出身

検定は合格を後押ししてくれるので ぜひ取得しておきましょう

■オープンキャンパスには
2 年次に 1 回は行きましょう

私は東北工業大学に AO 入試で合格することができました。受験合格のために行ったことは主に 3 つあります。

1 つ目は高校 1 年生から定期考査の成績を上げたことです。私は AO 入試で受験しましたが指定校推薦で受験する場合は評定 4 以上を取ることを推奨します。

2 つ目はオープンキャンパスに参加することです。先輩方や先生が言うように大学のパンフレットやウェブサイトではわからない情報を教えてくれます。私もオープンキャンパスに参加し勉強内容を教えてもらいました。2 年生は絶対に 1 校は行くことを推奨します。

3 つ目は検定取得です。私は情報処理検定 2 級と MOS エクセルスペシャリストを習得しました。検定を習得すると調査書に記入され進路を助けてくれる存在になります。

最後に私が受験合格できた要因は早めの行動です。受験は高校 1 年生からの積み重ねであるため常に受験のことを頭に入れて行動する必要があります。大学受験合格のためには早めの行動が大切であると私は考えています。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
玉川中出身

高校生活を通して得手不得手や好みを 明確にし進路決定に役立てました

■授業を通して得意なことに
気づき目標が見つかりました

私は高校に入学した当初から、この度合格したこの大学を志望していたわけではありません。仙台育英で過ごした 3 年間の生活を通して、自分が得意な分野、好きな分野、苦手な分野、嫌いな分野の 4 つを明確にすることができたことが進路決定への良いアプローチになったと感じています。

幼い頃から、建築関係の仕事をする父の背中を見て育った私は、将来は住宅にまつわる仕事をしたいという夢がありましたが、明確な職種が定まっていませんでした。そのため、上手く言葉に表すことができず、誰にも教えない夢で終わっていました。高校に入学し、様々な科目の授業をこなしていくうちに自分の得意不得意も明確になり、得意なことを生かせる好きな仕事とはなんだろうと改めて考え直した時に、インテリアバイヤーという職業に出会いました。そして、バイヤーになるためのベースとなる知識を身に付けることができる学びの場としてこの大学が向いているのではないかと考え、受験を決めました。

■絵を利用したプレゼンは
面接で好印象に繋がりました

私は AO 入試で受験しました。受験をする際に目標としていた事は、自分の個性を出して試験監督の先生に良い印象を持ってもらう事でした。私は面接の際に、経営コミュニケーション学科のコミュニケーションの部分にちなんで、頭の中で想像した景色や物体を元に描いた絵を持ち込み、言葉以外の新たなコミュニケーションの形や可能性についてプレゼンをしました。私の受験した学科では面接に自己アピールの作品や資料を持ち込んでいる人が少なかったようで、持ち込んだだけでも好印象のようでしたし、試験官の先生にも興味を持ってもらうことができました。

高校生活での経験は自分にとってとても大きな財産になりました。自分の可能性を見つけることができた充実した 3 年間でした。ありがとうございました。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月特別進学コース卒
大郷中出身

よさこいやサイエンス・コ・ラボは 自己 PR するときの強みになります

■将来の夢から書き始めると 志望理由書がまとまります

AO 入試を受験する準備として、一番最初にやることは志望理由書を書くことです。東北工業大学の AOVA 入試の志望理由書は、志望動機・送りたい大学生活・将来の夢・自己 PR の 4 つの基本的なことを書きます。私が志望理由書を書く時に心がけたのは、将来の夢から書き始めました。将来の夢がちゃんと定まっていないと、まとまりのない志望理由書になったり、本番の面接の試験でうまく応答できなくなる可能性があります。また、別の項目から書き始めると、書いてある内容が必ずめちゃくちゃになります。志望理由書を書く際には、始めに将来の夢を明確にして、次に自分の将来の夢と結びつけて志望動機を書き、次に将来の夢と志望動機を結びつけて送りたい大学生活を書くとうまくまとまった志望理由書になると思います。最後に自己 PR を書くには、書くネタが無いとかけません。ここに書くネタを作るには、部活動や生徒会に所属したほうが良いと思います。他にも体育委員や育英祭実行委員などの期間限定の委員会に所属するのも良いと思います。また、特別進学コースの人なら YOSAKOI やサイエンス・コ・ラボに参加してみるのも良いと思います。

■毎日必ず書くことが 小論文の上達につながります

小論文は練習をする前に、世の中のことの知識を身に付けることが必要です。知識が無ければ小論文は書けません。知識を付けるために、1 年生の時から毎日テレビのニュース番組を見たり、新聞を読んでもください。次に小論文練習の添削の担当の先生が決まったらその先生のところに挨拶をして、その次の日から本番の前日まで毎日 1 つ以上仕上げて先生に添削してもらおうと良いです。大学の HP に小論文の過去問があるから、それを解いてください。小論文練習は絶対に毎日やってください。一度でもさぼると、さぼり癖がついてしまうと思うのでやめてください。小論文の上達法は毎日書くこと以外はありません。もちろん、ニュースを見るのも忘れないこと。

面接は、練習を始める前に、志望理由書を完成させて、その内容を全て暗記してください。本番の面接でも必ず聞かれます。そして学校では最低 3 回は面接練習を行ってください。2 回は学校の方で指定してくれますが、もっと練習したい人は自分で先生にお願いしに行く必要があります。ただし、先生達も時間が空いているとは限らないので、色んな先生に頼んでみてください。

この大学の AO 入試では口頭試問が面接の最後にあります。国語→数学→英語の順番でそれぞれ 2 問あります。面接官から問題を受け取り、それを見て 1 問 1 分以内で答えます。2 問答え終わったら、面接官に問題を返して、次の教科の問題を受け取って、また答えます。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
利府西中出身

1 年次から受験に備え積極的に部活動や ボランティア活動に参加しました

■経営系の学部は就職先の
幅が広いと思い志望しました

私は最初将来どの大学に行くか決まっておらず、将来どのような職に就きたいと具体的に考えていなかったため経営系の大学を出れば将来就ける職があるので希望大学を就職しやすいといった理由で始めは別の大学を目指していましたが、高校 2 年の中間頃にあった三者面談で「今の成績だと合格は難しい」と先生に言われ「同じ経営系なら東北工業大学の経営コミュニケーション学科ならどうだろうか」とアドバイスをいただいてオープンキャンパスなどに行き、良さそうだったので東北工業大学への進学を決めました。

また私は入学してから進学を考えていたため、部活動かボランティアもなるべくしたかったので中学校の時もやっていたソフトテニス部に入部しなるべく休まないようにしてきました。また部としてのボランティアにも積極的に参加しました。

■自己推薦書は毎日先生に
添削していただきました

私は最初指定校推薦を目指してがんばっていましたが結果、AO 入試にすることにしました。AO 入試は小論文と面接だけだったので少し余裕があると思っていましたが志望理由書と調査書発行に必要な自己推薦書を書く必要がありほぼ毎日放課後に残り何度も何度も先生に見てもらい間違いや言葉の繋がりのおかしい所などを教えてもらいながら志望理由書と自己推薦書を締め切り日までに大学に提出し落ちついた後に入試に向けての面接の練習と小論文の練習があり、私は元々小論文はある程度書けていたのでとても心配だった面接練習をまず担任の先生にやってもらい、面接の基本を教えてもらい、次に他の先生と一緒に面接で聞かれそうな事の対策を考えてもらい、入試前日に国語の先生に仕上げのチェックをしてもらって入試に臨みました。

入試の小論文では自分の意見を文にするのではなく 3 つの問に関して自分の意見を答える形だったので最初あせりましたが、おちついて書くことができました。面接では面接官の間に受け答えができましたが面接後半で英語、国語、数学の問題がでました。面接で問題の練習をしていなかったのととてもあせって答えてしまいました。でも受かることができました。

今後は様々なパターンをよく考えたくさん練習して対策をしたいと思います。

東北文化学園大学 科学技術学部 臨床工学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月外国語コース卒
万石浦中出身

部活動やボランティア活動で協調性や 自発性をアピールしましょう

■ AO 入試は生徒の個性を 最大限に生かす入試方法です

私は東北文化学園大学科学技術学部臨床工学科に AO 入試で合格しました。私が合格したこの大学は東北で唯一の臨床工学科を設置しており、最新の医療機械を導入し続けているという魅力に私はひかれ、この大学にすることを決めました。私の AO 入試では第 1 関門として書類審査でした。評価、部活動、ボランティア、資格の 4 つは特に大切です。私は元々大学進学をすると決めていたので評価はオール 4 以上を目標としてテストに臨んでいました。もし大学進学を目指しているなら、最低でも評価は大切にすべきです。評価が高ければ高いほど目指す大学の視野が広がります。AO 入試では部活やボランティアが、大きい評価の一つであると言えます。AO 入試は、生徒の個性を最大に生かす入試方法の一つなので医療に大切なコミュニケーション能力や自発性、判断力が見られます。それを見るのが部活動での自分、ボランティア活動での自分を書類に書くことで大学の先生方に興味を持ってもらえるきっかけになり、第 2 関門の面接で質問をしてもらえる狙い目になると思います。自分が 2 次面接で質問してもらいたい内容を書くことで話す内容が広がりたくさん話せると良い印象を持ってもらえます。そして資格は絶対に取っておくと有利です。英検、漢検は最低でも取っておくと大学や就職では勉強面で一番良いものになります。1 年・2 年の間で取っておくと 3 年生は受験勉強で手が回らなくなってしまうと思うので早めに取り組むことをおすすめします。

■ 教科などが異なる先生方に 面接練習をお願いしました

1 次試験を通ることができれば、2 次の面接は、先生に手伝ってもらい私は沢山練習をしました。特に私は文系コースから理系コースに行くということは、とても大変なことだと言われてきました。なので、沢山の先生方に練習をたのみました。親しい先生、文系の先生、理系の先生、話したことのない先生、教頭先生といった先生方に練習をしていただいたおかげで自信を持って臨むことができました。臨床工学技士は、人の命を扱う仕事なので合格した後も物理や数学の勉強を続けています。私が言えることは、地道に評価や学校での活動、などをどうでもいいと思っていると後で大変な目に遭うのでしっかりやることはやって、休む時は休むでいいと思います。みなさんが合格できることを祈っています。

尚絅学院大学 総合人間科学部 現代社会学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
増田中出身

高校生活は楽しむ場面では全力で楽しみ 集中する場面では全力で集中しましょう

■受験資料作成は先生方に

早めをお願いするといいです

私が将来就きたい職業は、地元で活躍する消防士です。ですが、尚絅学院大学は特別消防士になる人が多いという訳ではありません。尚絅学院大学では、公務員対策の講義を無料で何回も受けることができ、ゼミが少人数制で教授との距離が近く質問しやすい環境が整っています。さらに現代社会学科の講義は、東北の復興に関する内容もあり、実際に復興ボランティアに参加したりもします。私はそれが自分のしたいことと合っていると思って志望しました。私みたいに、就きたい職業がまだ決まっていない人は、自分がどういう人なのかを友達に聞いてみるのもいいと思います。この仙台育英での 3 年間では提出物を早く出すようにしていました。特別頭がいいわけではないので、こういうところで頑張ろうと考えていました。あと、AO 入試や推薦入試で受ける人はエントリーシートや自己推薦文の作成で忙しくなります。なので、自分の受験する大学の日程や締め切り日が分かったらすぐに取りかかり、先生に添削してもらおうといいです。後の方になると添削しにくる人も増えるのでなるべく早めに。色んな先生をお願いするといいでしょ。

■大学は電話での質問や

施設案内にも応じてくれます

そしてオープンキャンパス（OC）には時間があるときにできるだけ多く参加して、教授に自分の顔を覚えてもらうといいです。OC に行くことで、大学選びの参考になるし、面接で聞かれたときにも参考になります。また、OC が行われていないときも、電話すれば質問に答えてもらえたり、施設を案内してくれることもあるので、部活動とかぶるなどして参加できないときは、大学に聞いてみるのもいいです。ボランティアに参加することもお勧めします。エントリーシートを書く時に、ボランティアに参加していると書き込むことができます。面接の材料にすることができるので参加した方がいいと思います。最後に、高校生活ははじめをつけて楽しむ場面では全力で楽しんで、集中する場面では全力で集中してください。せっかくの高校生活、楽しまないと損です。

尚絅学院大学 総合人間科学部 現代社会学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月情報科学コース卒
名取第二中出身

普段の高校生活は推薦入試における 自己アピールの材料の宝庫です

■大学進学は目的と 強い意志が必要です

まず、大学に進学するという強い意志があるかどうか、4 年間、もしくは、6 年、2 年であったり、自分がやりたい事や将来の為に学ぶ場がその場所で良いのか考えてください。なんとなく大学へ進学するという安易な考えなら行かない方がいいと思います。私は自分の好きな学びができるのが大学であったので、そこからまず大学へ進学しようと決めました。最終的に大学と決めたのは 2 年生の時だったので、1 年生の時から進路について余裕を持って考えた方が良いでしょう。私は AO 入試で大学を受験したので、入試の日程が周りの人より早かったです。特に AO 入試の人は、面接や小論文、課題提出など、色々な形態で受験する人が多いと思います。

■就職にも役立つ資格を 取得すべきだと思います

自分自身をアピールする材料は全て、普段の高校生活にあります。私はこの 3 つを頑張りました。1 つ目は、欠席をしないことです。毎日来るということは、簡単そうで難しいことだと思いますが、やればできます。入試を受験する条件に欠席が何日以内までという大学が増加してきています。進学する人は、心がけていることだと思いますが、これに限らず一日一日の学校生活を大切にしてください。2 つ目は学校に貢献することです。大げさに言っていますが、行われる行事や部活動などに所属し、しっかりと活動すればいいのです。私は部活動の副部長、室長、ハワイ研修、リーダーなど、おぼえているのはこれくらいです。これにプラス行きたい大学のレベルまでの学力があれば、問題ないと思います。最後は、資格をできるだけたくさん取得することです。私は情報科学コースであったので、授業の中で検定を受けられる体制が整っていたので助かりましたが、普段の生活では、自分で行動しない限り資格はとれません。大学に行くからという理由で資格を取るのではなくて、卒業後も就職してから求められるものを取得した方がいいと思います。この 3 点を重点的に頑張れば、志望大学に合格できると思います。

仙台大学 体育学部体育学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
大阪 曙川南中出身

部活動で自分の役割を判断してチームの ために行動したことが評価されました

■スポーツのニュースを調べ 小論文の対策をしました

私は仙台大学体育学部体育学科を希望していて、合格をすることができました。

私が合格するために努力をしていたことは小論文の試験があると知っていたので、そのことについての勉強をしました。まずは、漢字の勉強から始めました。漢字が分からなければ書くことができないと思ったからです。そして、次に行ったことはスポーツに関してのニュースを調べました。仙台大学はスポーツの学校なので、スポーツに関してのことが出題されると思い、テレビを見たりネットで調べました。

次に私がしたことは、野球の推薦をしていただくために、部活動を頑張りました。部活動の中でも、自分のやるべきことも見えて、チームのために動いていきました。そのようなこともあり、推薦をしていただくことができました。

そして、一番大切にしていたことは授業中です。授業での態度が面接の時に出てしまったりしてしまいます。また、面接の時も上手くしゃべるためにも、普段から生活を大切に、上の人としゃべる時にも意識をして、話すようにしました。

大学入試の時は、必ず緊張すると思いますが、それは普段からそのような場面があったときに、意識をすることです。そのようにすれば大丈夫だと思います。

仙台大学 体育学部 体育学科に
特別推薦で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
仙台 中田中出身

日常をいかに特別なものに できるかが成功のカギ！

■仲間の一喝で新たな目標を 掲げて奮起できました

中学校の頃から陸上競技部に所属しており、高校では個人でインターハイ出場を目標に日々の練習に取り組んでいました。

結果から話すと私は目標を叶えることは出来ませんでした。その時は悔しくどうしようもない気持ちしかありませんでした。自分なりに工夫や努力をしてきたのだ、なにを目標にすればいいのだろう。しばらくそう考える日々が続きました。しかしある陸上部の部員に「まだインターハイ路線が続いているし、リレーがお前には残っているじゃないか」と一喝されました。そこで私は思い詰めていた時間がものすごくもったいなく感じ、これからは個人ではなくチームとしての勝利を自分の夢であったインターハイにつなげようと決意しました。ケガや調子がうまく上がらない時も、仲間や親のおかげでチームに貢献することが出来、インターハイ出場を勝ち取ることが出来ました。この経験は人生の財産になりましたし、今後の新たな目標を立てるために、大きく役立ちました。

■毎日全力で努力したから 合格できたと思います

大学は仙台大学への進学を決め、春からは大学生になります。私が合格出来た最大の要因は、毎日を全力で生き、努力したからではないかなと考えます。テストでもレースでもそうですが、その場しのぎの対策は付け焼き刃にしかなりませんし、本当に追い込まれた時に、真価を発揮することは出来ません。毎日をただ、なんとなく過ごすのではなく、1日1日を明日死ぬものだと思って生きれば日々が充実したものになるのではないのでしょうか。

いかに特別な日常に変えることが何に関しても成功のカギになるのではないかと私は考えます。

仙台大学 体育学部 運動栄養学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
名取第一中出身

野球に打ち込んだ 3 年間 大学でも続けたいと進学を決意しました

■始めは大学進学を 意識していませんでした

私は、スポーツ AO 推薦で仙台大学体育学部の運動栄養学科に合格しました。

私が、大学進学をめざした理由は、兄 2 人が大学進学をしたこと、小学生の頃から続けてきた野球を大学でも一生懸命頑張りたいと思ったからです。小学 2 年生から野球を始め、その頃から仙台育英の硬式野球部に憧れをもち、中学もしっかりと野球に取り組み、そして、憧れの仙台育英に入学し、硬式野球部に入部しました。その頃は、大学には全く興味がなく、就職して親に頼らず生活しよう、専門学校に行き、資格を取り、その資格で有利に働こうと思っていました。

私が 2 年生の時に、仙台育英硬式野球部は甲子園準優勝をしました。その甲子園の大会中、私は外野のボールボーイをやり、選手の姿がとても格好いいと感じ、またこの舞台に戻ってくると誓いました。先輩の記録を越そうと日々頑張りましたが、私の代は甲子園すら行くことができませんでした。この時にこの終わり方で野球を本当に辞めていいのかと考え、大学には甲子園という舞台はないが、神宮大会があり、この神宮大会に私の代で行きたいと思い始めました。夏の大会に負けてから、OB という形で、野球から遠ざかっているときに、家でグローブをいじったり、バットを持ったりと体が野球道具に反応してしまう私をみて、野球を辞めることはできないなと思い、大学進学を強く希望するようになりました。

■スポーツと栄養の関わりを 学びたいと思いました

私は体を動かすことが好きで毎日のように動いていました。そして、野球や色々なスポーツと関わっているうちに運動と栄養の大事さに気づきました。運動と栄養を学びたいと思いながら大学を探していると、仙台大学に運動栄養学科という私が学びたいと思う学科を見つけました。仙台大学のオープンキャンパスに行き、運動栄養学科の企画したものを実際に体験したりと、この学科について色々なことをして学びました。

大学進学を希望する人は、行きたい大学を決め、しっかりと調べて、大学の良いところを知ってから試験を受けてほしいです。試験の内容をしっかりと確認し、面接練習や試験科目の勉強など、充分にして、準備をしてから試験を取り組んでほしいと思います。

仙台大学 体育学部 スポーツ情報マスメディア学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
住吉中出身

3 年間で一生懸命頑張れるものや 夢中になれるものを見つけましょう

■失敗してもやり直せば
今後に生かすことができます

私は、仙台大学体育学部スポーツ情報マスメディア学科にスポーツ AO II 期で合格することができました。

私が大学合格のために意識して行ったのが小論文の勉強と実技試験のための練習です。しかし、意識し始めたのは受験が近くなってきてからです。なぜこうなったのかというのを私なりに考えてみると 3 年間で一日一日をなんとなくではなく目標がありそれに向かって頑張ってきたのが合格に繋がったのだと思います。授業でも学校設定科目というもので小論文講座を受講していたのも大きな力になったと感じています。

大学受験を意識しないで生活していると計画性がなく、行き当たりばったりになってしまい後悔することだと思います。だから、人生で 3 年間しかない高校生活で一生懸命になって頑張れるものや夢中になれるものを見つけましょう。そういったものをもっていけば何もしない時間がなく充実した時間が過ごせると思います。ここでやってきたことが先生達や周りの人々に見てもらえて大学受験へ繋がっていくのだと思っています。これは私の経験での話ですが、何もしないでボーッとしている日々はもったいないです。私達は若いです。失敗してもいいと思います。やり直しができるし、今後にも生かしていけるからです。

何か夢中になれるものを見つけるか受験を意識した生活を送ってください。

仙台大学 体育学部現代武道学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
山形 天童第三中出身

メリハリのある毎日を送り面接練習など 受験対策にあてる時間をつくりましょう

■東京五輪で安心・安全を 守る役割を果たしたいです

私が仙台大学に進学を目指した理由は、まだ野球を続けたかったからです。2 年生の夏は先輩が甲子園準優勝という素晴らしい結果を残してくれました。もう一步で全国 1 位というところまでいきました。それに対して私達の学年は何もタイトルがありませんでした。夏も準決勝で負けてしまいました。試合にも出られない実力ということがすごく悔しかったです。野球人生に後悔は残したくなかったので大学でも野球を続けると決めました。先輩でもたくさん人がいて、プロ野球選手も輩出しています。指導力がとてもあると思ったので進学して入部することを決めました。

もう一つは、小学校からの夢である消防士になるためです。仙台大学の現代武道学科では警護や警備について学ぶことができます。これから公務員を目指す私にとってとても有利だと思います。2 年次には海外での実習もあります。世界の武道を学び自学の能力を上げていきたいです。私は武道を経験したことはありませんが、未経験者もしっかりと学べる教育と聞きました。仙台大学の現代武道学科で学んだことを生かして、2020 年にある東京オリンピックで社会の安心・安全を守る人材になっていきたいと思っています。

■野球を通して礼儀や 体力づくりを学びました

私は今まで野球ばかりやってきましたが、スポーツを通して礼儀や体の使い方を学べたと思っています。どんなスポーツでも礼儀をしっかりとしていれば嫌な気持ちになることはありません。体を使うことで体力がついて病気などになりにくい体になったと思います。スポーツを通してたくさんの人に出会えました。いろいろなタイプの人がいて人それぞれ違ったいいところを持っています。自分とは違った人からいいところを盗むことも大切なことだと思います。

こんな私でも大学に合格することができました。やるべきことはしっかりと、最後まであきらめないことが大切だと思います。メリハリのある生活をして面接の練習をする時間などを作っていくことが大切だと思います。

当たり前のことを当たり前にしていけば大丈夫です。後輩の皆さんもあきらめることなく頑張ってください。

仙台大学 体育学部 現代武道学科に
AO 入試で合格
平成 29 年 3 月フレックスコース卒
川崎中出身

部活動では日々の練習の中で 必ず目標を持って取り組みました

■大学でも柔道を続けようと 強豪の仙台大を目指しました

私は高校に入学した当時は大学進学を全く考えていませんでした。しかし、顧問の先生からの話や、大学生の柔道の試合を見て、大学でも柔道を続けたいと思い、3年生の時に大学進学を目指すようになりました。しかし自分はどの大学を受験しようか迷っていました。そこで、先生や両親と相談し、宮城県内にあり柔道部が東北圏内でもトップクラスな仙台大学を受験することに決めました。それに私は、将来警察官になるという夢があったため、夢を叶える勉強ができる現代武道学科を選択しました。

■高校では仲間と切磋琢磨し 競い合うことができました

私はスポーツ AO 入試で受験しましたが、常に部活動で心がけていることがあります。それは日々の練習の中で必ず目標を持って取り組むことです。例えば、今日はあいつを投げてやる、勝ってやるという気持ちで取り組んだり、今日はこの技を練習しようと考えます。この目標はどのような物でも良いと思います。そうすれば、日々の部活動もより有意義になり、良い練習ができるようになると思います。自分もこの成果があつてか、団体戦のメンバーに選ばれたり、宮城県で2位になることができました。それに学んだこともあります。それは仲間と競い合うことです。私は小さな中学校出身で部内にライバルと言える仲間がいませんでした。しかし、高校に入り環境が大きく変わりました。その中でたくさんの仲間に出会い競い合うことを学びました。

スポーツで大学を目指しているなら、部活動を有意義に取り組み、部活動に励むことが大切だと私は思います。私もこの考えを持って仙台大学体育学部現代武道学科にスポーツ AO 入試で合格することができました。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月英進進学コース卒
山形 米沢第七中出身

面接では本当にこの大学に行きたいと いう熱意を整理して簡潔に伝えましょう

■本番はとても緊張し
準備の大切さを実感しました

私は看護師になるのが目標だったので、3 年間で資格を取ることができる短期大学を志願しました。さまざまな資料などに目を通して、オープンキャンパスなどに参加して一番行きたい大学を決めることができました。それぞれ良い所悪い所があると思うので実際に行ってみて雰囲気などを見ることも大切だと思います。

多くある試験方法の中から AO 入試を選んだのは、時期が一番早かったということもあります。夏休み前に進学先を決め、試験要項を詳しく確認し、夏休みから取り組みを始めました。試験内容は小論文と面接だったので担任の先生や小論文担当の先生に相談をし、試験に向け計画を経て早めに練習をしてもらいました。小論文は過去問を見て、毎年形式が決まっていたので、同じ形式のものを準備してもらうなど繰り返し練習し、何回も添削してもらい復習をしました。面接は友達につき合ってもらうなど、色々な質問をしてもらい、試験前日まで志望理由、アピールしたいことをまとめ伝えられるようにしました。大学の資料を何度も見て、どんな質問でも答えられるように準備をしました。ほんとにこの大学に行きたいという事を伝えるのと、人柄を見られるのは面接だと思うので、頭の中で整理して簡潔に伝えることが大切だと思います。試験本番は緊張すると思うので、前々からの準備が本当に大切なことを知りました。また 3 年間やってきたこと、私は 3 年間部活動をしてきたことが大きな自信につながりました。

仙台青葉学院短期大学 こども学科に
AO 入試で合格

平成 29 年 3 月フレックスコース卒
八軒中出身

多少苦しくともこれからの自分にとって 良い方に進める道を選ぶことが大切です

■ 幼い子供の成長過程を サポートしていきたい

私は AO 入試で仙台青葉学院短期大学に合格しました。入試当日まで、沢山の悩みや不安がありましたが、多くの
人に支えられ合格することが出来ました。

なぜ仙台青葉学院短期大学を志望したかという、幼稚園教諭の資格を取りたいと思ったからです。歳の離れた妹
がおり、幼い子供の成長過程を見ていく事や、吹奏楽部の部長として様々な個性を持った部員と一つの目標に向かっ
て共に成長していく中で、先生になりたいという目標ができました。なぜ、小学校や中学校、高校の先生など多くの
選択があるにもかかわらず、幼稚園の先生を選んだかという、0 歳から 5 歳までの成長や生き方に興味を持ったか
からです。何も分からないところから始まり、少しずつ言葉を覚え、そして少ない知識の中で自分から積極的に物の使
い方などを工夫して成長するということは、もちろん大人の力もありますが、幼い頃から自分なりに何かをしてみる、
ということを私達はしてきたのだと思います。その成長を私は効率よくサポートしていけるようになりたいと思いま
した。

■ 部長になり人を思いやる 大切さと大変さを知りました

幼稚園の先生になりたいと思ったきっかけはもう一つあります。それは部活動です。私は小学校の頃からずっと吹
奏楽中心の生活を過ごしてきました。そのため音楽に自信はあるけれど、他の事には高校に入るまで全くありません
でした。でも、そんな私は、高校 2 年生の時に音楽以外に、人に何かを伝えたり教えたりすることが出来るという自
信ができました。私は高校 2 年生の頃から部長をさせて頂きました。すると責任感は今までにない程強くなり、意欲
的に部員一人一人と関わる事が多くなりました。その中でも、個性を失わないようにすることを心がけてきました。
そこで、人を思いやることの大切さを学び、大変さを実感しました。

これらのことから、その人の良さを分かることが出来る大人になりたいと強く思い、その一步を踏み出すために新
しい道へと進むと決めました。どんなに苦しいことでも楽しくないと思うことでも、これからの自分にとって良い方
向に進める道を選ぶことが大切だと思いました。感謝の気持ちを忘れずに立派な社会人になれるよう頑張っていきたい
と思います。